

ソフトウェア

# NX Studio

Ver.1.0

## 使用説明書

- この使用説明書の内容は、オンライン（HTML）でも閲覧できます。

<https://nikonimglib.com/nxstdo/onlinehelp/ja/>

### ■ Nikon Transfer 2

NX Studio と一緒にインストールされる Nikon Transfer 2 を使用すると、画像をパソコンに転送できます。Nikon Transfer 2 の使用方法については下記の使用説明書をご覧ください。

- PDF 形式の使用説明書は、ニコンダウンロードセンターからダウンロードできます。

[Nikon Transfer 2 使用説明書 \(PDF\)](#)

- 使用説明書の内容は、オンライン（HTML）でも閲覧できます。

<https://nikonimglib.com/ntran2/onlinehelp/ja/>

# 目次

## **NX Studio について 7**

NX Studio でできること .....	8
NX Studio の基本的な操作の流れ .....	10
NX Studio の各部名称 .....	14
対応フォーマットについて .....	31

## **画像を表示する 33**

ビューエリアについて .....	34
ビューアーの画像表示方法を変更する .....	36
フィルムストリップを表示する .....	47
全画面表示する .....	49
動画を再生する .....	51
下部ツールバーについて .....	53
画像を比較表示する .....	58

## **画像を絞り込む 63**

画像を絞り込む方法について .....	64
レーティングを付ける .....	65
ラベルを付ける .....	69
画像をプロテクトする .....	73
詳細なフィルターで画像を絞り込む .....	76

## **画像を調整する 80**

調整タブについて .....	81
ピクチャーコントロール .....	89



ホワイトバランス.....	95
露出補正.....	98
アクティブ D-ライティング.....	99
明るさと色の調整.....	100
レベルとトーンカーブ.....	102
LCH エディター.....	106
カラーブースター.....	115
ノイズリダクション.....	116
シャープ調整.....	118
レタッチブラシ.....	121
カラーコントロールポイント.....	124
トリミング.....	133
傾き補正.....	138
アオリ効果.....	142
カメラ補正.....	143
レンズ補正.....	145
調整履歴設定.....	149
調整した内容を他の画像に適用する.....	151

## **動画を編集する (Movie Editor) 160**

動画編集について.....	161
動画の必要な部分だけを切り出す.....	163
複数の動画を連結する.....	166
静止画や動画を組み合わせて新しい動画を作成する.....	168
[動画を編集する] ウィンドウのメニュー一覧.....	192

## **位置情報を活用する** **197**

位置情報を使用してできること.....	198
地図ツールバーについて.....	202
地図上に撮影地点を表示する.....	204
位置情報を編集する.....	207
方位情報を追加する.....	213
撮影ルートを表示する.....	216
位置情報ログを読み込む.....	219
位置情報からキーワードを検索する.....	231

## **スライドショーを見る** **235**

フォルダー内の画像をスライドショーで見る.....	236
---------------------------	-----

## **Web にアップする** **240**

Web サービスを活用する.....	241
NIKON IMAGE SPACE にアップする.....	243
YouTube にアップする.....	245

## **印刷する** **247**

画像を印刷する.....	248
情報を印刷する.....	252
インデックスプリントで印刷する.....	256

## **画像を書き出す** **257**

ファイル変換して書き出す.....	258
-------------------	-----

## 環境設定

262

環境設定について	263
[一般]	264
[サムネイル]	265
[ビューアー]	266
[お気に入りフォルダー]	267
[ダイアログ / 警告]	268
[カラーマネージメント]	269
[レベルとサンプリング]	271
[ファイルを開くアプリケーション]	272
[XMP/IPTC プリセット]	273
[ラベル]	274
[表示]	275
[地図]	276
[Log Matching]	279
[RAW 現像]	280
[Web サービス]	281
[動画] (Windows のみ)	282
[保存]	283

## メニュー一覧

287

[ファイル] メニュー	288
[NX Studio] メニュー (macOS のみ)	290
[編集] メニュー	291
[ブラウザー] メニュー	293

[画像] メニュー .....	294
[調整] メニュー .....	296
[表示] メニュー .....	298
[ウィンドウ] メニュー .....	302
[ヘルプ] メニュー .....	303

# NX Studio について

- 📖 [NX Studio でできること](#)
- 📖 [NX Studio の基本的な操作の流れ](#)
- 📖 [NX Studio の各部名称](#)
- 📖 [対応フォーマットについて](#)

# NX Studio でできること

NX Studio は二コンデジタルカメラで撮影した静止画や動画の閲覧と調整を行うソフトウェアです。パソコンに転送した静止画や動画を快適に閲覧、調整できます。画像の撮影地点を地図上に表示したり、Web にアップしたりするなど、画像を楽しむさまざまな機能が揃っています。

## 基本的な機能

Nikon Transfer 2 などを使用してパソコンに転送した画像の閲覧および画像の調整を行います。調整した画像を Web にアップしたり、印刷して楽しむことも簡単に行えます。

### ■ [画像を表示する \( 33 \)](#)

画像をサムネイルで一覧表示して、素早く目的の画像を探し出せます。選んだ画像を 1 枚表示で大きく表示すれば、画像の細部まで確認できます。複数画像を並べて表示して、使用する画像を比較しながら検討できます。調整前後の比較表示もできるため、効果を確認しながら画像の調整が行えます。

### ■ [画像を絞り込む \( 63 \)](#)

画像にラベルやレーティングを付けて、表示する画像を絞り込めます。目的の画像を素早く探すことができ、作業を効率的に進めることができます。

### ■ [画像を調整する \( 80 \)](#)

静止画の明るさや色味などの調整や、トリミング、RAW 現像などさまざまな調整を行えます。

### ■ [画像を書き出す \( 257 \)](#)

画像に行った調整を反映したり、画像サイズを変更して JPEG/TIFF 形式に書き出せます。書き出したファイルは、他のソフトウェアで開けます。

## ■ [Web にアップする \(📖 240\)](#)

画像を NIKON IMAGE SPACE や YouTube に直接アップできます。

## ■ [印刷する \(📖 247\)](#)

画像をプリントして友人や家族に渡せます。

## 応用的な機能

NX Studio では静止画だけでなく、動画の編集も行えます。また、位置情報を持った画像の場合、撮影位置を地図上に表示することができます。

## ■ [動画を編集する \(Movie Editor\) \(📖 160\)](#)

動画の必要な部分を残す編集や、複数の動画の連結などを行えます。

## ■ [位置情報を活用する \(📖 197\)](#)

位置情報を持った画像の撮影地点を地図上に表示できます。また、位置情報ログを読み込んで、画像に位置情報を追加することもできます。

## ■ [スライドショーを見る \(📖 235\)](#)

フォルダー内の画像をスライドショーで表示できます。

# NX Studio の基本的な操作の流れ

画像をカメラからパソコンに転送して閲覧し、お気に入りの画像を調整して Web にアップするまで NX Studio で行うことができます。

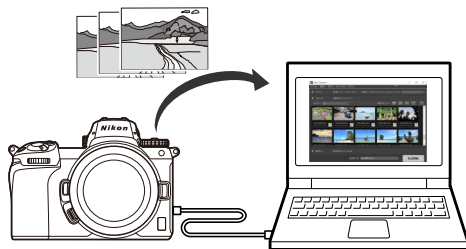
## Step1 : NX Studio を起動する

次の方法で NX Studio を起動します。

- Windows : デスクトップ上の NX Studio のアイコンをダブルクリック
- macOS : Launchpad の「Nikon Software (その他)」フォルダー内にある NX Studio アイコンをクリック

## Step2 : 画像をパソコンに転送する

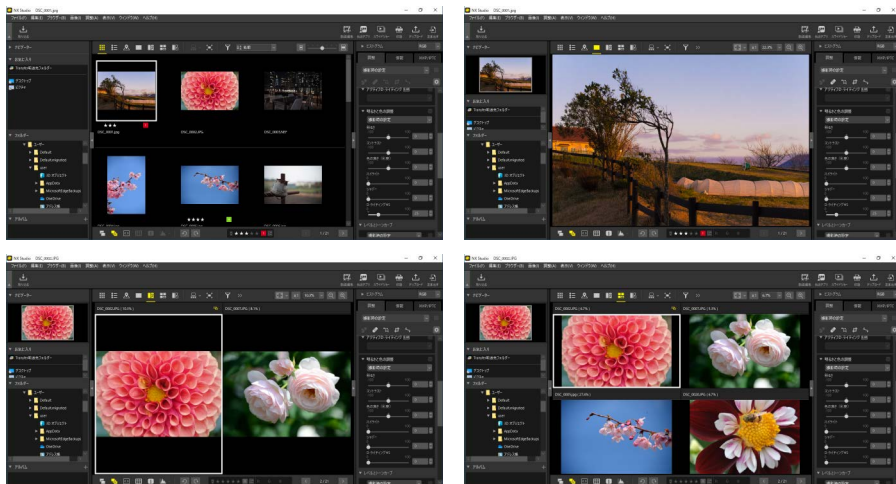
NX Studio と一緒にインストールされる [Nikon Transfer 2](#) を使用して、カメラで撮影した画像や動画をご使用のパソコンに簡単に転送できます。





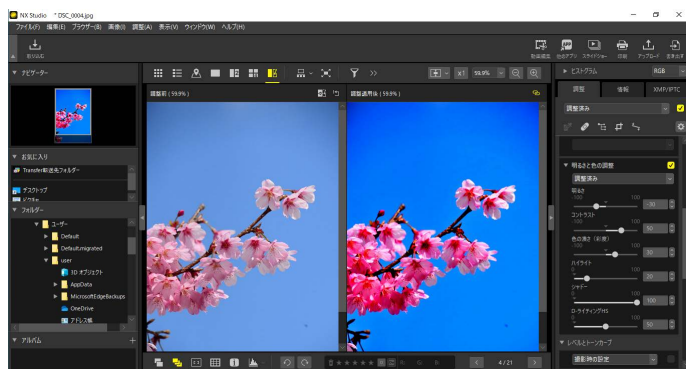
## Step3：画像を見る

転送した画像はさまざまな表示形式で閲覧でき、目的の画像を素早く探し出せます（□ [「画像を表示する」](#) 33 ページ、[「画像を絞り込む」](#) 63 ページ）。



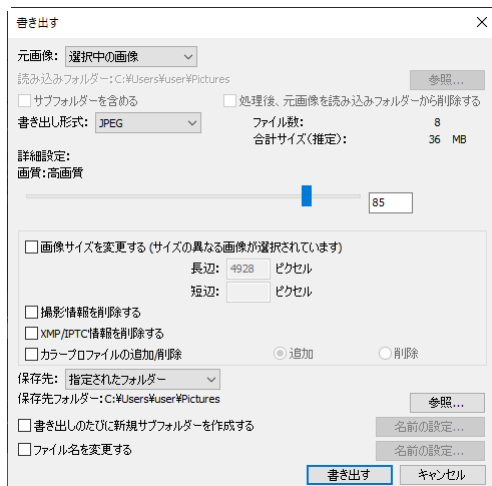
## Step4：画像を調整する

画像の明るさや色味などの調整を行えます。直感的に操作を行え、思い通りの画像に仕上げられます（□ [「画像を調整する」](#) 80 ページ）。



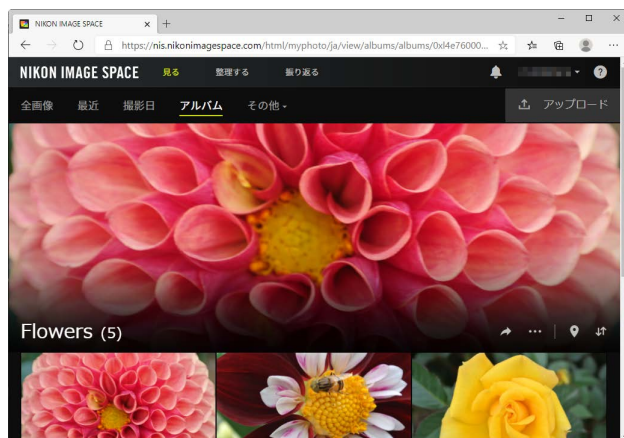
## Step5：画像を書き出す

調整した画像を JPEG または TIFF 形式に変換して、別ファイルとして書き出せます。書き出した画像は、他のソフトウェアで使用できます。



## Step6 : Web にアップする、印刷する

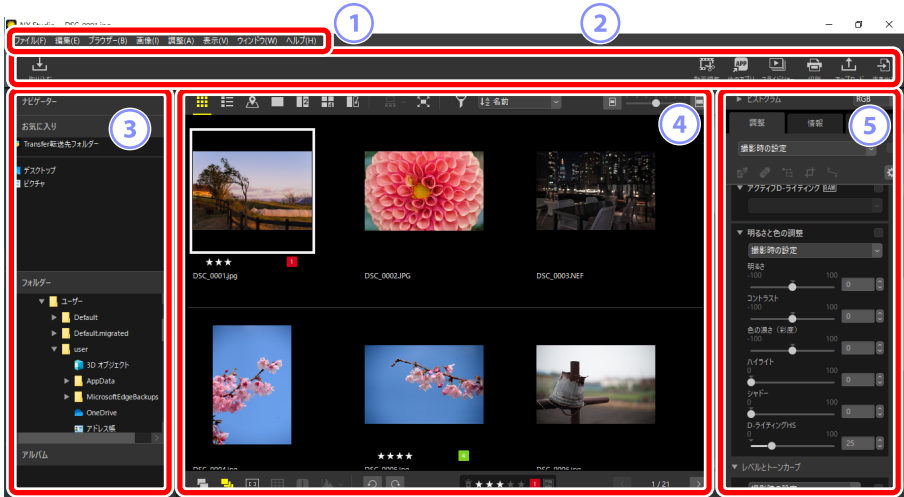
書き出した画像を NIKON IMAGE SPACE や YouTube に直接アップロードできます (☞ [\[Web にアップする\]](#) 240 ページ)。画像を印刷して家族や友人と共有することもできます (☞ [\[印刷する\]](#) 247 ページ)。



NX Studio にはこれ以外にも画像や動画を楽しむための機能が数多く取り揃えられています。その他のNX Studioの機能を知りたい場合は「[NX Studio できること](#)」をご覧ください (☞ [\[NX Studio できること\]](#) 8 ページ)。

# NX Studio の各部名称

NX Studio の画面各部は次のように分かれています。



## ① メニューバー

各種メニューを選べます（☞ [「メニュー一覧」](#) 287 ページ）。

## ② ツールバー

Nikon Transfer 2 など他のソフトウェアの起動や、画像の印刷などを行います。

## ③ ブラウザーパレット

画像が保存されているフォルダーを選ぶ [フォルダー] や、よく使用するフォルダーを登録できる [お気に入り]、よく使う画像をまとめられる [アルバム] があります。

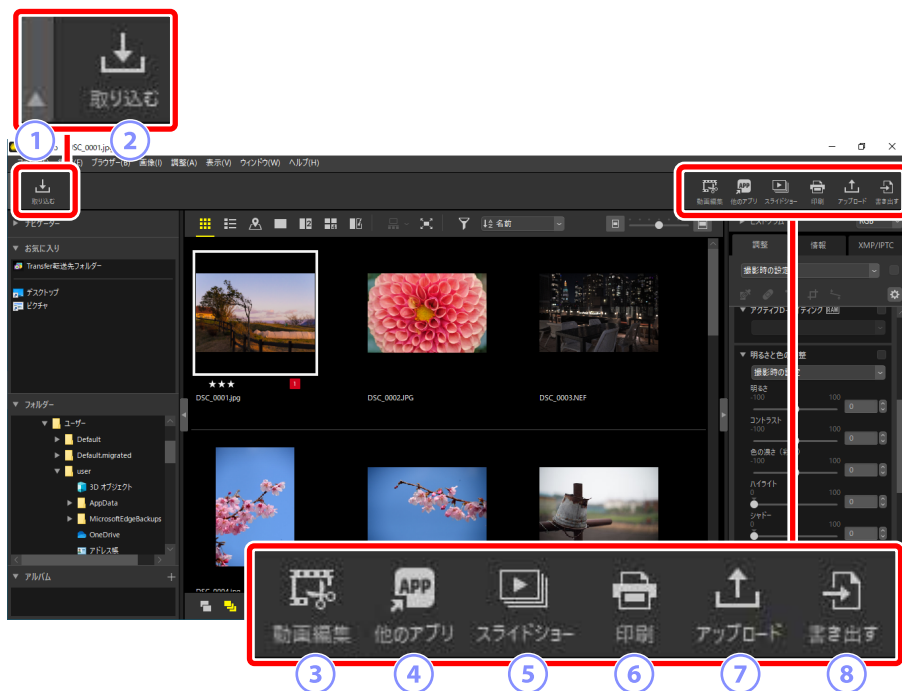
## ④ ビューエリア

画像を表示するエリアです（☞ [「画像を表示する」](#) 33 ページ）。

## ⑤ 調整 / 情報パレット

選択した画像の調整や画像情報の確認ができます。

# ツールバー



## ① ツールバー表示 / 非表示

クリックするとツールバーの表示 / 非表示を切り換えます。

## ② [取り込む]

Nikon Transfer 2 を起動します。

## ③ [動画編集]

動画の編集を行えます (□ [\[動画を編集する \(Movie Editor\)\]](#) 160 ページ)。

## ④ [他のアプリ]

選択した画像を NX Studio 以外のソフトウェアで開きます。使用するソフトウェアは [環境設定] の [ファイルを開くアプリケーション] で追加できます (□ [\[\[ファイルを開くアプリケーション\]\]](#) 272 ページ)。

## ⑤ 【スライドショー】

選択した画像または現在選ばれているフォルダー内すべての画像を使用してスライドショーを再生できます（☞ [「スライドショーを見る」](#) 235 ページ）。

## ⑥ 【印刷】

選んだ画像を印刷します（☞ [「印刷する」](#) 247 ページ）。

## ⑦ 【アップロード】

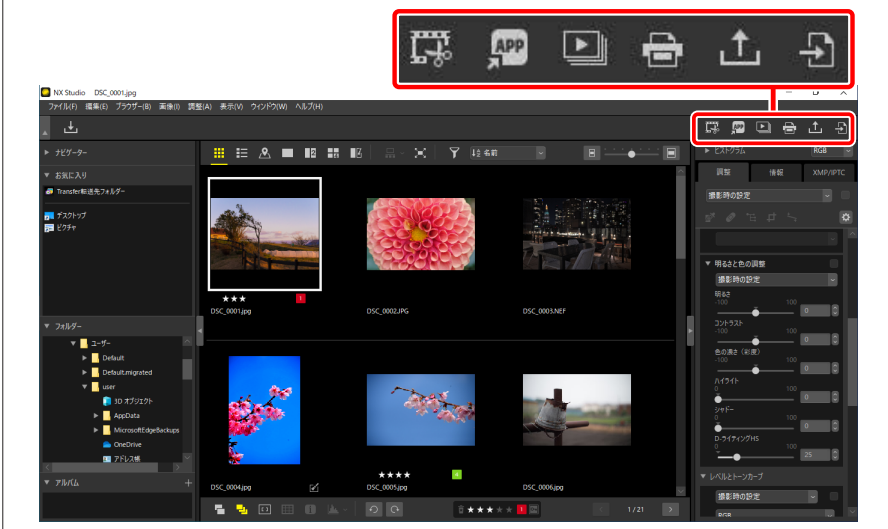
選んだ画像を NIKON IMAGE SPACE または YouTube にアップロードできます（☞ [「Web にアップする」](#) 240 ページ）。

## ⑧ 【書き出す】

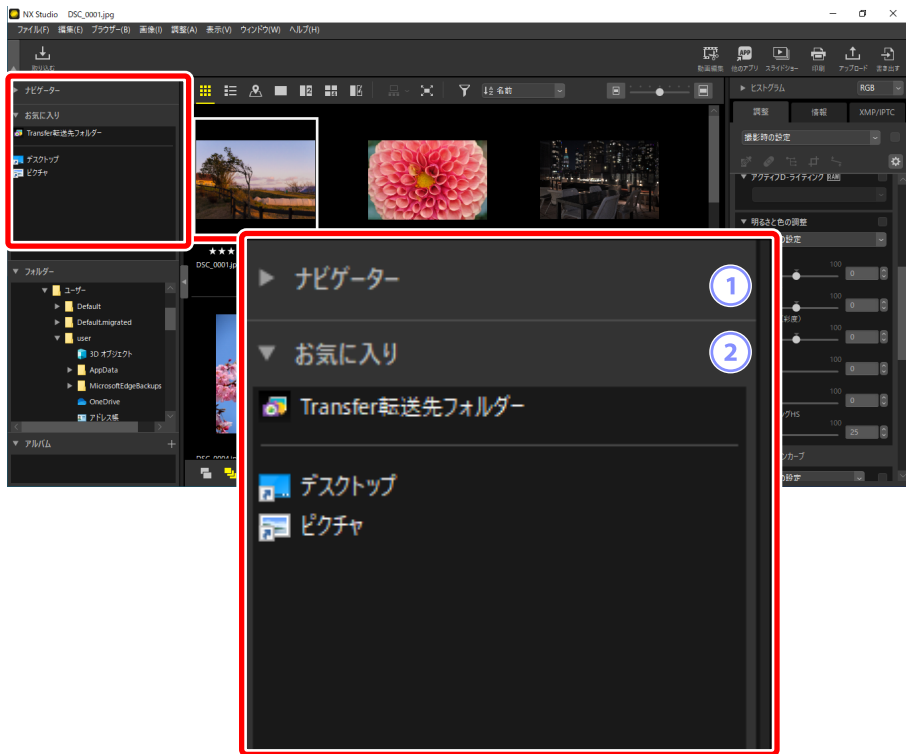
選んだ画像を JPEG または TIFF 形式で書き出します。書き出しと同時に画像をリサイズしたり、撮影情報を削除することなども行えます（☞ [「画像を書き出す」](#) 257 ページ）。

### 🔪 ツールバーの表示について

【ウィンドウ】メニューの【ツールバーをカスタマイズ】で【アイコンのみ】を選ぶと、ツールの表示がアイコンのみになります。【表示する項目】ではツールバーに表示する項目を変更できます。



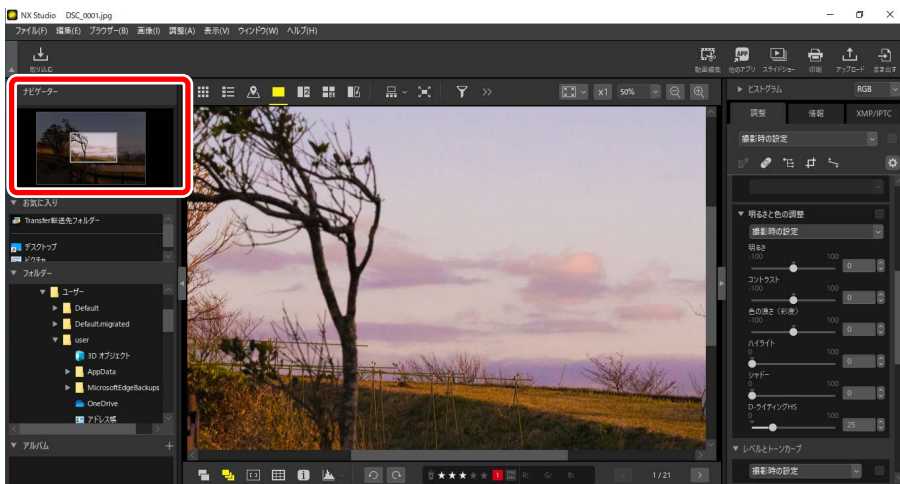
# ブラウザーパレット



## ① [ナビゲーター]

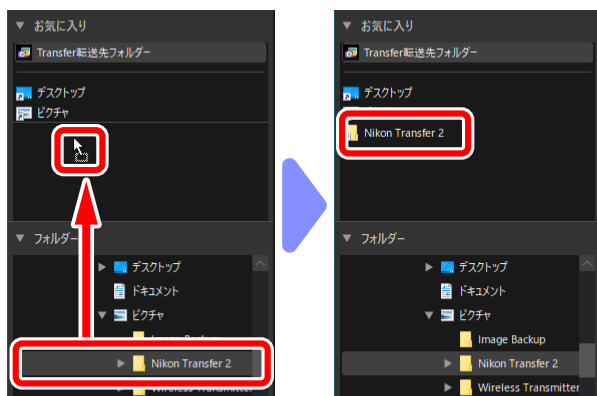
画像を1枚表示または複数枚表示している場合に、ビューエリアに表示されている画像の縮小画像を表示します。

- 表示している画像を拡大すると、拡大表示中の部分が枠で囲んで表示されます。
- 枠をドラッグすると、ビューエリアに表示される拡大部分を動かせます。

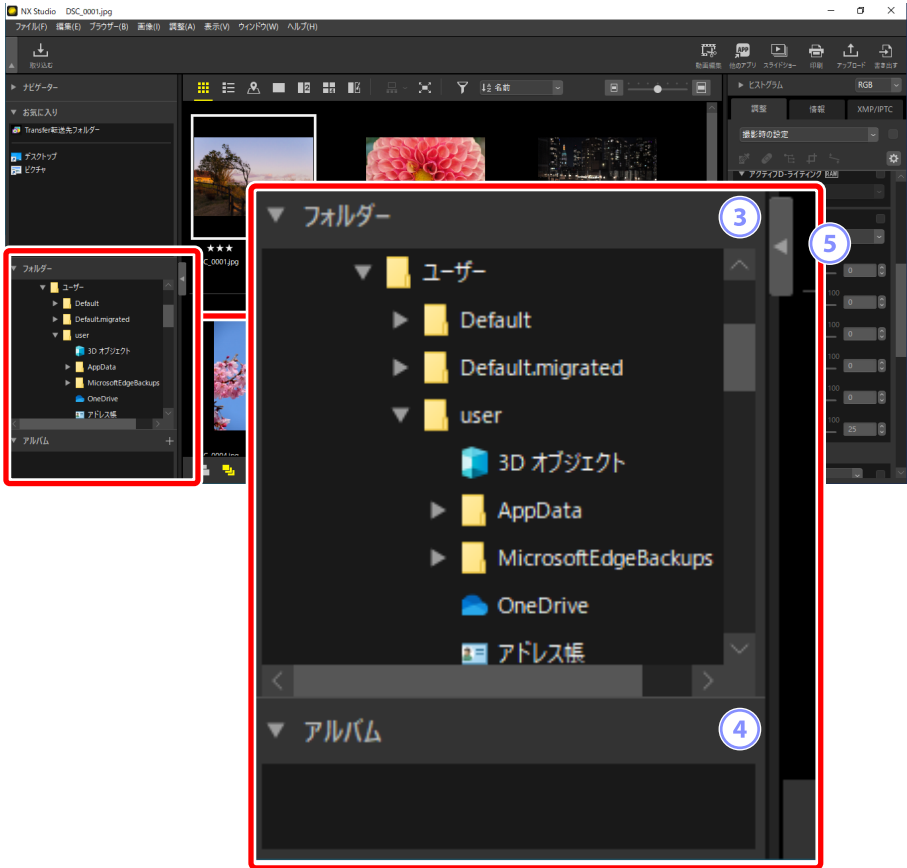


## ② [お気に入り]

よく使用するフォルダーを [フォルダー] からドラッグして登録できます。







### ③ 【フォルダー】

パソコン内のフォルダーを階層表示します。表示したい画像が収められたフォルダーをクリックすると、ビューエリアに画像が表示されます。

### ④ 【アルバム】

アルバムを作成・管理できます。異なるフォルダー内に収められた画像でもまとめて表示できます（☞ [「アルバムに画像をまとめる」](#) 21 ページ）。

### ⑤ 表示 / 非表示

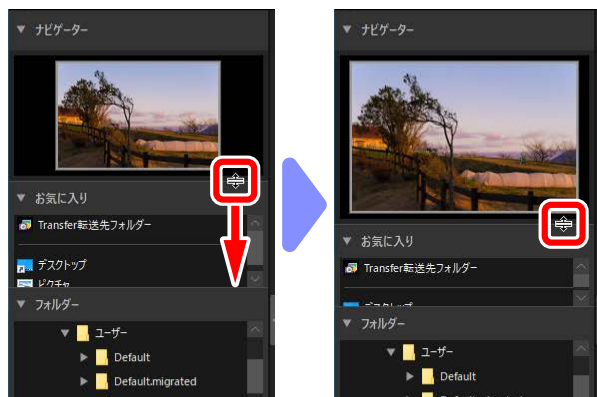
クリックするとブラウザーパレットの表示 / 非表示を切り換えます。

## 各領域の表示 / 非表示について

[ナビゲーター]、[お気に入り]、[フォルダー]、[アルバム] の表示 / 非表示は、各領域の左上にある ▼ / ▶ をクリックして切り換えられます。

## 領域のサイズを変更する

[ナビゲーター]、[お気に入り]、[フォルダー]、[アルバム] の間をドラッグすると、各領域の表示サイズを変更できます。



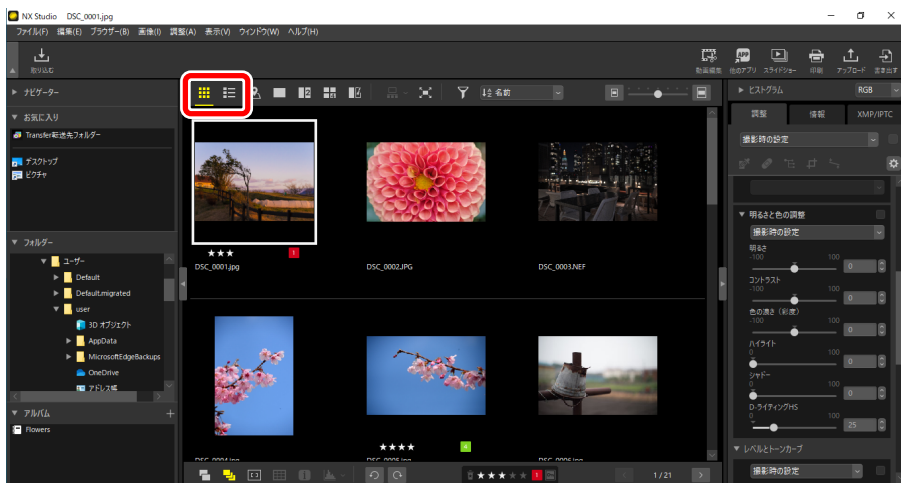
## ■ アルバムに画像をまとめる

任意のテーマで写真をまとめられます。複数のフォルダーに分かれて保存されている画像でも、アルバムにまとめておけば見たい画像をすぐに見つけられます。

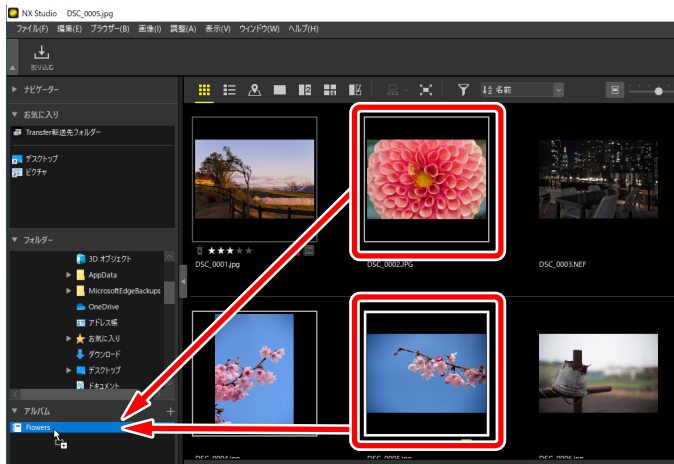
1. 右上の **+** をクリックして新規アルバムを作成し、アルバム名を入力します。



2. ビューアーの表示をサムネール一覧表示またはサムネール詳細表示にするか、フィルムストリップを表示します (☐ [「ビューアーの画像表示方法を変更する」](#) 36 ページ、[「フィルムストリップを表示する」](#) 47 ページ)。



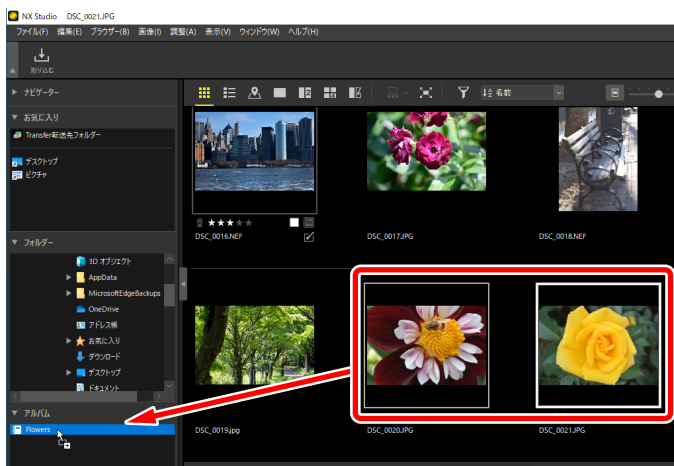
3. 手順 1 で作成したアルバムに画像をドラッグ & ドロップして追加します。



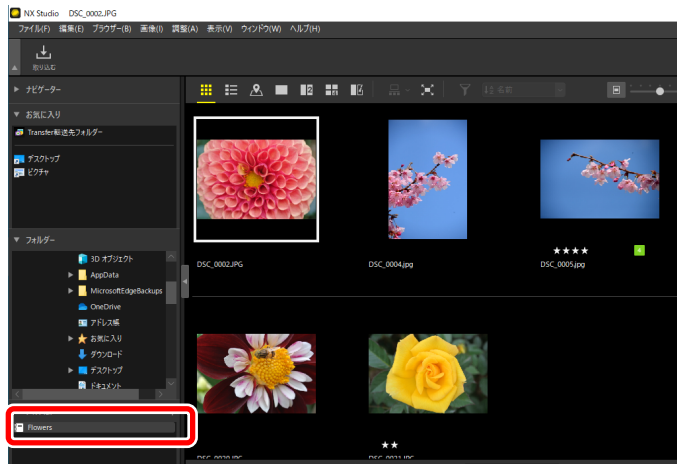
#### 複数の画像をまとめてアルバムに追加する

Ctrl キー（macOS は command キー）や Shift キーを使用して、複数の画像を選んでドラッグ & ドロップすると、画像をまとめて追加できます。

4. フォルダーを切り換えて複数のフォルダーから画像を追加できます。



5. アルバム名をクリックすると、手順3～4で追加した画像がまとめて表示されます。



## 📁 アルバムについて

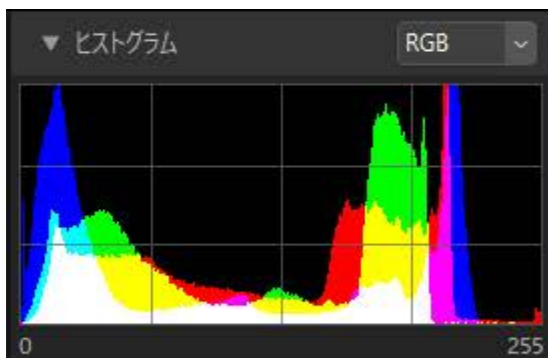
- アルバムの中にフォルダーを作成することはできません。
- アルバム内の画像をソートしたり、フィルターで絞り込むことはできません。
- 画像は元のフォルダーに保存されています。複製や移動はされません。
- アルバムを選んで右クリック（macOSはcontrolキーを押しながらクリック）して「**アルバムを削除**」を選ぶと削除できます。

# 調整 / 情報パレット

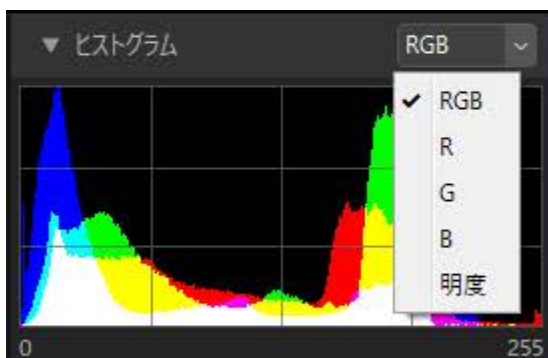


## ① 【ヒストグラム】

選んだ画像のヒストグラムを表示します。ヒストグラムの表示 / 非表示は、左上の ▼ / ▶ をクリックして切り換えられます。



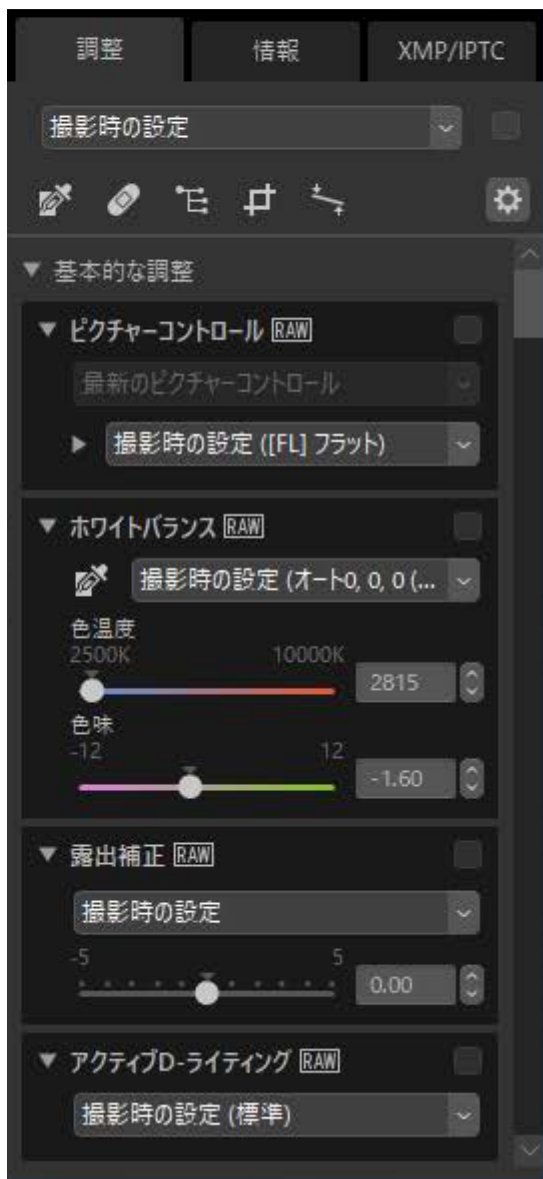
- プルダウンメニューで表示するヒストグラムのチャンネルおよび明度を選べます。



- **[RGB]** では、**[R]** (赤)、**[G]** (緑)、**[B]** (青) のヒストグラムが相互に重なって表示されます。ヒストグラムが重なるところは、他の色が表示されます。シアン領域は **[G]** と **[B]**、マゼンタ領域は **[R]** と **[B]**、黄色領域は **[R]** と **[G]** が重なっていることを示します。白領域はすべてのチャンネルが重なっていることを示します。

## ② 【調整】 タブ

選んだ画像の調整が行えます。露出補正やホワイトバランス、明るさなどの調整や、トリミング、傾き補正など多彩な調整が可能です（☐ [画像を調整する](#) 80 ページ）。





### ③ 【情報】 タブ

カメラのモデル名、撮影日時、露出など、選ばれている画像に関連する情報が表示されます。



## 表示モードを変更する

表示モード切替ボタンを押すと、[情報] タブの表示を切り換えられます。



#### ④ [XMP/IPTC] タブ

ラベルやレーティングを含めた画像の XMP/IPTC 情報を編集できます。ビューエリアや [画像] メニューで設定したラベルとレーティングの内容が [XMP/IPTC] タブにも反映されます。



## ⑤ 表示 / 非表示

クリックすると調整 / 情報パレットの表示 / 非表示を切り換えます。

# 対応フォーマットについて

NX Studio で使用できるファイル形式は次の通りです。

## 画像ファイル

ニコン製デジタルカメラで撮影、またはニコン製のソフトウェアで保存された静止画ファイルに対応しています。

- NEF 形式または NRW 形式の RAW 画像（拡張子：.nef / .nrw）
- JPEG 形式（拡張子：.jpg / .jpeg）：RGB モードのみ対応しています。CMYK モード、JPEG2000 には対応していません。
- TIFF 形式（拡張子：.tif / .tiff）：RGB モードのみ対応しています。CMYK モードには対応していません。TIFF 画像の調整は、非圧縮または LZW 圧縮されたファイルのみ対応しています。
- MPO 形式（拡張子：.mpo）

### RAW 画像の表示について

Nik Color Efex Pro シリーズを使用して調整された RAW 画像および NX Studio にインストールされていない「オプションピクチャーコントロール」を使用して撮影・調整された RAW 画像の場合、RAW 画像に埋め込まれたプレビュー（簡易表示）のみを表示しています。これらの画像はファイルの調整およびファイル変換できません。

## 動画ファイル

ニコン製デジタルカメラで撮影、またはニコン製のソフトウェアで保存された動画ファイルに対応しています。

- Windows 用ビデオフォーマット（拡張子：.avi）
- QuickTime フォーマット（拡張子：.mov）
- MPEG-4 フォーマット（拡張子：.mp4）

## 音声ファイル

画像に音声メモファイルとして関連付けられている場合と、COOLPIX の音声レコード機能で録音された音声データに対応しています。

- WAV 形式（拡張子：.wav）

## イメージダストオフデータ

イメージダストオフ機能を使用するためにニコン製デジタル一眼レフカメラおよびミラーレスカメラで取得したデータです（☞ [「カメラ補正」](#) 143 ページ）。

- NDF ファイル（拡張子：.ndf）

## ログファイル

位置情報の記録（ログ）を保存したログファイルです（☞ [「位置情報ログを読み込む」](#) 219 ページ）。

- NMEA ファイル（拡張子：.nmea / .nma / .log）
- GPX ファイル（拡張子：.gpx）
- 高度ログ（拡張子：.lga）
- 水深ログ（拡張子：.lgb）

# 画像を表示する

- 📖 [ビューエリアについて](#)
- 📖 [ビューアーの画像表示方法を変更する](#)
- 📖 [フィルムストリップを表示する](#)
- 📖 [全画面表示する](#)
- 📖 [動画を再生する](#)
- 📖 [下部ツールバーについて](#)
- 📖 [画像を比較表示する](#)

# ビューエリアについて

画像はビューエリアに表示されます。サムネイル表示や1枚表示以外にも、複数画像を並べて表示したり調整前後の画像を比較表示するなど、さまざまな表示が可能です。



## ① 画像表示方法

ビューアーに表示する画像の表示方法を変更します。サムネイル表示や地図表示、1枚表示のほか、複数の画像を並べて表示することもできます（☞ [「ビューアーの画像表示方法を変更する」](#) 36 ページ）。

## ② フィルムストリップ

ビューアーの下または左に一列でサムネイル（フィルムストリップ）を表示します（☞ [「フィルムストリップを表示する」](#) 47 ページ）。

## ③ 全画面表示

モニターいっぱい画像を表示できます（☞ [「全画面表示する」](#) 49 ページ）。

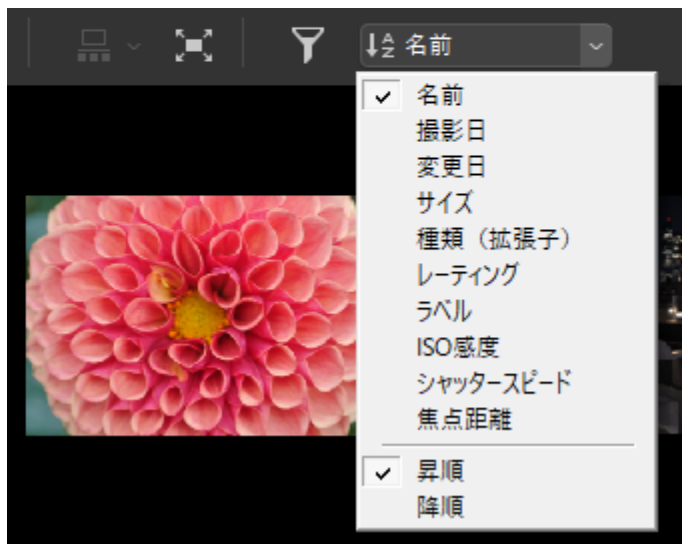


#### ④ 絞り込み

サムネイル表示またはフィルムストリップに表示する画像を複数の条件で絞り込みます（□ [「画像を絞り込む」](#) 63 ページ）。

#### ⑤ ソート

サムネイル表示またはフィルムストリップで表示される画像の並び順の基準を変更できます。



#### ⑥ 表示サイズ

サムネイルのサイズまたは画像の表示サイズを変更できます（□ [「サムネイルのサイズを変更する」](#) 42 ページ、[「画像の表示サイズを変更する」](#) 46 ページ）。

#### ⑦ ビューアー

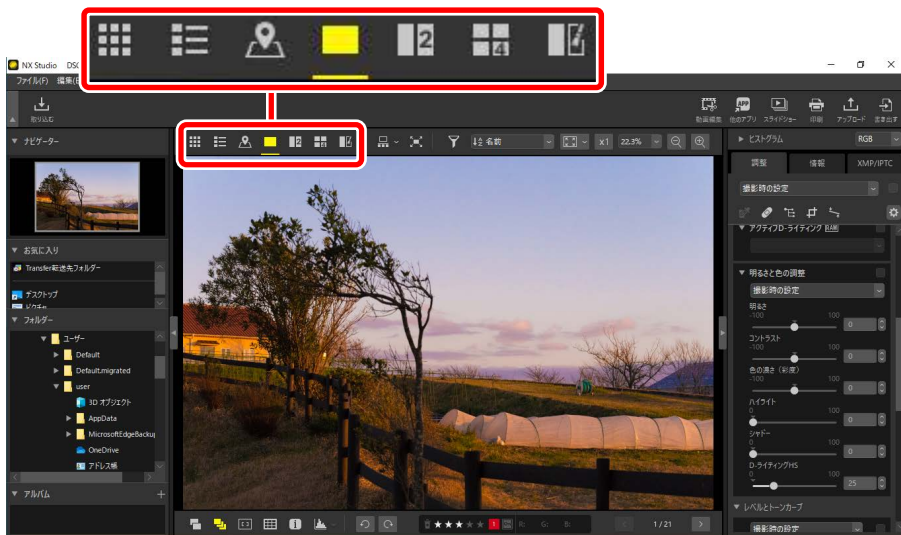
選んだ画像が表示されます。

#### ⑧ 下部ツールバー

ビューアー内に撮影情報を表示したり、画像のレーティングやラベルを変更したりできます（□ [「下部ツールバーについて」](#) 53 ページ）。

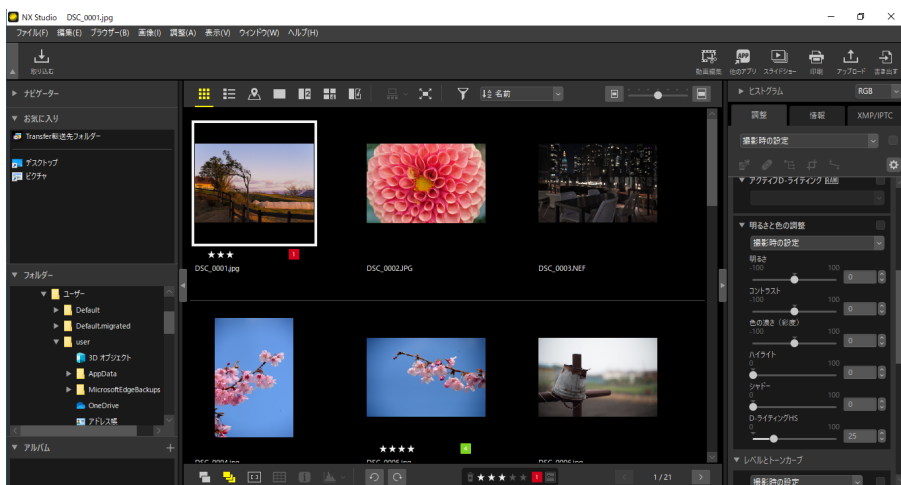
# ビューアーの画像表示方法を変更する

画像表示方法は、ビューエリア内の上部ツールバーで変更できます。



## サムネール一覧表示 ( )

選んだフォルダー内の画像を一覧で表示します。



## ■ 静止画のサムネイルに表示される情報について

静止画のサムネイルに表示される情報は次の通りです。サムネイルの表示サイズが小さい場合、一部の情報は表示されません。



### ① レーティング

設定したレーティングが表示されます。レーティングが設定されていない画像の場合、マウスカーソルを重ねると設定を行えます（☞ [「レーティングを付ける」](#) 65 ページ）。

### ② ラベル

設定したラベルが表示されます。ラベルが設定されていない画像の場合、マウスカーソルを重ねると設定を行えます（☞ [「ラベルを付ける」](#) 69 ページ）。

### ③ プロテクト





プロテクトしている画像に表示されます。マウスカーソルを重ねると、プロテクトの設定を行えます（☞ [「画像をプロテクトする」](#) 73 ページ）。

### ④ ファイル名

ファイル名が表示されます。何か調整を行った後に保存していない場合、ファイル名の先頭に「\*」が表示されます。

## ⑤ 調整アイコン

画像調整を行った画像に表示されます。






-  : [調整] タブで調整を行った画像 (☞ [「画像を調整する」](#) 80 ページ)
-  : Capture NX 2 で調整を行った画像
-  : Nik Color Efex Pro シリーズで調整を行った画像
-  : カメラで調整を行った画像

## ⑥ 同時記録表示

RAW+JPEG 形式で撮影した画像に表示されます。

## ⑦ グループ

音声メモなどの画像に表示されます。




-  : 音声メモ付き画像
-  : スマートフォトセレクトター (ベストショット)
-  : スマートフォトセレクトター (ベストショット候補画像)
-  : モーションスナップショット
-  : 3D で撮影された MPO 画像

## ⑧ 位置情報

位置情報が記録された画像に表示されます (☞ [「位置情報を活用する」](#) 197 ページ)。

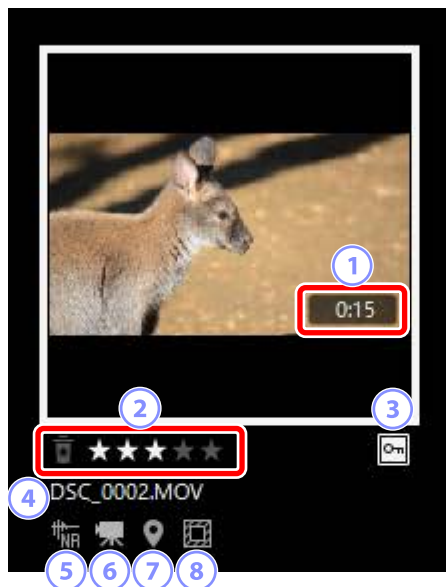
## ⑨ 撮像範囲

撮像範囲が設定できるカメラで撮影された画像に表示されます。FX フォーマットで撮影した場合は何も表示されません。撮影した撮像範囲や画角により、表示されるアイコンは異なります。次のアイコンは表示の一例です。

-  : 撮像範囲が縦横比 3 : 2 で撮影された静止画
-  : 撮像範囲が縦横比 5 : 4 (30 × 24) で撮影された静止画
-  : 焦点距離の約 1.2 倍相当の画角にクロップされた静止画

## ■ 動画のサムネイルに表示される情報について

動画のサムネイルに表示される情報は次の通りです。サムネイルの表示サイズが小さい場合、一部の情報は表示されません。



### ① 記録時間

動画の記録時間が表示されます。

### ② レーティング

設定したレーティングが表示されます。レーティングが設定されていない動画の場合、マウスカーソルを重ねると設定を行えます（☞ [「レーティングを付ける」](#) 65 ページ）。

### ③ プロテクト

プロテクトしている動画に表示されます。マウスカーソルを重ねると、プロテクトの設定を行えます（☞ [「画像をプロテクトする」](#) 73 ページ）。

### ④ ファイル名

ファイル名が表示されます。何か調整を行った後に保存していない場合、「\*」が表示されます。

### ⑤ AF 駆動音低減アイコン

[画像] メニューの [AF 駆動音低減] で AF 駆動音低減処理を行った動画に表示されます。

### ⑥ 動画アイコン




動画ファイルに表示されます。

### ⑦ 位置情報

位置情報が記録された動画に表示されます (□ [\[位置情報を活用する\]](#) 197 ページ)。

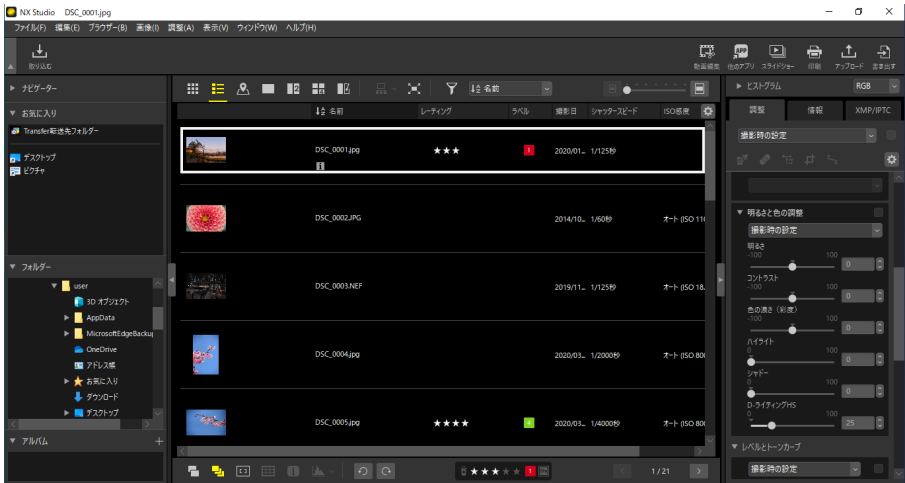
### ⑧ 撮像範囲

クロップ撮影に対応したカメラの動画モードで撮影された動画に表示されます。撮影した撮像範囲や画角により、表示されるアイコンは異なります。次のアイコンは表示の一例です。

-  : 縦横比 3 : 2 にクロップされた動画
-  : DX フォーマットに対して、焦点距離の約 1.3 倍相当の画角にクロップされた動画
-  : 焦点距離の約 3.0 倍相当の画角にクロップされた動画

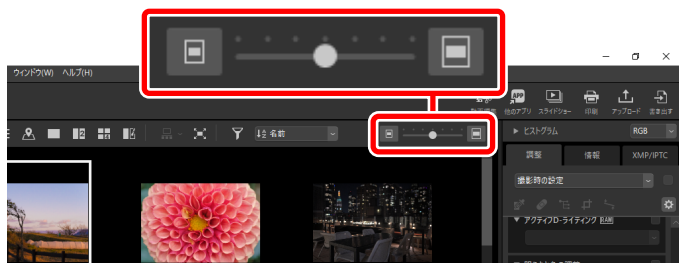
# サムネイル詳細表示 (☰)

選んだフォルダー内の画像を一覧で表示します。画像のファイル名やラベルなどの条件で並び順をソートできます。




## サムネイルのサイズを変更する

サムネイル一覧表示またはサムネイル詳細表示の場合、ビューエリア右上のスライダーでサムネイルのサイズを変更できます。スライダーを右に移動するほどサムネイルが大きく表示されます。



## サムネイル詳細表示の項目を変更する

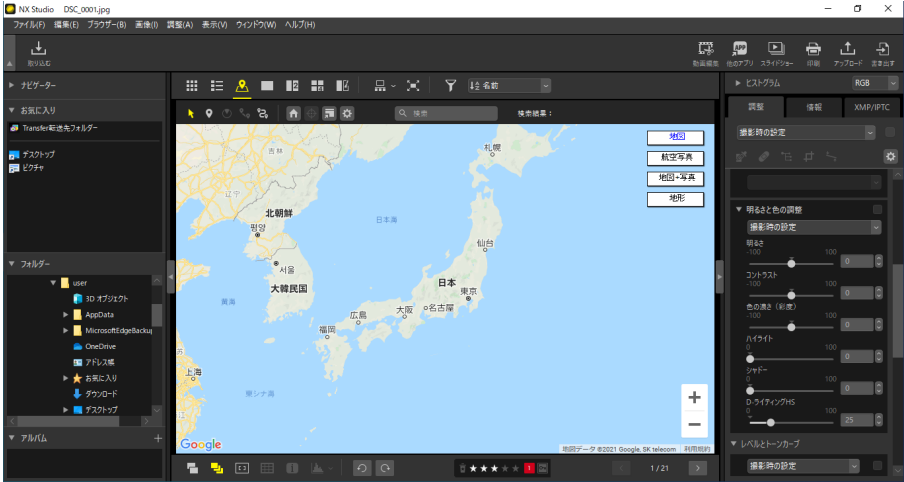
サムネイル詳細表示で表示する項目は、ビューエリア右上の  アイコンで変更できます。





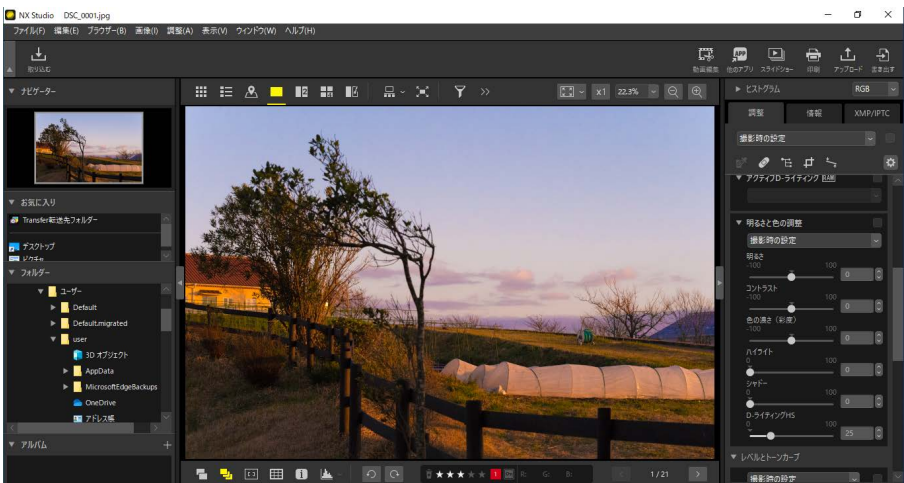
## 地図表示 (📍)

撮影時に画像に記録された位置情報をもとに、インターネット上の地図サービスを使用して、地図上に撮影地点をアイコンで表示できます。位置情報ログを使用して、画像に位置情報を付加することも可能です (☞ [「位置情報を活用する」](#) 197 ページ)。




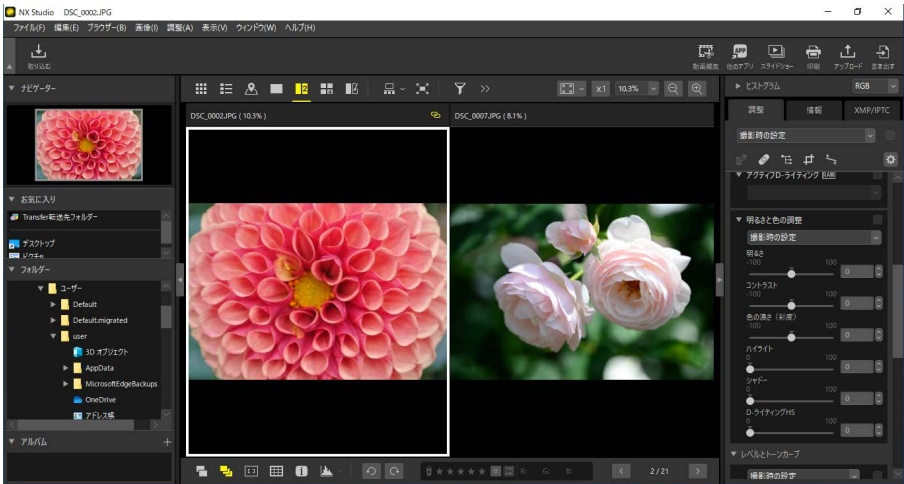
## イメージビューアー表示 (🖼️)

画像を 1 枚表示します。




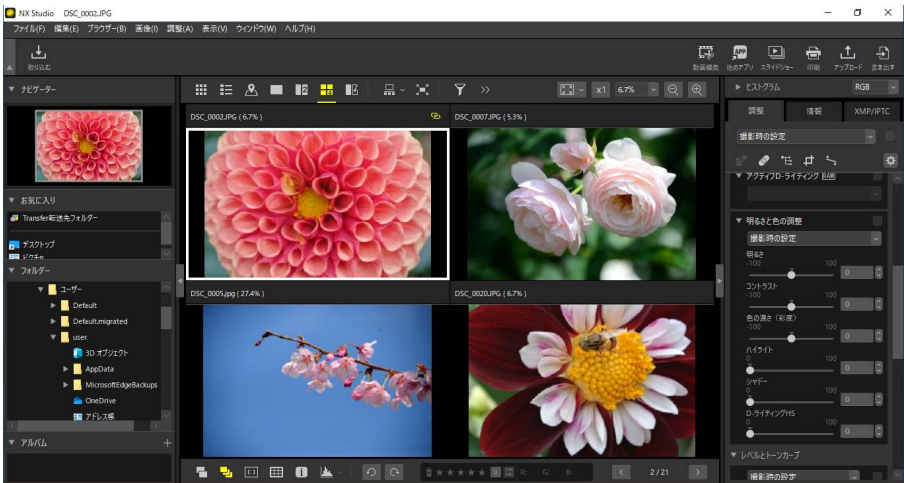
## 2 画面表示 ( )

異なる画像を2枚並べて表示できます (  [「2画面表示/4画面表示」](#) 58ページ)。




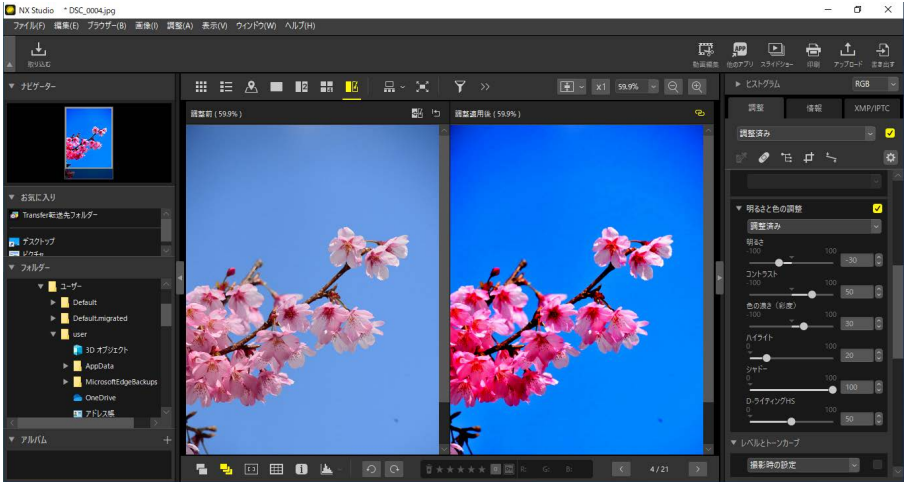
## 4 画面表示 ( )

異なる画像を4枚並べて表示できます (  [「2画面表示/4画面表示」](#) 58ページ)。



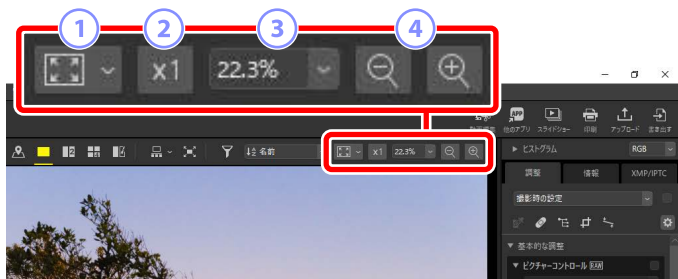
# 調整結果比較 ( )


同じ画像の調整前と調整適用後を並べて比較できます (  [調整結果比較](#) 61 ページ)。



## 🔗 画像の表示サイズを変更する

イメージビューアー表示、2画面表示、4画面表示、調整結果比較の場合、表示する画像サイズをビューエリア右上のボタンで変更できます。





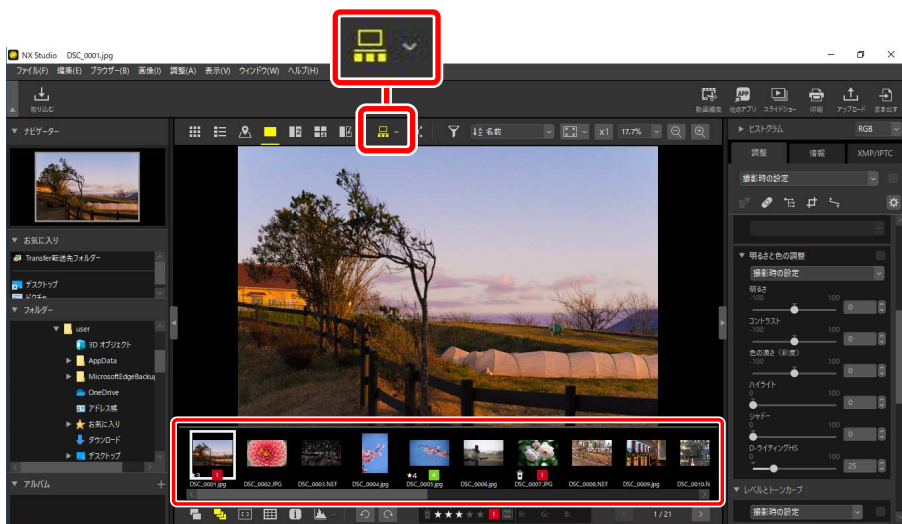
- ① 全体表示：クリックすると設定に合わせて画像を全体表示します。全体表示の設定は、 をクリックして変更できます。
  - ・ [ウィンドウに合わせて全体表示]：画像全体がビューアー内に収まるように表示します。
  - ・ [縦横画像を同じ倍率で全体表示]：ビューアー内に内接する正方形を表示可能領域として、画像全体がその表示領域に収まるように表示します。
  - ・ [短辺をウィンドウに合わせて表示]：画像の短辺がビューアー内に収まるように表示します。表示倍率が 100% を越えることはありません。
- ② 等倍表示：クリックすると 100% で表示します。
- ③ 表示倍率：表示する倍率をメニューから選べます。
- ④ 縮小 / 拡大：クリックするごとに画像を縮小または拡大します。画像は 6 ~ 400% の間で表示できます。




## 🔗 画像を等倍表示する

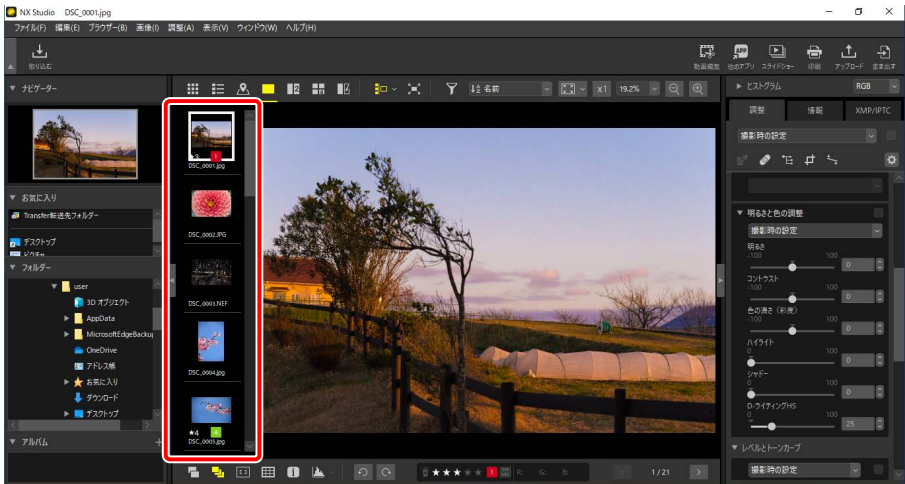
ビューアー内の画像をクリックしても等倍表示にできます。また、カーソルを画像に合わせて Shift キーを押すと一時的に等倍表示になります。

# フィルムストリップを表示する

地図表示、イメージビューアー表示、2画面表示、4画面表示、調整結果比較の場合、ビューエリア内の上部ツールバーで  をオン () にするとビューアーの下または左一列にサムネイル（フィルムストリップ）が表示されます。



フィルムストリップの表示位置は、 をクリックして変更できます。設定を変更すると、アイコンの表示も変更されます（ : 水平表示、 : 垂直表示）。

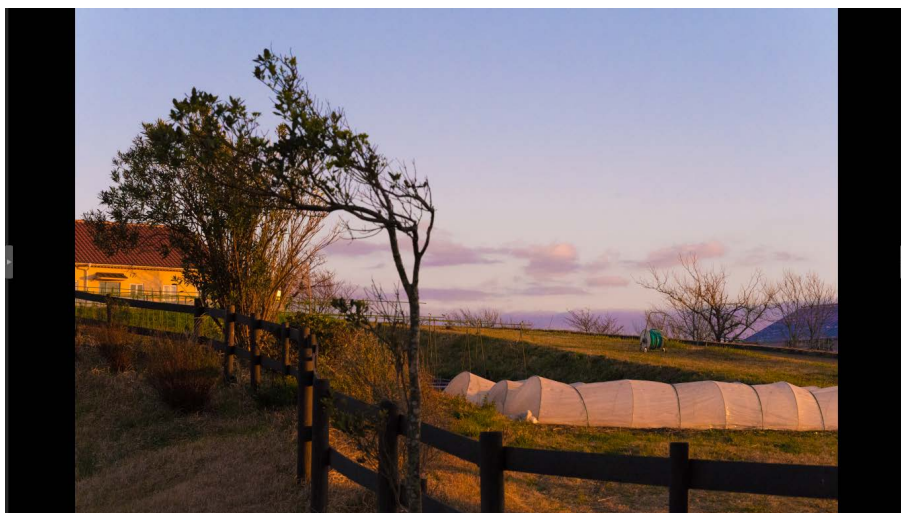
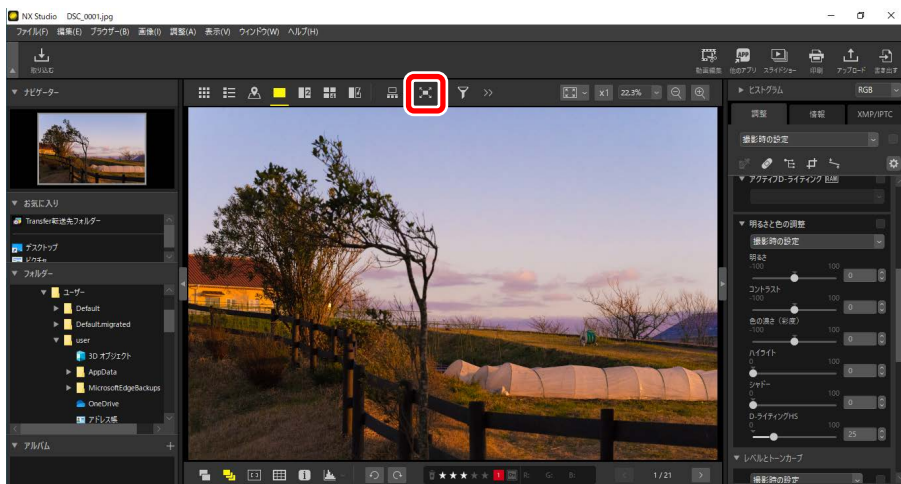


垂直表示

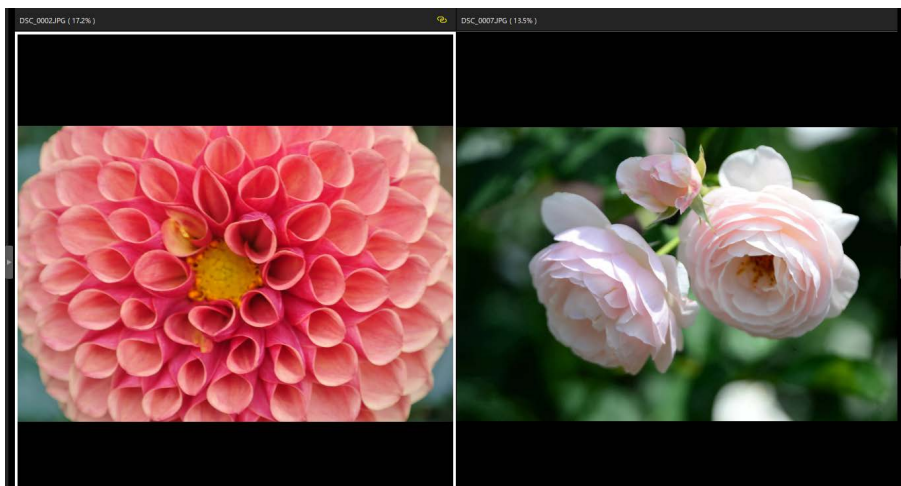


# 全画面表示する



ビューエリア内の上部ツールバーで  をオン (  ) にすると、モニターいっぱいに表示します。

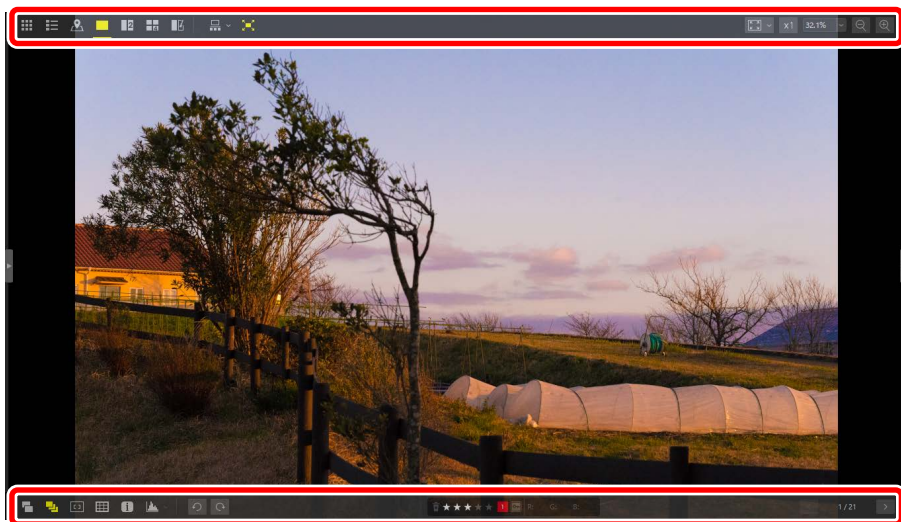


- サムネール一覧表示およびサムネール詳細表示の場合、イメージビューアー表示に切り替わって選んだ画像が1枚表示されます。
- 地図表示、イメージビューアー表示、2画面表示、4画面表示、調整結果比較の場合、それぞれの表示のまま全画面表示になります。



2画面表示の全画面表示

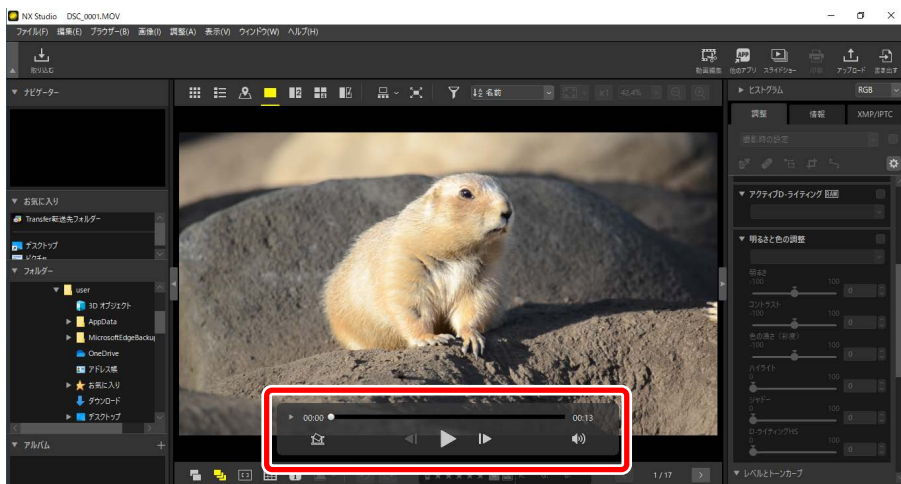
- モニターの上または下にマウスカーソルを移動すると、ビューエリア内のツールバーが表示されます。 をクリックしてオフ () にすると、全画面表示を解除します。Esc キーを押しても解除できます。



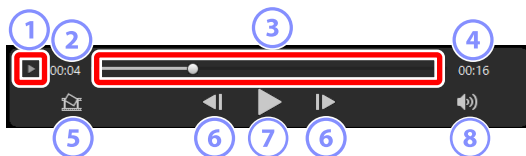


# 動画を再生する

動画を選んで1枚表示すると、NX Studioで再生できます。マウスカーソルをビューアーに合わせると、動画再生コントローラーが表示されます。



## 動画再生コントローラーについて



### ① 動画フレーム表示切替

クリックすると、動画のコマをサムネイルで表示します。サムネイルの左右のハンドルをドラッグして、必要な部分を指定できます（☞ [動画の必要な部分だけを切り出す](#) 163 ページ）。

### ② 再生時間

動画の再生位置が表示されます。

### ③ 再生スライダー

動画の再生位置を表します。ドラッグして再生位置を変更できます。

### ④ 記録時間

動画の記録時間が表示されます。

## ⑤ 静止画切り出し保存

再生画面に表示されているコマを静止画として保存できます。


## ⑥ コマ戻し / コマ送り

クリックすると再生位置を 1 コマ前または後ろに移動します。動画再生中にクリックすると、一時停止状態となり、そこから再生位置を移動します。


## ⑦ 再生 / 一時停止

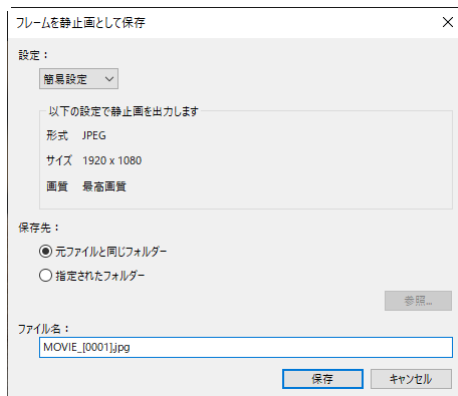
動画を再生 / 一時停止します。

## ⑧ ミュート

クリックして  にすると、動画の音量をオフにできます。再度クリックすると音量をオンにできます。

### 静止画切り出し保存について

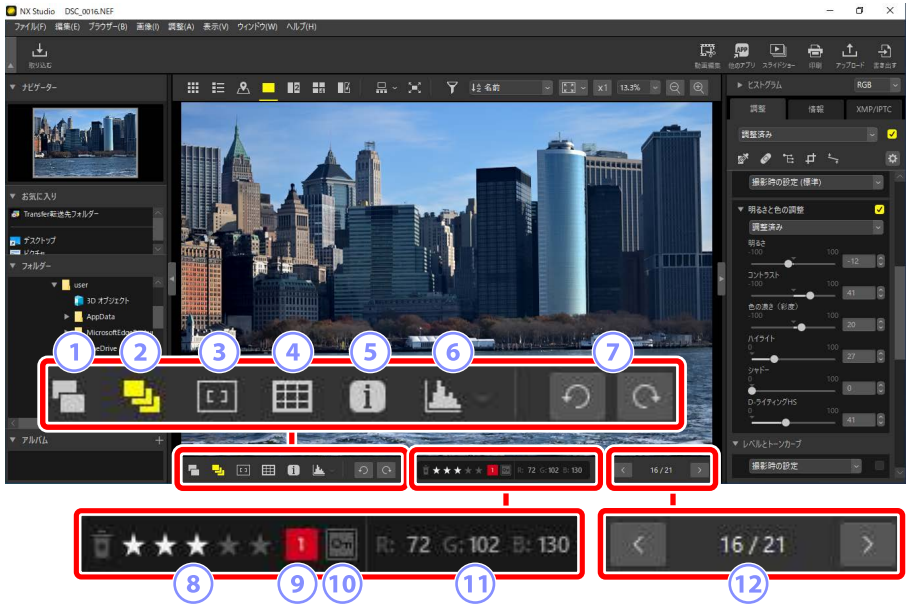
動画再生コントローラーの静止画切り出し保存ボタン () をクリックすると、再生画面に表示されているコマを静止画として保存できます。




- ・ [設定] で [簡易設定] を選ぶと、サイズと画質が自動的に設定されます。
- ・ [設定] で [詳細設定] を選ぶと、サイズと画質を設定できます。
- ・ [保存先] で [指定されたフォルダー] を選ぶと、静止画を保存するフォルダーを指定できます。
- ・ [ファイル名] で保存する静止画のファイル名を入力できます。

# 下部ツールバーについて


ビューエリアの下部に表示されるツールバーでビューア内に情報を表示したり、画像のレーティングやラベルを変更したりできます。




## ① 同時記録画像

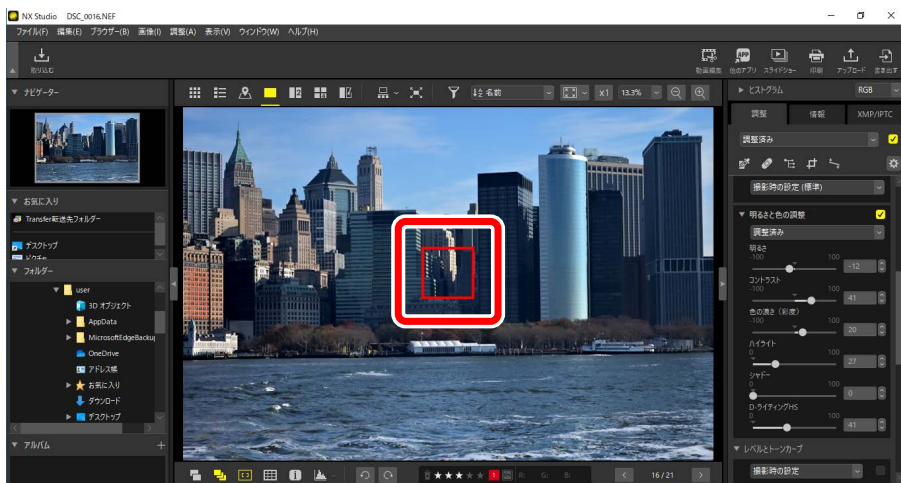
オン（）にすると、サムネイル表示またはフィルムストリップを表示している場合に RAW+JPEG 形式で撮影した画像をまとめて表示します。

## ② グループ画像

オン（）にすると、サムネイル表示またはフィルムストリップを表示している場合にスマートフォトセレクトアや連写パッケージで撮影された画像をまとめて表示します。

### ③ フォーカスポイント

オン (  ) にすると、表示している画像のフォーカスポイントを表示します。



- CPU レンズを装着したニコン製デジタル一眼レフカメラおよびミラーレスカメラ、または COOLPIX A で撮影した画像に表示されます。
- サムネイル表示、1 枚表示、複数枚表示いずれの場合も表示されます。

#### フォーカスポイント表示のご注意


- フォーカスロック後に構図を変えて撮影した場合、ピントが合っている場所とフォーカスポイント表示が一致していないことがあります。
- ピントが合っていない状態で撮影した画像の場合、フォーカスポイントが表示されないことがあります。

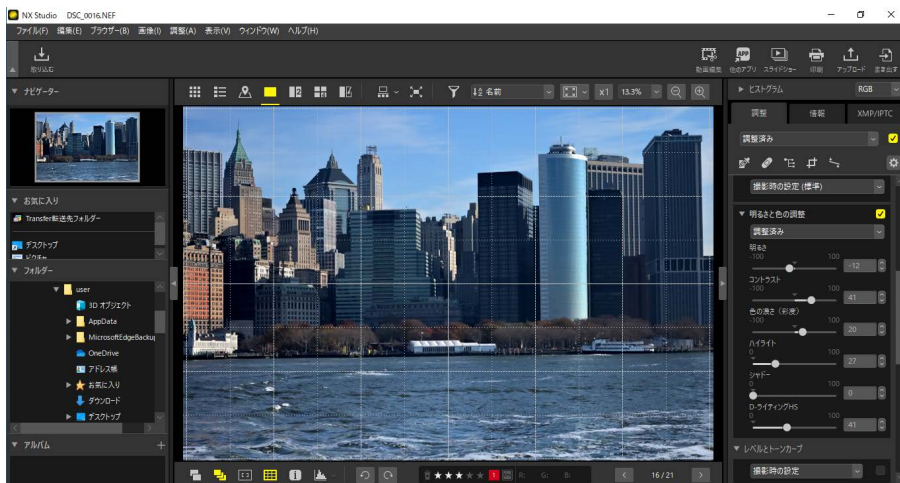
#### フォーカスポイントが表示されない画像

次の場合、フォーカスポイントは表示されません。


- トリミングおよび傾き補正した画像
- リサイズした画像
- 回転して書き出した画像
- 非 CPU レンズを装着して撮影した画像
- マニュアルフォーカスで撮影した画像
- 他のソフトウェアで編集した画像

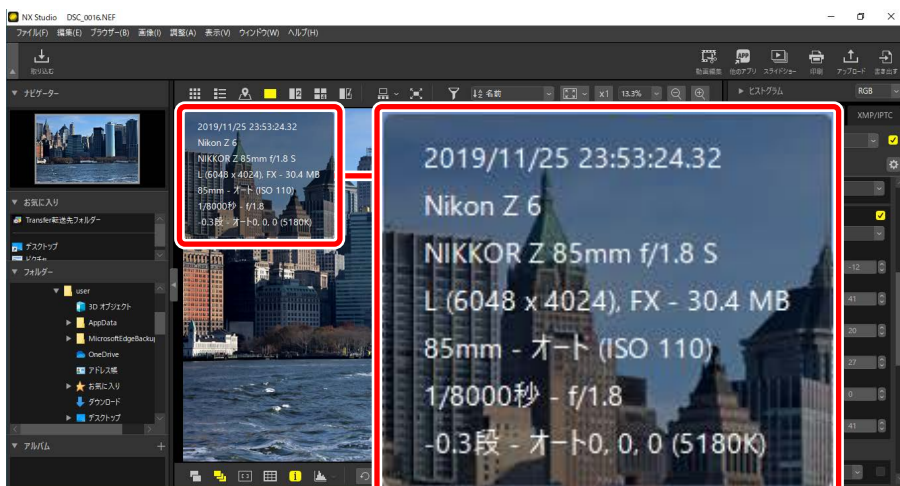
#### ④ グリッド表示

オン (  ) にすると、ビューアーにグリッド (格子線) を表示します。





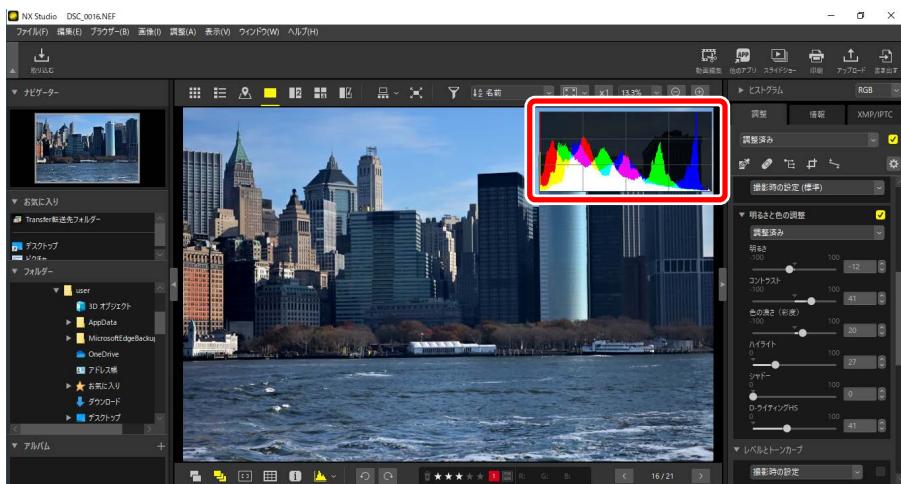
#### ⑤ 画像情報

オン (  ) にすると、ビューアーに画像の撮影日時やカメラ名などの情報を表示します。



## ⑥ ヒストグラム


オン (  ) にすると、ビューアーに画像のヒストグラムを表示します。  
 をクリックして、表示する内容を変更できます。



## ⑦ 画像の回転

クリックすると、選んだ画像を反時計回りまたは時計回りに回転できます。


## ⑧ レーティング

画像のレーティングを変更できます (  [「レーティングを付ける」](#) 65 ページ)。

## ⑨ ラベル

画像のラベルを変更できます (  [「ラベルを付ける」](#) 69 ページ)。

## ⑩ プロテクト

画像のプロテクトの設定を変更できます (  [「画像をプロテクトする」](#) 73 ページ)。

### ⑪ 現在のカラー

現在マウスポインターが合っている位置のピクセルのカラー情報を表示します。イメージビューアー表示、2画面表示、4画面表示、調整結果比較の場合に表示されます。

### ⑫ フォルダー内移動

現在のフォルダー内にあるファイル数と、何番目の画像が選ばれているかを表示します。◀ または ▶ で選んだ画像を変更できます。



# 画像を比較表示する



複数の画像を並べて表示したり、同じ画像の調整前と調整後とを並べて表示できます。

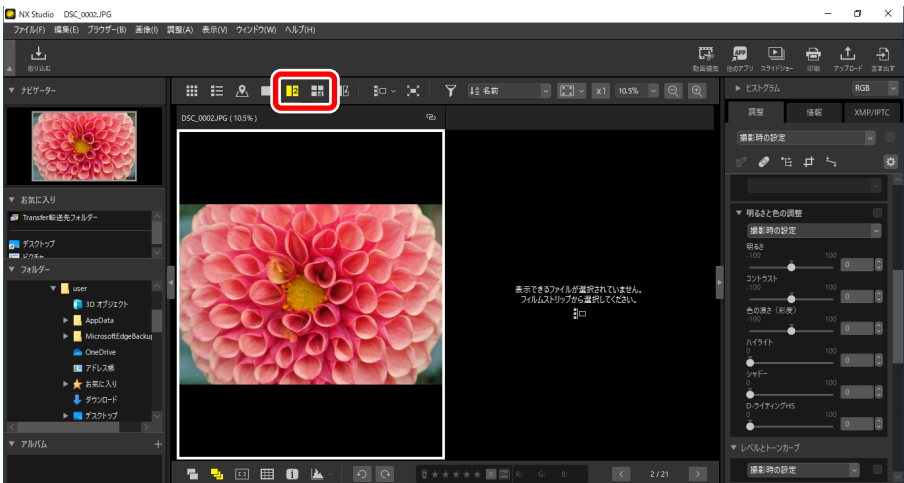
## 2 画面表示 / 4 画面表示

画像を並べて表示できます。連続撮影などで同じ被写体を何枚も撮影した場合に、使用する画像を比較しながら選別できます。

### ☑ 複数画像を比較表示する場合

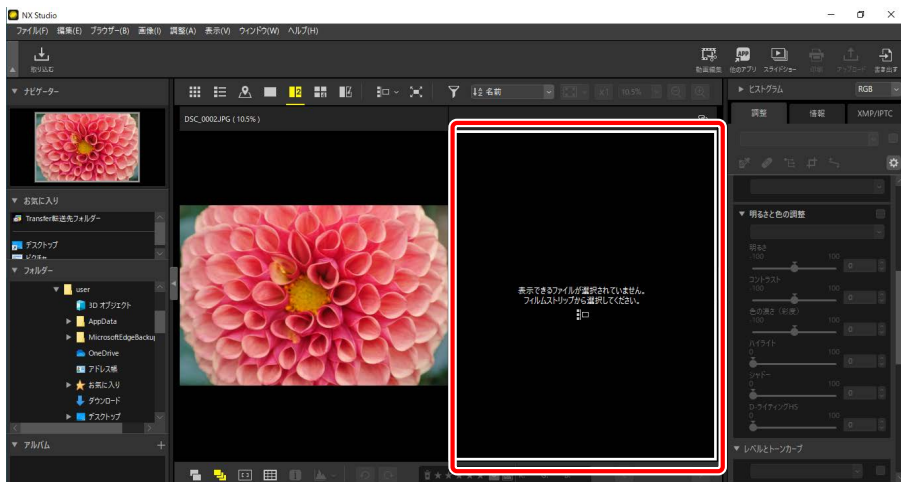
比較する画像は、同じフォルダーに保存してください。画像をアルバムにまとめれば、異なるフォルダーの画像を比較表示できます（☞ [「アルバムに画像をまとめる」](#) 21 ページ）。

1. 上部ツールバーから2画面表示（）または4画面表示（）を選びます。現在選ばれている画像が左側または左上に表示されます。

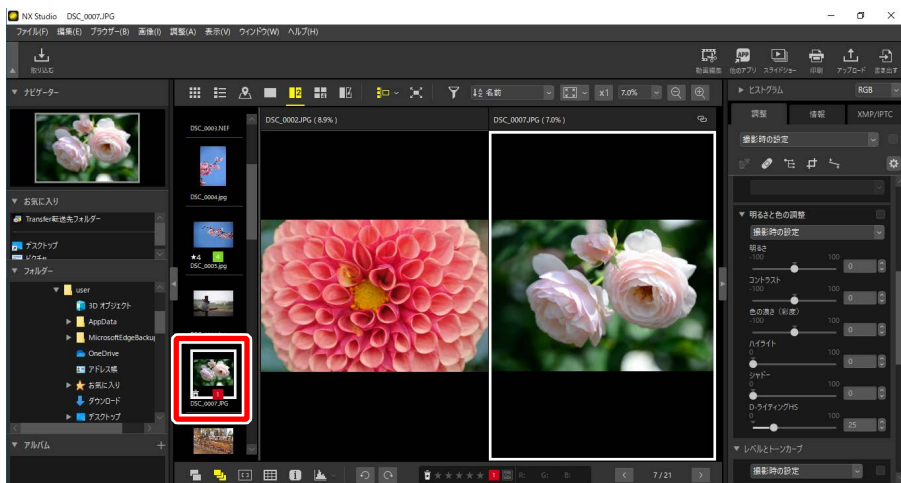




2. 比較する画像を表示させるエリアをクリックします。エリアに白い枠が表示されます。

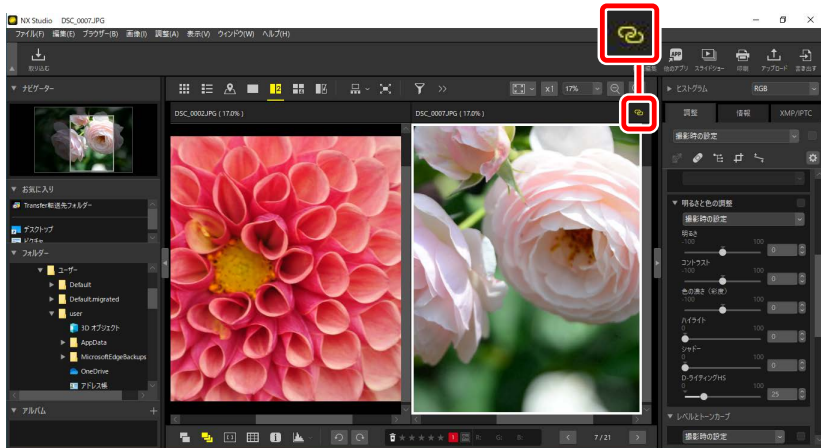


3. フィルムストリップを表示して画像を選ぶと、手順2で選んだエリアに表示されます (☞ [「フィルムストリップを表示する」](#) 47 ページ)。



## 🔗 画像同士の表示倍率や表示位置を同期する

選択されている画像のエリア右上にある同期アイコンをオン（🔗）にすると、すべての画像を同じ表示倍率で表示します。また、表示位置を移動すると、他の画像の表示位置も合わせて移動します。

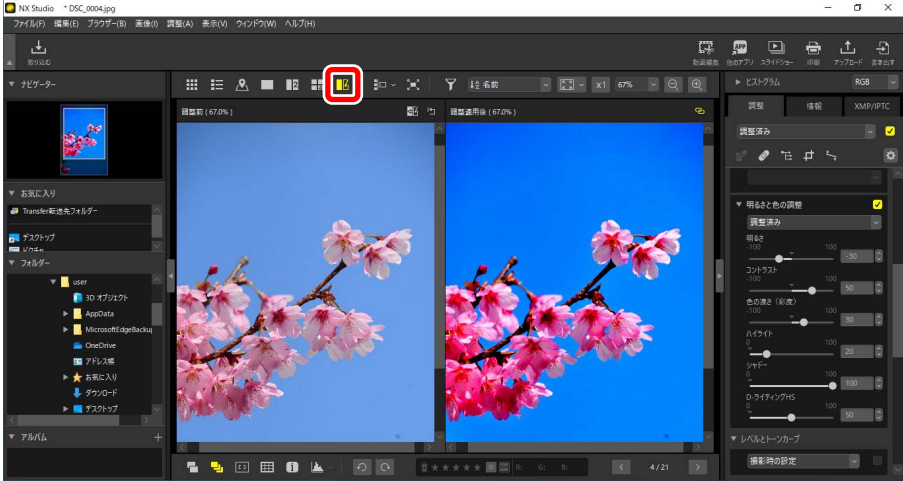


## 🔗 比較表示時の画像調整について

画像調整は、現在選ばれている画像（白い枠が表示されている画像）だけに適用されます。

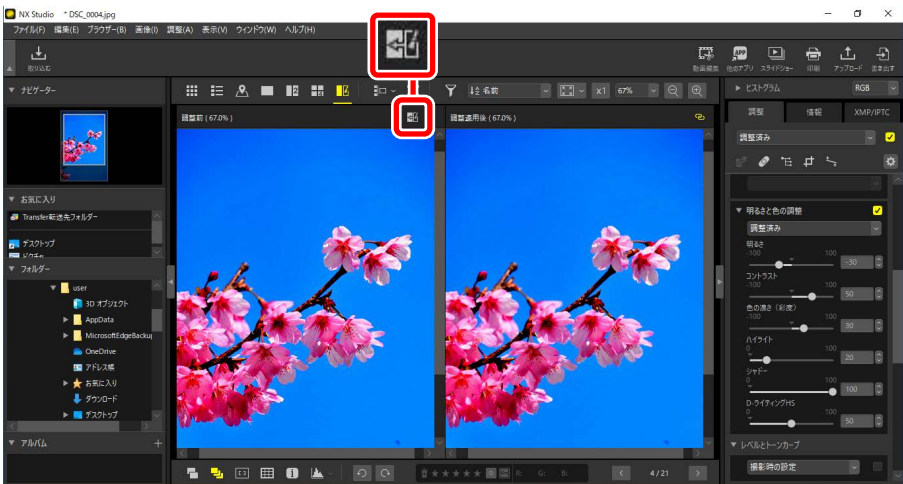
# 調整結果比較

**[ ]** を選ぶと、同じ画像の調整前と調整後を並べて表示できます。画像の調整を行うと、右側のエリアに調整後の画像が表示されます（[\[ \] 「画像を調整する」](#) 80 ページ）。




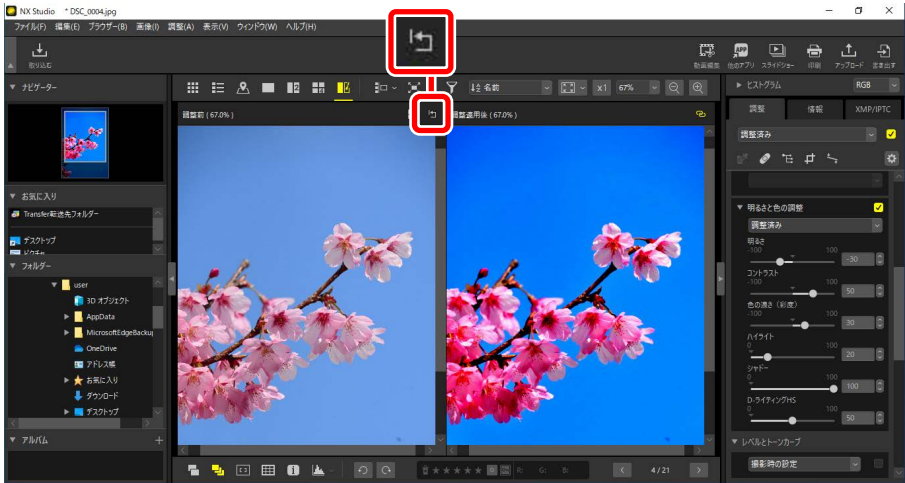
## ■ 調整後の画像を調整前の画像として使用する

調整前画像のカレントボタン（**[ ]**）をクリックすると、調整を加えた現在の画像を調整前の画像として使用できます。調整を加えた状態から、さらに調整を行う場合に便利です。



## ■ 調整前の画像を元に戻す

調整前画像のオリジナルボタン (  ) をクリックすると、左側の調整前の画像を撮影時の状態に戻します。他のソフトウェアで修正を加えた JPEG または TIFF 画像を表示している場合は、保存時の状態に戻します。

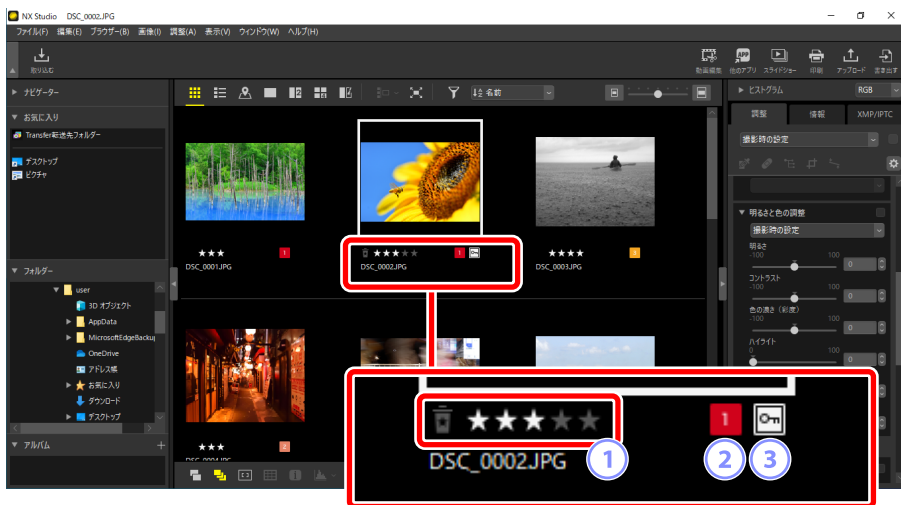


# 画像を絞り込む

- 📖 [画像を絞り込む方法について](#)
- 📖 [レーティングを付ける](#)
- 📖 [ラベルを付ける](#)
- 📖 [画像をプロテクトする](#)
- 📖 [詳細なフィルターで画像を絞り込む](#)

# 画像を絞り込む方法について

画像に印を付けておくと、表示する画像を絞り込むことができます。画像に付けられる印には次の3種類があります。



## ① レーティング

画像の重要度を設定できます（☞ [「レーティングを付ける」](#) 65 ページ）。

## ② ラベル

画像を分類できます。ラベルは1から9までと、0（ラベルなし）があり、それぞれ色分けされています（☞ [「ラベルを付ける」](#) 69 ページ）。

## ③ プロテクト

誤って削除しないために、画像をプロテクト（保護）できます（☞ [「画像をプロテクトする」](#) 73 ページ）。

# レーティングを付ける

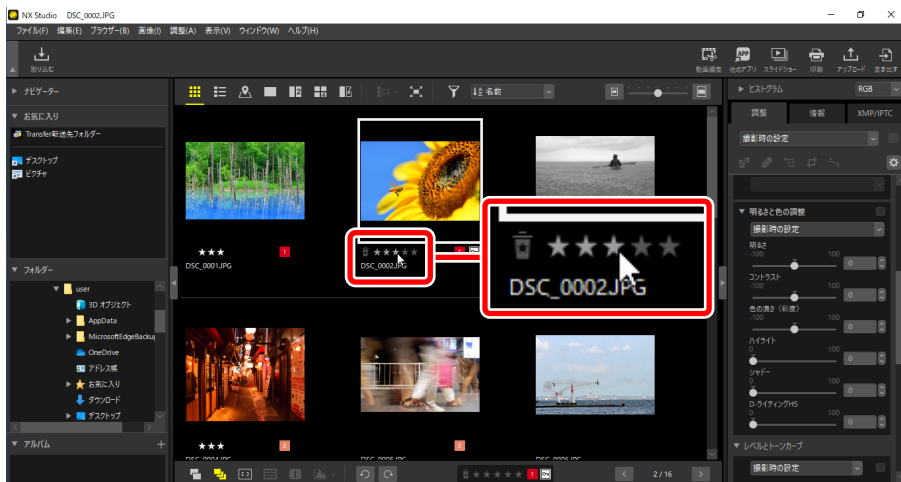
選んだ画像の重要度を ★★★★★～★、なし、🗑️（削除候補）から設定できます。カメラで設定したレーティングは NX Studio にも反映されます。

## レーティングの設定方法

レーティングは複数の箇所から設定できます。

### ■ サムネイル

設定したい画像のサムネイルにカーソルを合わせて、設定したいレーティングの★の数を選んでクリックします。設定したレーティングと同じ★の数を再度クリックすると、レーティングの設定が外れます。

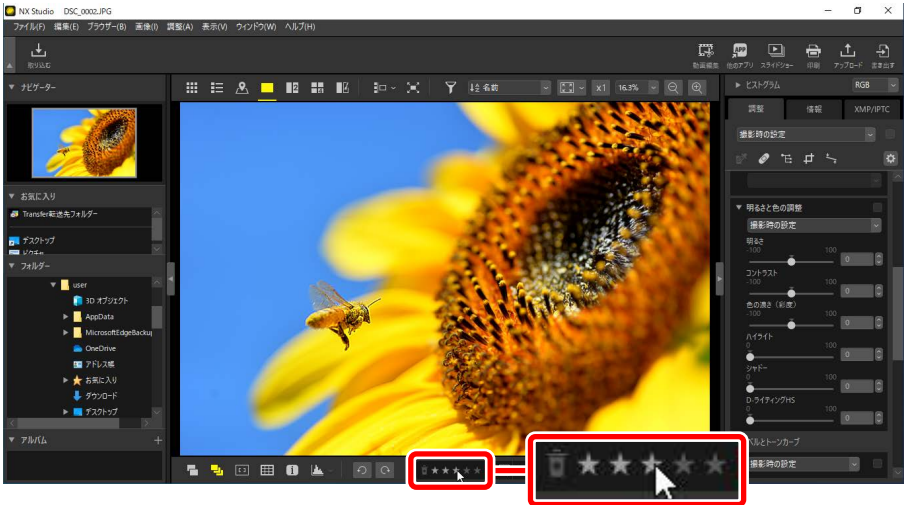


#### 🗒️ 複数の画像にまとめて同じレーティングを設定する

Ctrl キー（macOS は command キー）や Shift キーを使用して、複数の画像を選んでレーティングを設定すると、選んだ画像すべてに同じレーティングが設定されます。

## ■ ビューエリア下部ツールバー

表示している画像のビューエリア下部バーで、設定したいレーティングの★の数を選んでクリックします。設定したレーティングと同じ★の数を再度クリックすると、レーティングの設定が外れます（☞ [「下部ツールバーについて」](#) 53 ページ）。



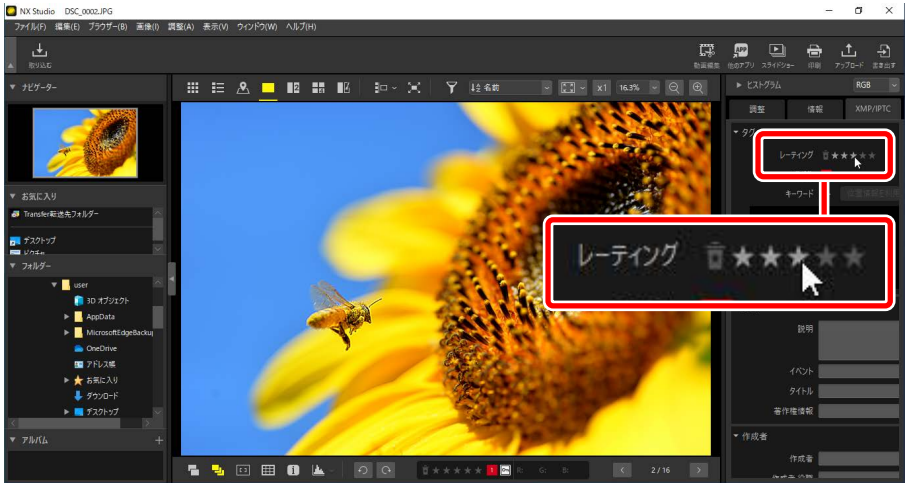
### 📌 2 画面表示、4 画面表示の場合

設定したレーティングは、現在選ばれている画像（白い枠が表示されている画像）に適用されます。



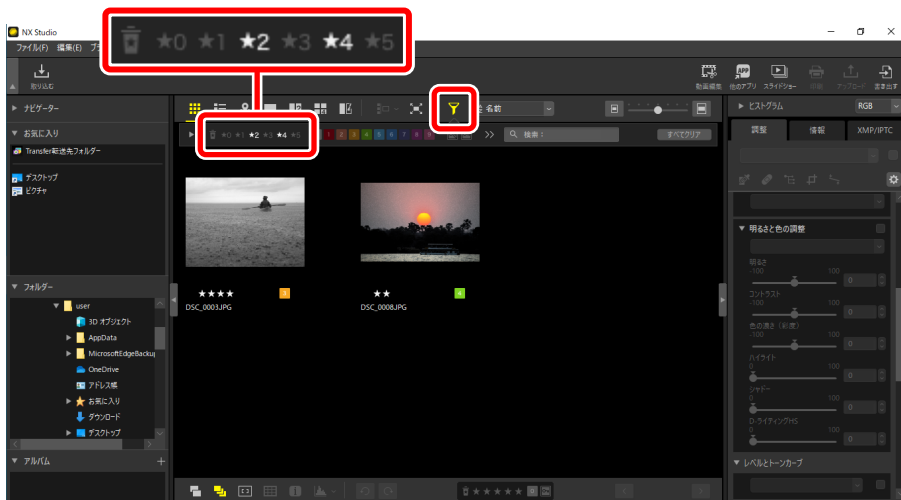
## ■ [XMP/IPTC] タブ

調整 / 情報パレットの [XMP/IPTC] タブの [レーティング] で、設定したいレーティングの★の数を選んでクリックします。設定したレーティングと同じ★の数を再度クリックすると、レーティングの設定が外れます (☞ [「調整 / 情報パレット」](#) 24 ページ)。

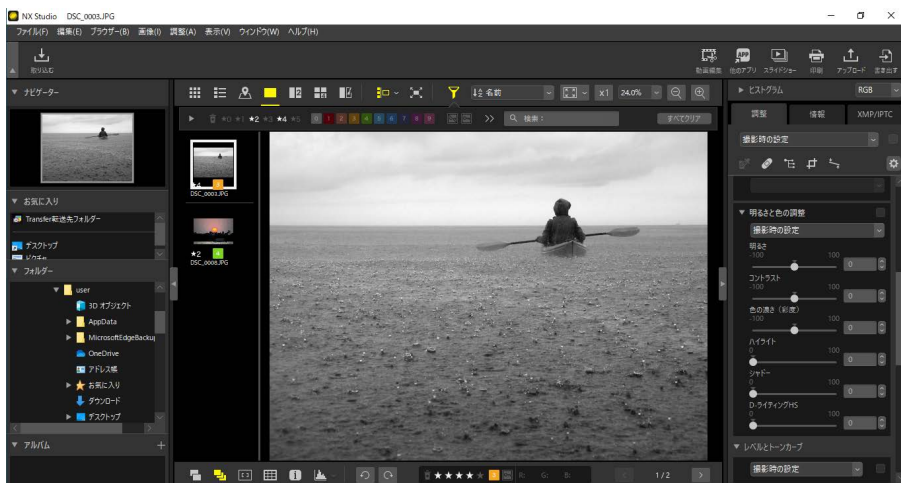


# レーティングで表示を絞り込む

設定したレーティングで絞り込みをかけて表示できます。🚩 アイコンをクリックし、表示したいレーティングを選びます。複数のレーティングを選ぶことも可能です。



★★と★★★★の画像に絞り込んだ例



フィルムストリップ表示

# ラベルを付ける

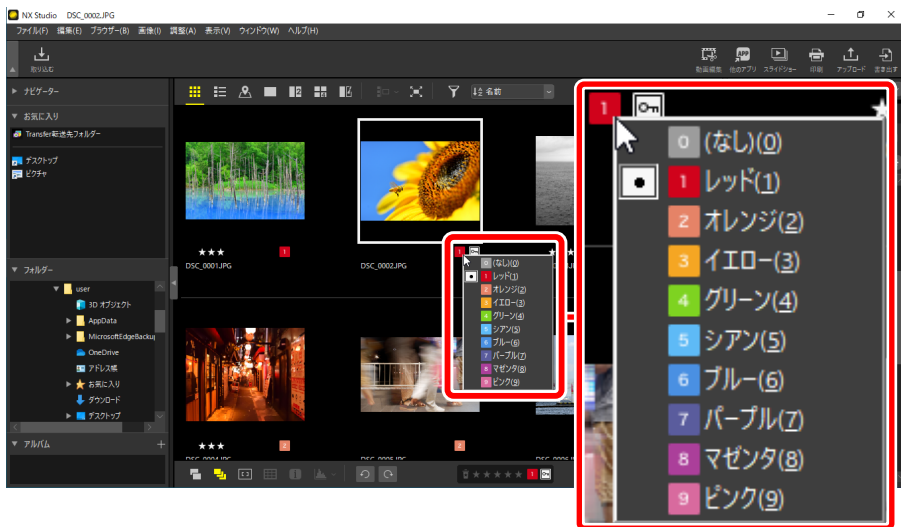
静止画を1～9のラベルで分類できます。動画にはラベルを付けられません。

## ラベルの設定方法

ラベルは複数の箇所から設定できます。

### ■ サムネイル

設定したい画像のサムネイルにカーソルを合わせて、サムネイル上のラベル（ラベルを設定していない画像の場合、サムネイル上にマウスカーソルを置くと「0」が表示されます）をクリックします。

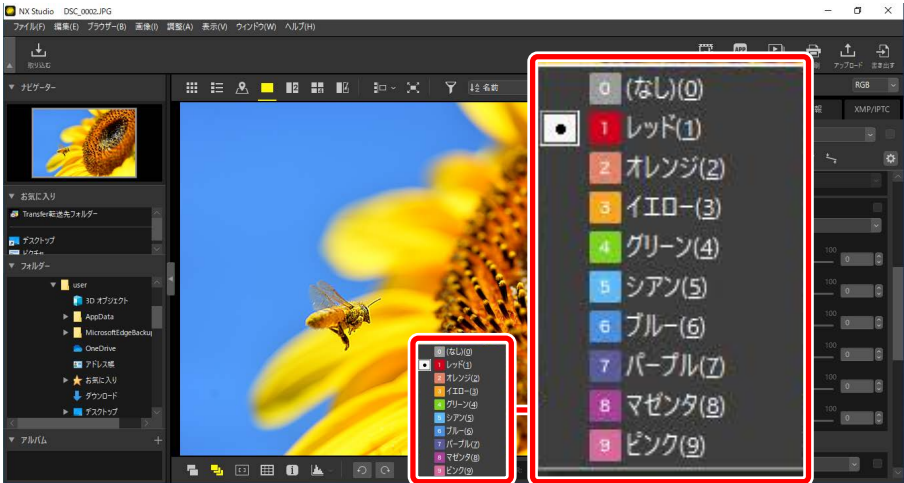


### ☑ 複数の画像にまとめて同じラベルを設定する

Ctrl キー（macOS は command キー）や Shift キーを使用して、複数の画像を選んでラベルを設定すると、選んだ画像すべてに同じラベルが設定されます。

## ■ ビューエリア下部ツールバー

表示している画像のビューエリア下部バーで、ラベルをクリックし、設定したいラベルを選びます (☞ [「下部ツールバーについて」](#) 53 ページ)。

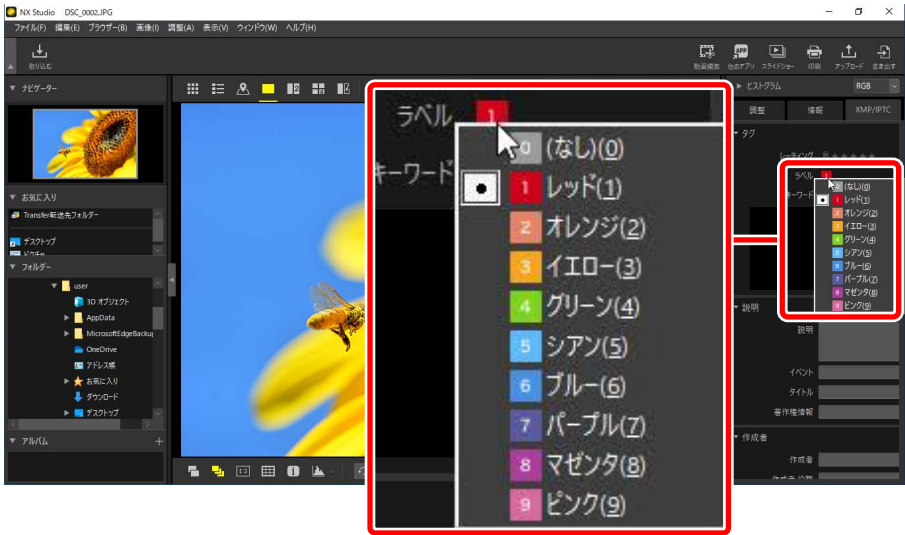


### 📌 2画面表示、4画面表示の場合

設定したラベルは、現在選ばれている画像（白い枠が表示されている画像）に適用されます。

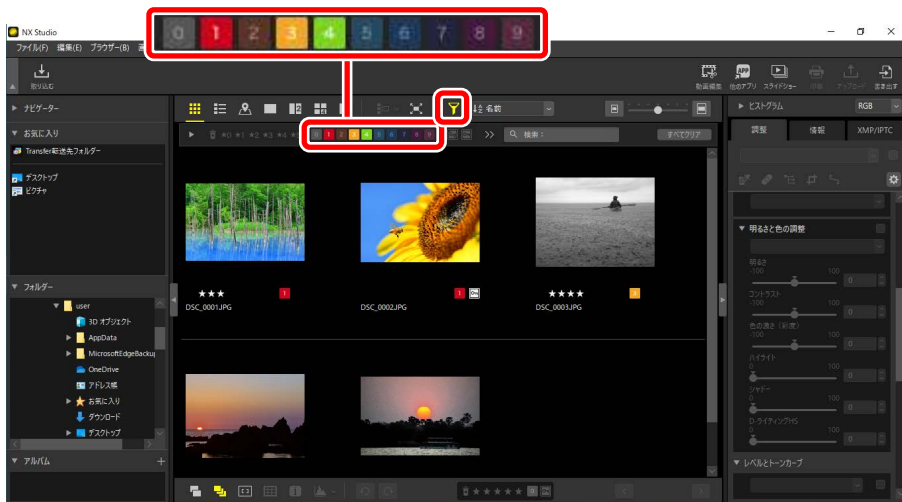
## ■ [XMP/IPTC] タブ

調整 / 情報パレットの[XMP/IPTC]タブの[ラベル]で設定できます (☞ [「調整 / 情報パレット」](#) 24 ページ)。

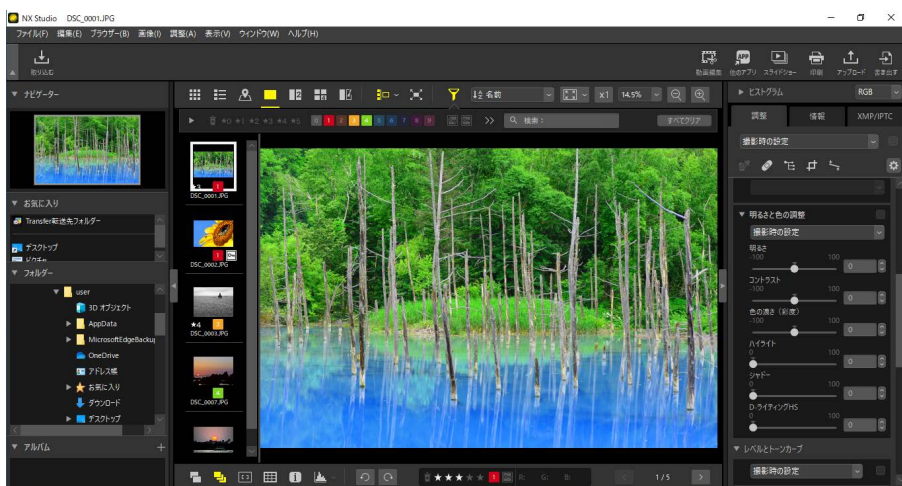


# ラベルで表示を絞り込む

設定したラベルで絞り込みをかけて表示できます。🚩アイコンをクリックし、表示したいラベルを選びます。複数のラベルを選ぶことも可能です。



ラベル 1、3、4 の画像に絞り込んだ例



フィルムストリップ表示

# 画像をプロテクトする

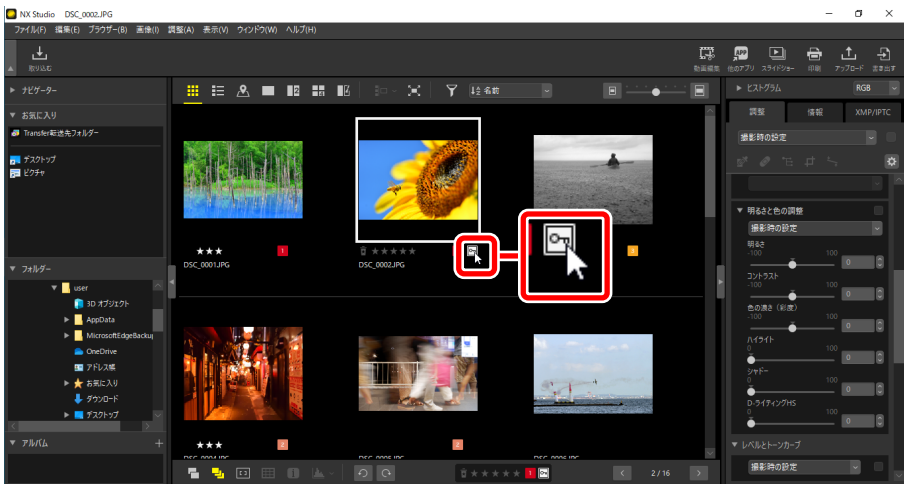
プロテクトすると、画像の削除とファイル名の変更ができなくなります。カメラで設定したプロテクトは NX Studio にも反映されます。

## プロテクトの設定方法

プロテクトは複数の箇所から設定できます。

### サムネイル



設定したい画像のサムネイルにカーソルを合わせて、サムネイル上のプロテクトアイコンをクリックしてオン (🔒) にするとプロテクトされます。再度クリックするとオフ (🔓) になりプロテクトが解除されます。サムネイル詳細表示時は、サムネイルの [名前] 欄で設定できます。

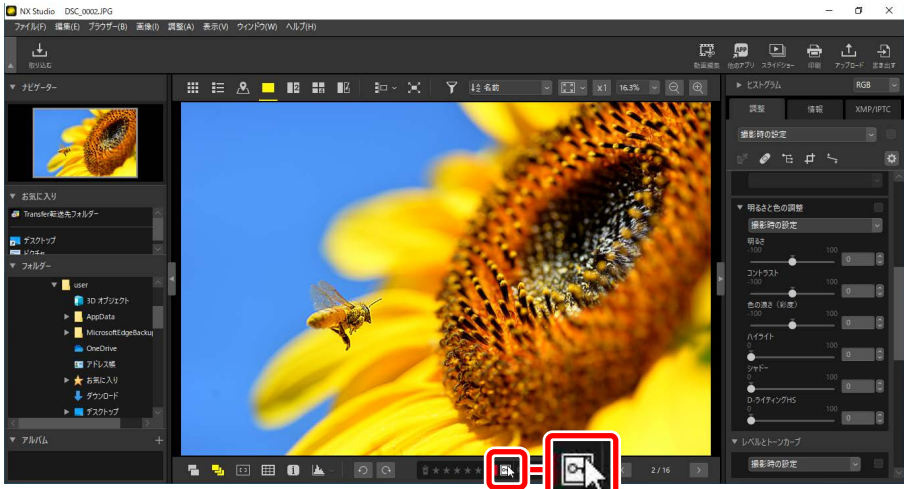


### 複数の画像にまとめて同じプロテクトを設定する

Ctrl キー (macOS は command キー) や Shift キーを使用して、複数の画像を選んでプロテクトを設定すると、選んだ画像すべてに同じプロテクトが設定されます。

## ■ ビューエリア下部ツールバー

表示している画像のビューエリア下部バーで、プロテクトアイコンをクリックするとプロテクトのオン（）とオフ（）を切り換えられます（[「下部ツールバーについて」](#) 53 ページ）。



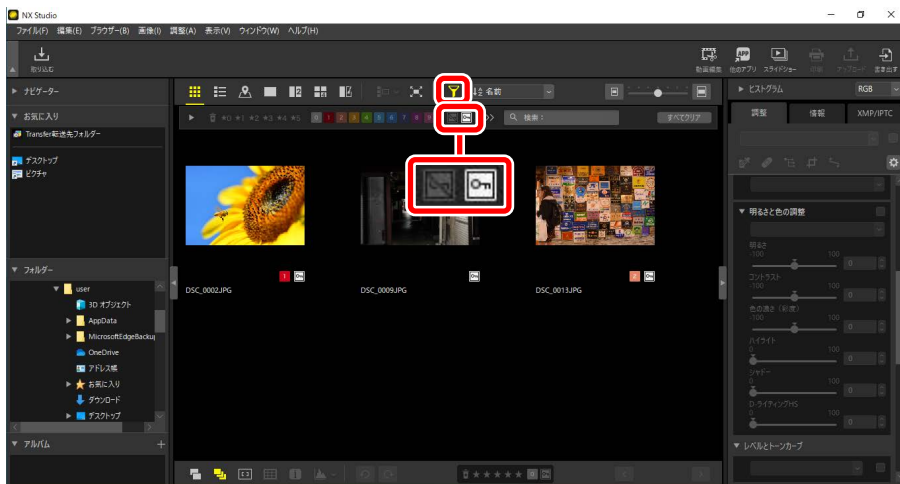
### 2 画面表示、4 画面表示の場合

設定したプロテクトは、現在選ばれている画像（白い枠が表示されている画像）に適用されます。

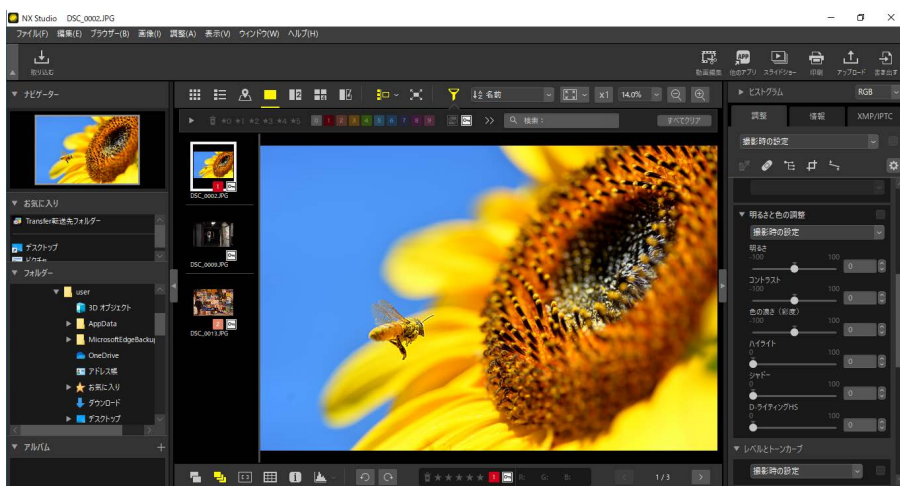


# プロテクトで表示を絞り込む

プロテクトの状態を表示を絞り込みます。🔒 アイコンをクリックし、プロテクト画像のオン (🔒) とオフ (🔓)、プロテクトなし画像のオン (🔒) とオフ (🔓) を切り換えてプロテクトの状態を選びます。両方オンまたは両方オフにすると、すべての画像が表示されます。



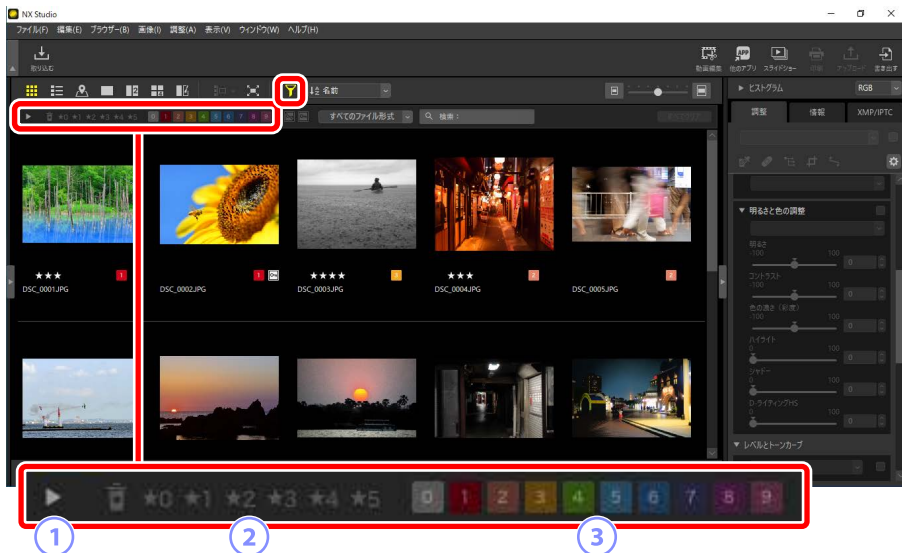
プロテクト画像のみに絞り込んだ例



フィルムストリップ表示

# 詳細なフィルターで画像を絞り込む

🚩 アイコンをクリックすると、レーティングやラベル、プロテクトに加え、撮影時の情報など特定の条件を複数指定して表示する画像を絞り込みます。



## ① 詳細パレット表示 / 非表示

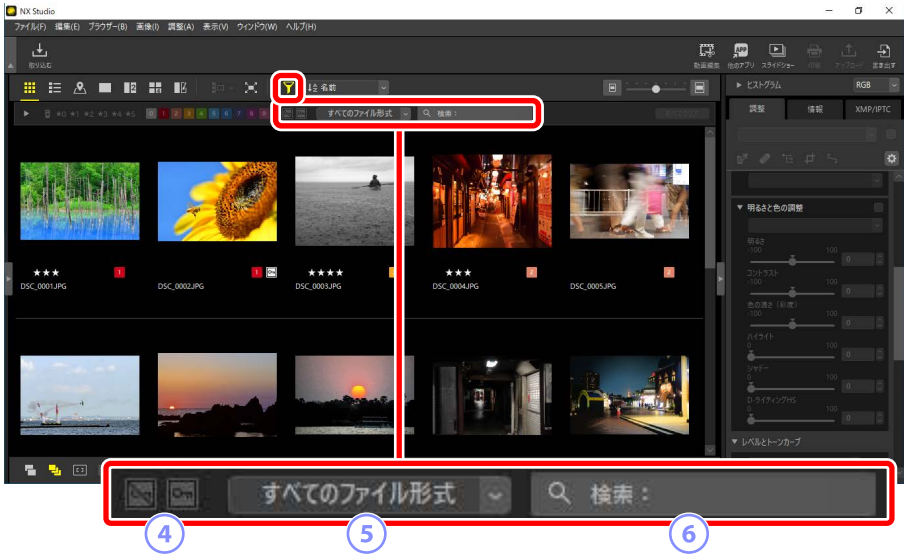
クリックすると絞り込み詳細パレットの表示 / 非表示を切り換えられます (☞ [「絞り込み詳細パレット」](#) 78 ページ)。

## ② レーティング

レーティングの設定で表示を絞り込みます (☞ [「レーティングを付ける」](#) 65 ページ)。

## ③ ラベル

ラベルの設定で表示を絞り込みます (☞ [「ラベルを付ける」](#) 69 ページ)。



#### ④ プロテクト

プロテクトの設定で表示を絞り込みます（☑ [「画像をプロテクトする」](#) 73 ページ）。


#### ⑤ ファイル形式

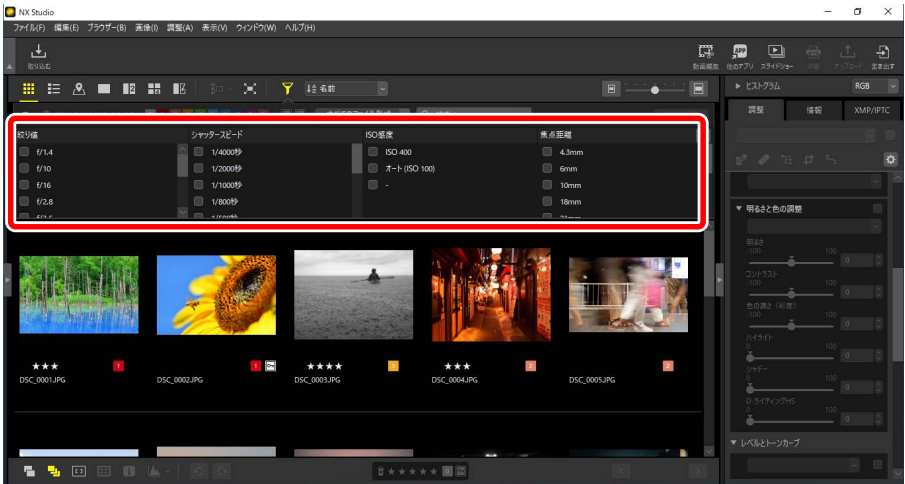
表示する画像のファイル形式を選べます。

#### ⑥ キーワード検索

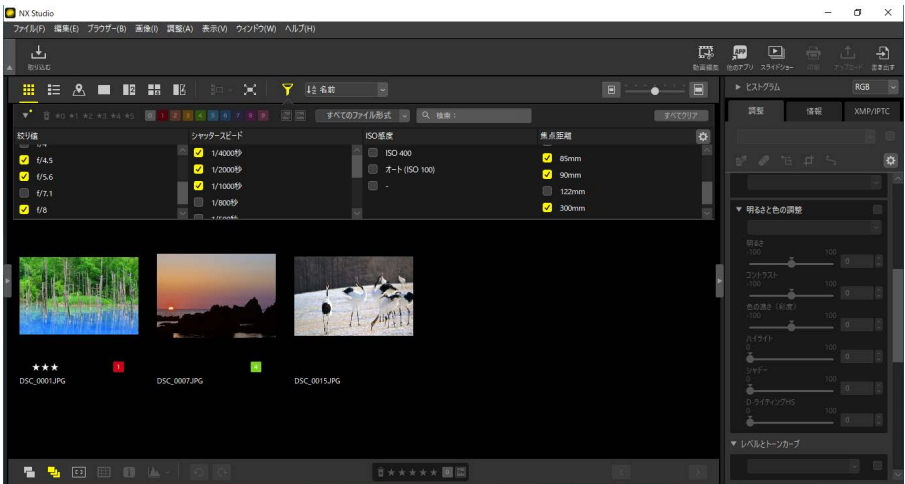
ファイル名や、XMP/IPTC 情報に含まれるキーワードを指定できます。


# 絞り込み詳細パレット

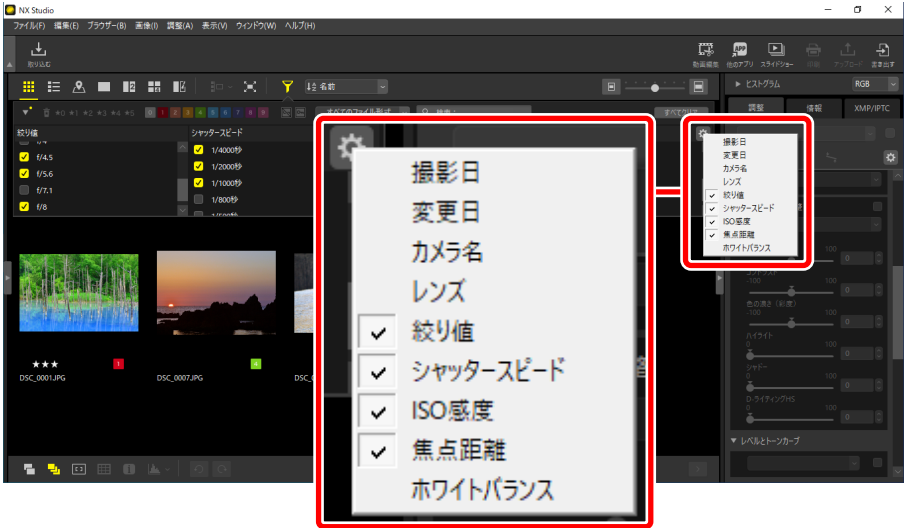
フィルターバーの  をクリックすると、絞り込み詳細パレットが表示されます。



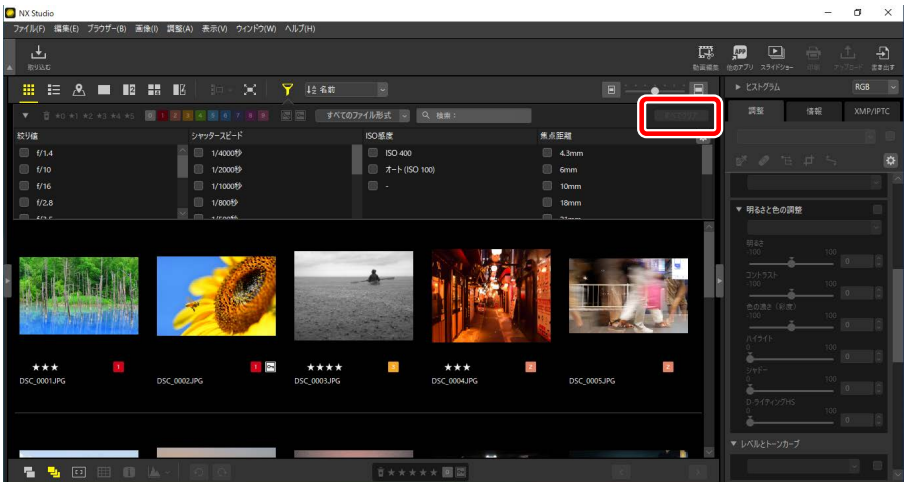
複数の項目や選択肢にチェックを入れると、その条件に当てはまる画像のみを表示します。



条件の項目は、フィルターバーの  アイコンで変更できます。



[すべてクリア] をクリックすると、設定した条件をすべてリセットできます。

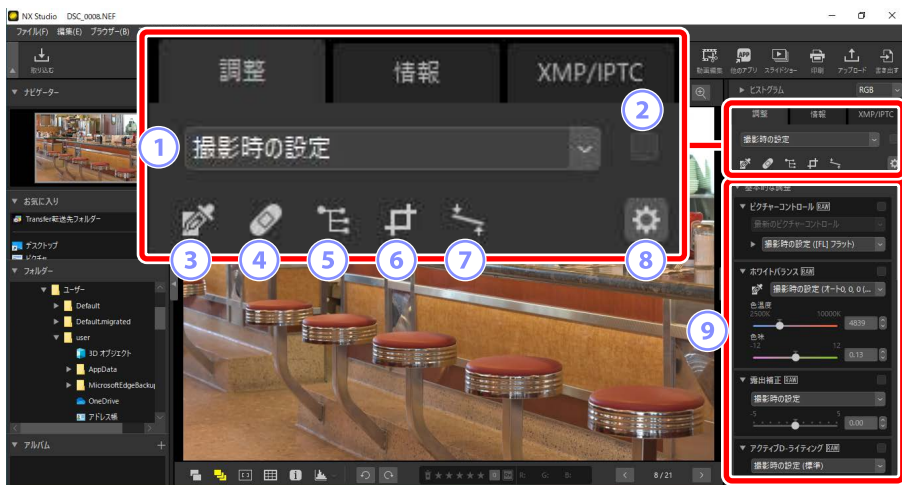


# 画像を調整する

- 📖 [調整タブについて](#)
- 📖 [ピクチャーコントロール](#)
- 📖 [ホワイトバランス](#)
- 📖 [露出補正](#)
- 📖 [アクティブ D-ライティング](#)
- 📖 [明るさと色の調整](#)
- 📖 [レベルとトーンカーブ](#)
- 📖 [LCH エディター](#)
- 📖 [カラーブースター](#)
- 📖 [ノイズリダクション](#)
- 📖 [シャープ調整](#)
- 📖 [レタッチブラシ](#)
- 📖 [カラーコントロールポイント](#)
- 📖 [トリミング](#)
- 📖 [傾き補正](#)
- 📖 [アオリ効果](#)
- 📖 [カメラ補正](#)
- 📖 [レンズ補正](#)
- 📖 [調整履歴設定](#)
- 📖 [調整した内容を他の画像に適用する](#)

# 調整タブについて

画像の調整は、調整 / 情報パレットの [調整] タブで行います。



## ① 調整リスト

調整の内容をコピーして他の画像に貼り付けたり、複数の調整項目の調整内容をプリセットマニュアルとして登録して他の画像に適用したりできます。調整内容をすべて破棄して撮影時の状態に戻すことも可能です (□ [「調整した内容を他の画像に適用する」](#) 151 ページ)。

## ② 調整内容適用チェックボックス

何か画像調整を行うと、チェックが入ります。チェックをオフにすると、複数の画像調整の内容をまとめて一時的に無効にできます。

## ③ グレーポイントサンプルツール

グレーポイントサンプルツールを使用します。クリックしたピクセルがグレーになるように自動でホワイトバランスが調整されます (□ [「ホワイトバランス」](#) 95 ページ)。



## ④ レタッチブラシ

画像内に写り込んだホコリやゴミなどを取り除けます (□ [「レタッチブラシ」](#) 121 ページ)。

- ⑤ **カラーコントロールポイント**  
カラーコントロールポイントを使用して画像を調整できます（☞ [「カラーコントロールポイント」](#) 124 ページ）。
- ⑥ **トリミング**  
画像の必要な部分だけを切り抜きます（☞ [「トリミング」](#) 133 ページ）。
- ⑦ **傾き補正**  
画像の傾きを調整します（☞ [「傾き補正」](#) 138 ページ）。
- ⑧ **画像調整パレットのカスタム設定**  
画像調整パレットに表示する項目を変更できます。
- ⑨ **画像調整パレット**  
各画像調整の設定を行えます。



# 画像調整パレットについて

画像調整は、調整内容のカテゴリーごとに画像調整パレットにまとめられています。各カテゴリーの  /  をクリックすると、カテゴリー内にある項目の表示 / 非表示を切り換えられます。

## ■ [基本的な調整]

[ピクチャーコントロール] や [露出補正]、[ホワイトバランス] など、主に RAW 画像の調整に使う項目が含まれています。

- [ピクチャーコントロール] (RAW 画像のみ)：ピクチャーコントロールを調整します (☞ [\[ピクチャーコントロール\]](#) 89 ページ)。
- [ホワイトバランス] (RAW 画像のみ)：ホワイトバランスを調整します (☞ [\[ホワイトバランス\]](#) 95 ページ)。
- [露出補正] (RAW 画像のみ)：露出補正を調整します (☞ [\[露出補正\]](#) 98 ページ)。
- [アクティブ D- ライティング] (RAW 画像のみ)：アクティブ D- ライティングを調整します (☞ [\[アクティブ D- ライティング\]](#) 99 ページ)。
- [明るさと色の調整]：画像全体の明るさやコントラストを調整したり、画像内のハイライトやシャドウ部分だけを調整することができます (☞ [\[明るさと色の調整\]](#) 100 ページ)。

## ■ [レベルとトーンカーブ]

コントラスト、階調レベル(明るさ)、カラーバランスを調整できます (☞ [\[レベルとトーンカーブ\]](#) 102 ページ)。

## ■ [明度・彩度・色相の補正]

画像のカラーを調整できます。

- [LCH エディター]：画像の明るさやカラー明度などのチャンネルを切り換えて、個別に調整できます (☞ [\[LCH エディター\]](#) 106 ページ)。
- [カラーブースター]：彩度を最適に調整し、画像の色の彩度を高めます (☞ [\[カラーブースター\]](#) 115 ページ)。

## ■ [ディティールの補正]

画像のノイズの補正やシャープネスを調整できます。

- [ノイズリダクション]：画像のノイズを低減します（☞ [「ノイズリダクション」](#) 116 ページ）。
- [シャープ調整]：輪郭をはっきりとさせ、画像をシャープにできます（☞ [「シャープ調整」](#) 118 ページ）。

## ■ [部分的な補正]

画像内のゴミを取り除くことや、一部の色を変更することができます。

- [レタッチブラシ]：画像内に写り込んだホコリやゴミなどを取り除けます（☞ [「レタッチブラシ」](#) 121 ページ）。
- [カラーコントロールポイント]：画像の色と明るさを部分的に調整できます（☞ [「カラーコントロールポイント」](#) 124 ページ）。

## ■ [構図の補正]

画像の切り抜きや角度の調整を行えます。

- [トリミング]：画像の必要な部分だけを切り抜けます（☞ [「トリミング」](#) 133 ページ）。
- [傾き補正]：画像の傾きを調整できます（☞ [「傾き補正」](#) 138 ページ）。
- [アオリ効果]：遠近感による被写体のゆがみを補正できます（☞ [「アオリ効果」](#) 142 ページ）。

## ■ [カメラとレンズの補正]

画像の色ずれなどを補正できます。

- [カメラ補正]：色モアレの低減や、イメージダストオフを使用したゴミの低減、赤目補正が行えます（☞ [「カメラ補正」](#) 143 ページ）。
- [レンズ補正]：倍率色収差補正や軸上色収差補正など、レンズの特性により発生する現象を補正できます（☞ [「レンズ補正」](#) 145 ページ）。

## ■ [調整履歴設定]

Capture NX または Capture NX 2 で調整した画像処理の適用 / 非適用を切り換えられます (☐ [\[調整履歴設定\]](#) 149 ページ)。

### ☑ 調整内容を一時的に非適用にする

各調整項目領域の右上にチェックボックスがあり、何か調整を行うとチェックが入ります ([調整履歴設定] を除く)。チェックをオフにすると、調整内容を非適用にできます。



## 調整内容を破棄して撮影時の状態に戻す

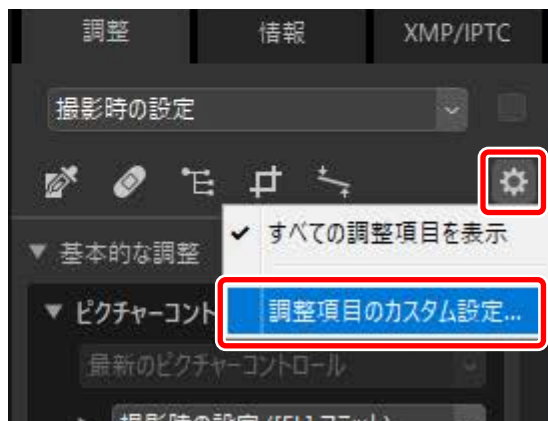
各調整項目には調整設定メニューがあり、何か調整を行うと「調整済み」に表示が変更されます（一部項目を除く）。調整設定メニューで「撮影時の設定」を選ぶと、調整内容を破棄して撮影時の状態に戻ります。



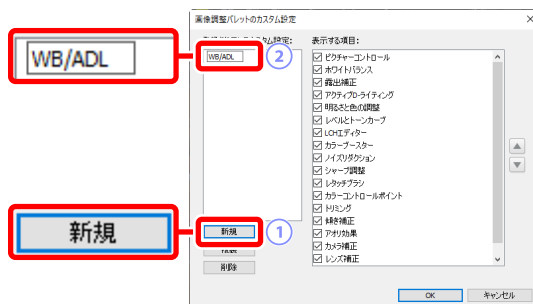
# 画像調整パレットのカスタマイズ

画像調整パレットに表示する項目を変更して保存できます。保存したカスタマイズ内容は **⚙** ボタンをクリックして表示されるメニューにプリセットとして登録されます。

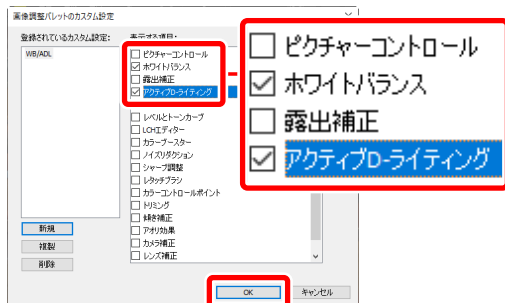
1. [調整] タブの **⚙** ボタンをクリックし、[調整項目のカスタム設定] を選びます。



2. 表示されたダイアログで [新規] をクリックし (①)、任意のプリセット名を入力します (②)。



3. 画像調整パレットに表示したい項目にチェックを入れます。▲ ▼で項目の順番を入れ替えられます。[OK] を押すとプリセットが保存されます。

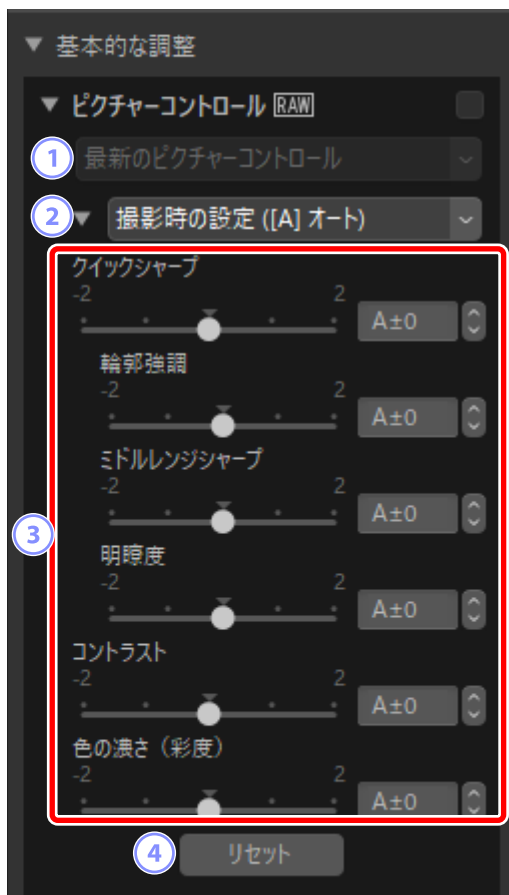


4. [調整] タブの ⚙️ ボタンをクリックしてプリセットを選ぶと、手順3で設定した項目のみが画像調整パレットに表示されます。



# ピクチャーコントロール

ピクチャーコントロールを調整します。RAW 画像のみ調整可能です。



## ① カラープロセス

カラープロセスを選びます。選んだ項目によって設定できるピクチャーコントロールが異なります。最新のピクチャーコントロールを使用しているカメラで撮影した画像や NRW 形式の RAW 画像の場合、**[カメラ互換]** に固定されて選べません。

- ・ **[最新のピクチャーコントロール]** : **[Creative Picture Control]** を含む最新のピクチャーコントロールのカラープロセスを適用します。新しいカメラで追加されたピクチャーコントロールや調整項目を、対応していないカメラで撮影された RAW 画像にも適用できます。
- ・ **[カメラ互換]** : 画像を撮影したニコンのカメラで使っているピクチャーコントロールのカラープロセスを、そのまま適用します。カメラでの色再現と合わせたい場合に選びます。

### カラープロセスについて

カラープロセスを選べる画像を選択している場合、どちらを初期設定とするかを **[環境設定]** の **[RAW 現像]** にある **[カラープロセス]** で設定できます (☞ [\[RAW 現像\]](#) 280 ページ)。

## ② ピクチャーコントロール

画像に適用したいピクチャーコントロールを選びます。

## ③ ピクチャーコントロールの微調整

各項目を微調整できます (☞ [\[ピクチャーコントロールの微調整について\]](#) 91 ページ)。**[自動]** がある項目の場合、チェックを入れると自動で調整されます。同じような状況で撮影しても、被写体の位置や大きさ、露出によって、仕上がり具合は変化します。



## ④ [リセット]

各項目の値を初期値に戻します。



# ピクチャーコントロールの微調整について

カラープロセスを設定してから調整したいピクチャーコントロールを選び、各項目の値を変更して調整を行います。表示される項目は、撮影したカメラおよび選んだピクチャーコントロールによって異なります。

## ■ 最新のピクチャーコントロールが適用されている画像の場合

最新のピクチャーコントロールを使用しているカメラで撮影した画像（カラープロセスが**【カメラ互換】**で固定されている画像）や、カラープロセスで**【最新のピクチャーコントロール】**を選んでいる画像の場合、次の項目が表示されます。

### 【クイックシャープ】

画像のシャープさを調整する**【輪郭強調】**、**【ミドルレンジシャープ】**、**【明瞭度】**の各項目がバランスよく調整されます。**【自動】**にチェックを入れると、自動で調整します。各項目を個別に調整することも可能です。

- ・ **【輪郭強調】**：画像の精緻な部分や、被写体の輪郭部分のシャープさを調整します。
- ・ **【ミドルレンジシャープ】**：**【輪郭強調】**と**【明瞭度】**の中間の細かさの模様や線に対してシャープさを調整します。
- ・ **【明瞭度】**：画像の階調や明るさを維持しながら、画像全体や太めの線のシャープさを調整します。

### 【コントラスト】

画像のコントラストを調整します。－側にすると軟らかい調子の画像になり、＋側にすると硬い調子の画像になります。カスタムカーブを適用したカスタムピクチャーコントロールを使用して撮影した画像の場合は調整できません。

### 【明るさ】

白とびや黒つぶれを抑えながら画像の明るさを調整します。カスタムカーブを適用したカスタムピクチャーコントロールを使用して撮影した画像の場合は調整できません。

## [色の濃さ (彩度)]

画像の彩度 (色の鮮やかさ) を調整します。- 側にすると鮮やかさが抑えられ、+側にするとより鮮やかになります。

## [色合い (色相)]

画像の色合いを調整できます。

## [フィルター効果]

白黒写真用カラーフィルターを使って撮影したときのような効果が得られます。

## [調色]

印画紙を調色したときのように、画像全体の色調を調整できます。

## [色の濃淡を調整]

[調色] で選んだ色の濃淡を選べます。[調色] の設定が [B&W] の場合は調整できません。

### 🔍 ピクチャーコントロールで [オート] を選んだ場合

ピクチャーコントロールで [オート] を選択している場合、各項目のオートの調整レベルを [A-2] ~ [A+2] から選べます。

### 🔍 ピクチャーコントロールで [Creative Picture Control] の項目を選んだ場合

[Creative Picture Control] ([ドリーム]、[モーニング]、[ポップ] など) に設定した場合、[適用度] の項目が表示されます。効果をどれだけ適用するかを調整します。



## ■最新のピクチャーコントロールが適用されていない画像の場合

カラープロセスで「カメラ互換」を選んでいる場合、次の項目が表示されます。

### 【クイック調整】

各項目のレベルを自動的に調整します。－側にするとそれぞれのピクチャーコントロールの特徴を弱めた画像になり、＋側にすると強調した画像になります。【クイック調整】以外の各項目を個別に調整した後にクイック調整を行うと、各項目で調整した値は無効になります。

### 【輪郭強調】

輪郭の強弱を調整します。値が大きいほどくっきりとした画像になります。

### 【明瞭度】

画像の明瞭度を調整します。【明瞭度】に対応したカメラで撮影した画像のみ調整できます。

### 【コントラスト】

画像のコントラストを調整します。－側にすると軟らかい調子の画像になり、＋側にすると硬い調子の画像になります。

### 【明るさ】

白とびや黒つぶれを抑えながら画像の明るさを調整します。

### 【色の濃さ（彩度）】

画像の彩度（色の鮮やかさ）を調整します。－側にすると鮮やかさが抑えられ、＋側にするとより鮮やかになります。

### 【色合い（色相）】

画像の色合いを調整できます。

### **[フィルター効果]**

白黒写真用カラーフィルターを使って撮影したときのような効果が得られます。

### **[調色]**

印画紙を調色したときのように、画像全体の色調を調整できます。

### **[色の濃淡を調整]**

[調色] で選んだ色の濃淡を選べます。[調色] の設定が [B&W] の場合は調整できません。

# ホワイトバランス


ホワイトバランスを調整します。RAW 画像のみ調整可能です。



- ① **グレーポイントサンプルツール**  
クリックしたピクセルがグレーになるように自動でホワイトバランスが調整されます。
- ② **ホワイトバランス**  
画像に適用したいホワイトバランスを選べます。
- ③ **【色温度】**  
色温度を指定できます。
- ④ **【色味】**  
プラスに設定するとマゼンタ色が弱まり（緑色が強まり）、マイナスに設定すると緑色が弱まり（マゼンタ色が強まり）ます。

# グレーポイントサンプルツール

画像内をクリックすると、そのピクセルが無彩色（白またはグレー）になるように自動で調整されます。画像をクリックするだけで色かぶりを取り除けます。

1. グレーポイントサンプルツールをクリックしてオン（) にします。画像調整パレットの上にあるグレーポイントサンプルツールのアイコンをクリックしてもオンにできます。



2. 画像内の無彩色部分をクリックします。この例では壁の部分ををクリックすると、画像の青かぶりが取り除かれています。グレーポイントサンプルツールがオンの間は何度でもクリックできます。画像をドラッグすると、ドラッグした範囲の平均値で調整されます。



3. グレーポイントサンプルツールをクリックしてオフにすると、ホワイトバランスが[グレーポイントを使用]に変更されます。[色温度]が[微調整]になり、値を調整できます。



# 露出補正

画像全体を明るくまたは暗くできます。RAW 画像のみ調整可能です。

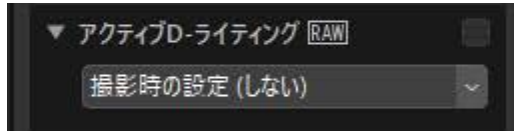


+ 5EV から -5EV の間で 0.01EV 単位で露出を細かく調整できます。



# アクティブ D-ライティング

画像の明るい部分（ハイライト）の白とびや、暗い部分（シャドウ）の黒つぶれを軽減できます。RAW 画像のみ調整可能です。



効果の度合いをプルダウンメニューで選びます。

# 明るさと色の調整

画像全体の明るさやコントラストを調整したり、画像内のハイライトやシャドウ部分だけを調整したりできます。



- ① **【明るさ】**  
画像全体の明るさを調整できます。値が大きいほど明るくなります。
- ② **【コントラスト】**  
画像全体のコントラストを調整できます。-側にすると軟らかい調子の画像になり、+側にすると硬い調子の画像になります。
- ③ **【色の濃さ（彩度）】**  
画像全体の彩度を調整できます。-側にすると鮮やかさが抑えられ、+側にするとより鮮やかになります。
- ④ **【ハイライト】**  
画像の明るい部分（ハイライト）を調整できます。値が大きいほど明るさを抑えます。

⑤ **【シャドー】**

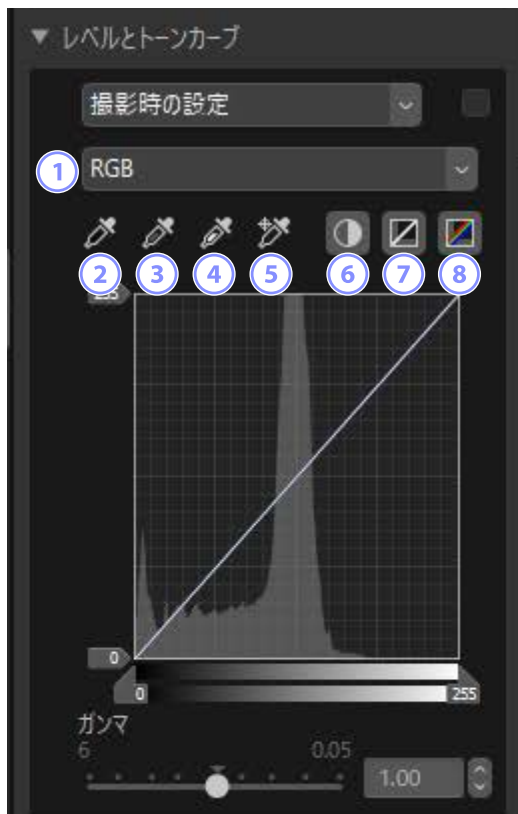
画像の暗い部分（シャドー）を調整できます。値が大きいほど明るくなります。

⑥ **【D- ライティング HS】**

選択されている画像の暗い部分を処理し、明るい部分の細部を追加します。値が大きいほどハイライト部分とシャドー部分のコントラスト差が少なくなります。

# レベルとトーンカーブ

コントラスト、階調レベル（明るさ）、カラーバランスを調整できます。画像の階調の特定の部分に関して調整を行い、細部を保ちながら画像を強調できます。プリンターやモニターなどの特定の出力機器が持つ階調または全カラー領域を最大限に利用できます。



## ① チャンネルセクター

補正の対象となるチャンネルを選択します。

## ② ブラックポイントの設定

ボタンをクリックした後に、画像の任意の場所をクリックすると、その部分の色が選ばれます。[赤]、[緑]、[青]の3つのカラーチャンネルのブラックポイントスライダーが、その色の値に変更されます。

### ③ ニュートラルポイントの設定

ボタンをクリックした後に、画像の任意の場所をクリックすると、その部分の色が選ばれます。選ばれた色のRGBの値が等しくなるように、[赤]、[緑]、[青]の3つのカラーチャンネルのガンマが調整されます。

### ④ ホワイトポイントの設定

ボタンをクリックした後に、画像の任意の場所をクリックすると、その部分の色が選ばれます。[赤]、[緑]、[青]の3つのカラーチャンネルのホワイトポイントスライダーが、その色の値に変更されます。

### ⑤ アンカーポイントの追加

ボタンをクリックした後に、画像の任意の場所をクリックすると、すべてのチャンネルのカーブ上に、その部分の色を表す新たなアンカーポイントを追加します。

### ⑥ 自動コントラスト

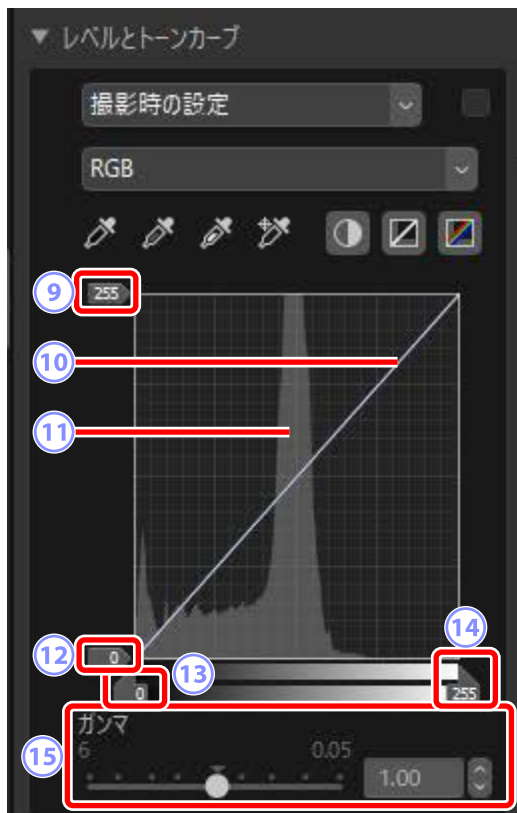
チャンネル内のホワイトポイントとブラックポイントを変更して、個別チャンネルの色を自動的に配分します。

### ⑦ 現在のチャンネルをリセット

現在のチャンネルのトーンカーブを初期設定の値に戻します。

### ⑧ すべてのチャンネルをリセット

すべてのチャンネルのトーンカーブを初期設定の値に戻します。



- ⑨ **ホワイトポイント出力スライダー**  
画像の最大明るさレベルを設定します。スライダーを下にドラッグすると画像の最も明るい部分が暗くなります。
- ⑩ **トーンカーブ**  
カーブの傾き、形を変更することにより、画像の明暗を調整します。
- ⑪ **ヒストグラム**  
画像のレベル分布を示します。
- ⑫ **ブラックポイント出力スライダー**  
画像の最小明るさレベルを設定します。スライダーを上ドラッグすると画像の最も暗い部分が明るくなります。

⑬ **ブラックポイントスライダー**

スライダーを右に動かすと、選択した点より左側の明るさを完全な黒（個別チャンネルの場合は、そのチャンネルの色がない色合い）に設定し、可能な数値範囲に明るさの範囲が収まるよう広げて再配分します。

⑭ **ホワイトポイントスライダー**

スライダーを左に動かすと、選択した点より右側の明るさを完全な白（個別チャンネルの場合は、そのチャンネルの色が最大の明るさの値）に設定し、可能な数値範囲に明るさの範囲が収まるよう広げて再配分します。

⑮ **【ガンマ】**

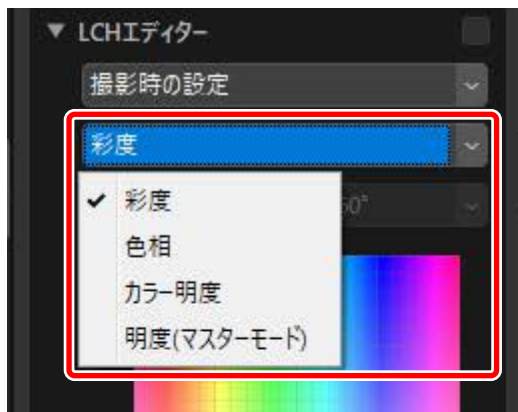
スライダーを左に動かすと画像の中間色調が明るくなり、右に動かすと画像の中間色調が暗くなります。

**☑ 現在のチャンネルのみを対象にするには**

自動コントラスト、ブラックポイントの設定、ホワイトポイントの設定、アンカーポイントの追加では、Ctrl キー（macOS は option キー）を押しながらクリックすると、現在のチャンネルのみが対象になります。

# LCH エディター

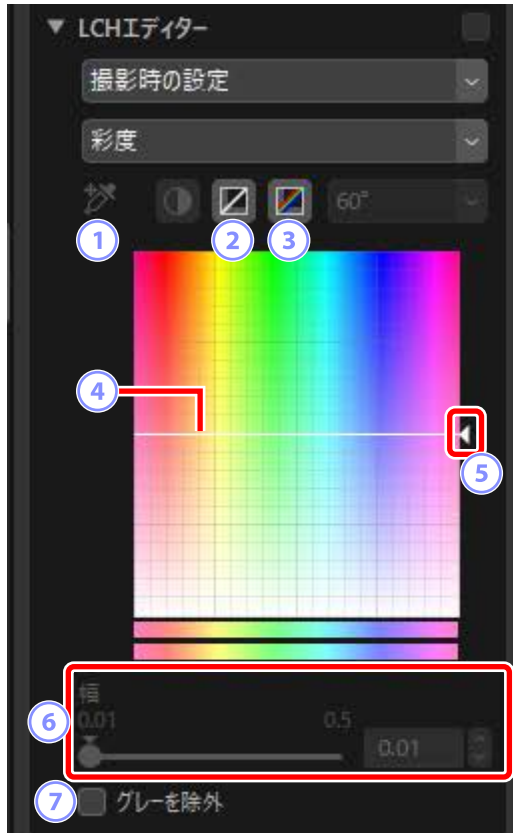
画像の明るさやカラー明度などのチャンネルを切り換えて、個別に調整できます。LCH エディターでは、チャンネルセクターで調整するチャンネルを選択します。選んだチャンネルによって、調整パレットの内容が切り替わります。





# 彩度

色の鮮やかさ（彩度）の調整が可能です。特定の色や画像全体を鮮やか（彩度が上がる）にしたり、淡い（彩度が下がる）状態にできます。



- ① アンカーポイントの追加  
ボタンをクリックした後に、画像上の任意の場所をクリックすると、彩度カーブ上に新しいポイントが追加されます。
- ② 現在のチャンネルをリセット  
彩度のカーブを直線にリセットします。
- ③ すべてのチャンネルをリセット  
[彩度]、[色相]、[カラー明度]、[明度（マスターモード）] のすべてのカーブをリセットします。

#### ④ 彩度カーブ

彩度カーブ上でマウスカーソルを動かし、調整したい色のポイントを上方にドラッグすると彩度が上がり、下方にドラッグすると彩度が下がった状態になります。

#### ⑤ 出力スライダー

設定した彩度カーブ全体を上下方向にシフトします。上に動かすと、全体の彩度が上がり、下に動かすと、全体の彩度が下がります。

#### ⑥ [幅]

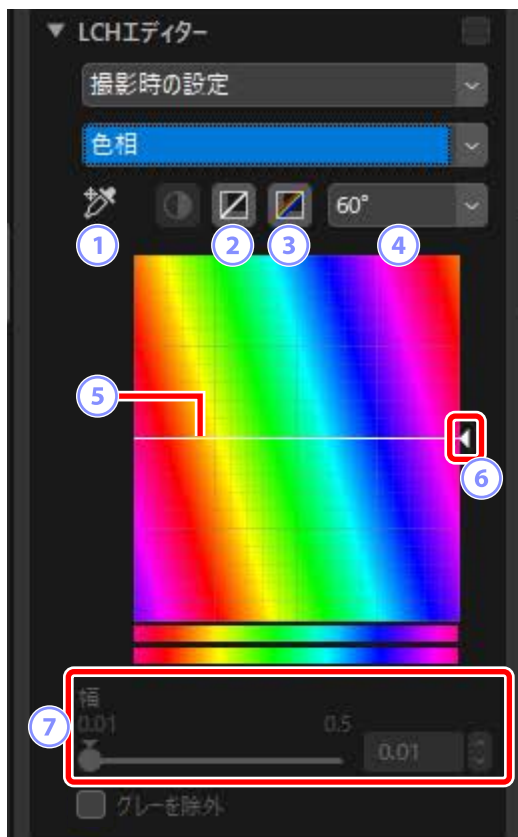
彩度カーブの幅を設定します。スライダーを右に動かすと、調整したい色のポイントを中心としたカーブの幅が広がり、彩度調整を行う色の範囲が広がります。左に動かすと、カーブの幅が狭くなり、彩度調整を行う色の範囲が狭くなります。

#### ⑦ [グレーを除外]

チェックを入れると、彩度調整を行う対象からグレーの領域が除外されます。グレーに近い色の彩度は変化しないため、彩度を大きく上げたときにグレー部分の色かぶりを抑えることができます。

# 色相

特定の色や画像全体の色合い（色相）を変更することができます。例えば、うすい色の空を紺碧の青空に変更することが可能です。



- ① アンカーポイントの追加  
ボタンをクリックした後に、画像上の任意の場所をクリックすると、色相カーブ上に新しいポイントが追加されます。
- ② 現在のチャンネルをリセット  
色相のカーブを直線にリセットします。
- ③ すべてのチャンネルをリセット  
[彩度]、[色相]、[カラー明度]、[明度 (マスターモード)] のすべてのカーブをリセットします。

#### ④ 色相マップの回転

色相表示エリアの縦軸に表示される色相の範囲を、60度、120度、180度から選択します。この角度は、表示可能なすべての色相を360度とし、そのうちの縦軸上で選択可能な色の割合を意味します。角度が大きくなると選択できる色相が増え、角度が小さくなると色相が減り、微妙な調整がしやすくなります。

#### ⑤ 色相カーブ

色相カーブ上でマウスカーソルを動かして、変更したい色のポイントを目的の色のポイントへドラッグすると、色相が変わります。

#### ⑥ 出力スライダー

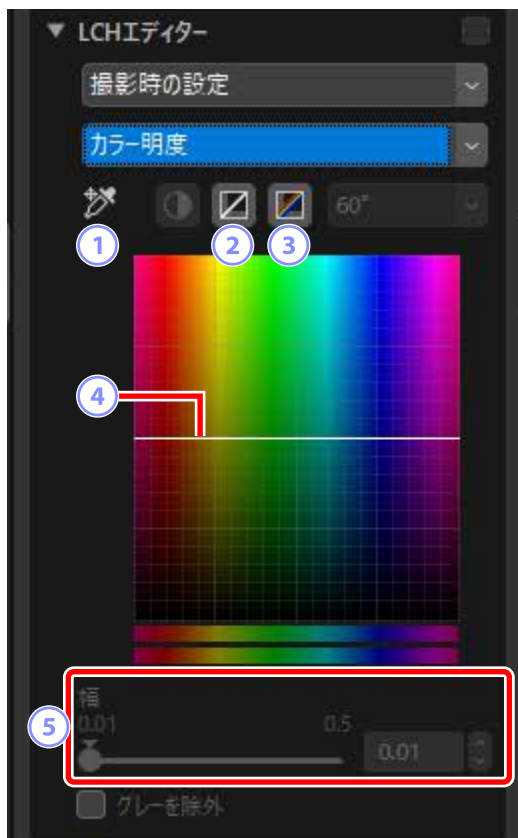
スライダーを上下に動かすと、画像全体の色相が変わります。色相マップの回転（④）で60度が選ばれている場合は±60度、120度の場合は±120度、180度の場合は±180度の範囲で変更が可能です。

#### ⑦ 【幅】

色相カーブの幅を設定します。スライダーを右に動かすと、調整したい色のポイントを中心としたカーブの幅が広がり、色相調整を行う色の範囲が広がります。左に動かすと、カーブの幅が狭くなり、色相調整を行う色の範囲が狭くなります。

# カラー明度

特定の色の明暗を調整することができます。例えば、暗い空の色を色相と彩度を変えずに明るい空の色に変更することが可能です。



## ① アンカーポイントの追加

ボタンをクリックした後に、画像上の任意の場所をクリックすると、カラー明度カーブ上に新しいポイントが追加されます。

## ② 現在のチャンネルをリセット

カラー明度のカーブを直線にリセットします。

## ③ すべてのチャンネルをリセット

[彩度]、[色相]、[カラー明度]、[明度 (マスターモード)] のすべてのカーブをリセットします。

④ カラー明度カーブ（縦軸：明度、横軸：彩度）

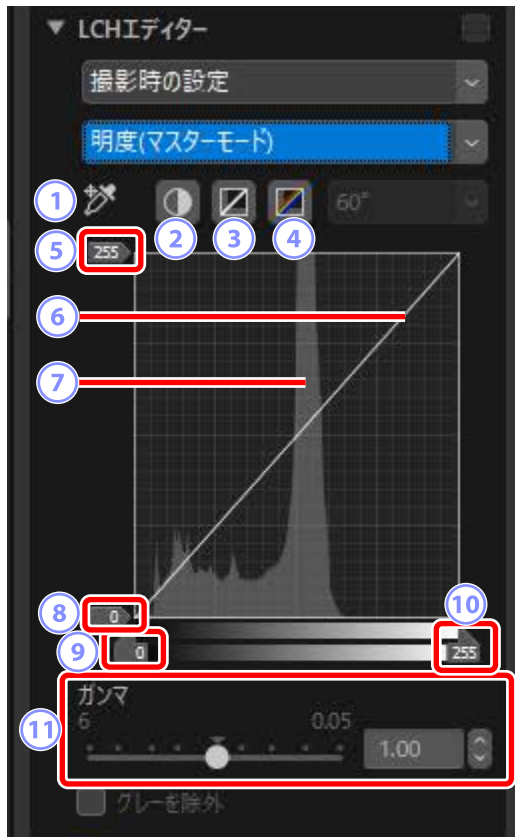
カラー明度カーブ上でマウскарソルを動かし、調整したい色のポイントを上方にドラッグすると明度が上がり、下方にドラッグすると明度が下がった状態になります。

⑤ 【幅】

カラー明度カーブの幅を設定します。スライダーを右に動かすと、調整したい色のポイントを中心としたカーブの幅が広がり、カラー明度調整を行う色の範囲が広くなります。左に動かすと、カーブの幅が狭くなり、カラー明度調整を行う色の範囲が狭くなります。

# 明度（マスターモード）

色相と彩度を変えずに明暗の調整を行うことができます。スライダーによる調整や、明度カーブを直接編集して調整します。



## ① アンカーポイントの追加

ボタンをクリックした後に、画像上の任意の場所をクリックすると、明度（マスターモード）カーブ上に新しいポイントが追加されます。

## ② 自動コントラスト

画像の最も明るい階調域と最も暗い階調域にある一定数の画素を階調域から除外してブラックポイント/ホワイトポイントを設定し、コントラストを高めます。

## ③ 現在のチャンネルをリセット

明度（マスターモード）のカーブを直線にリセットします。

- ④ **すべてのチャンネルをリセット**  
[彩度]、[色相]、[カラー明度]、[明度 (マスターモード)] のすべてのカーブをリセットします。
- ⑤ **ホワイトポイント出力スライダー**  
出力レベルの最大値 (ホワイトポイント) を設定します。
- ⑥ **明度カーブ**  
カーブの傾き、形を変更することにより、画像の明暗を調整します。
- ⑦ **ヒストグラム**  
それぞれの入力明度で表示されている画素の分布を表示します。横軸が明度 (0 ~ 255) で、縦軸が画素数を示します。
- ⑧ **ブラックポイント出力スライダー**  
出力レベルの最小値 (ブラックポイント) を設定します。
- ⑨ **ブラックポイントスライダー**  
入力レベルの最小値 (ブラックポイント) を設定します。
- ⑩ **ホワイトポイントスライダー**  
入力レベルの最大値 (ホワイトポイント) を設定します。
- ⑪ **[ガンマ]**  
明度の中間調 (ガンマ値) を設定します。



# カラーブースター

彩度を最適に調整し、画像の色の彩度を高めます。



## ① 調整値

値を大きく設定すると彩度が高まります。

## ② 調整対象

[人物] または [風景] を選びます。

- [人物]：肌の色に影響を与えずに画像の色を鮮やかにします。
- [風景]：肌の色にも影響を与え、画像全体の色を鮮やかにします。

# ノイズリダクション

画像のノイズを低減する処理を行います。



## ① 【ノイズリダクション】

チェックを入れるとノイズリダクション機能を有効にします。[処理方法] と処理の度合いを設定できます。

## ② [処理方法]

撮影したカメラによって設定できる項目が異なります。

- **[カメラ互換]** (RAW 画像のみ) : 設定は固定され、他の処理方法は選べません。処理の度合い (③) をプルダウンメニューから選べます。
- **[高速]** / **[高画質]** / **[高画質 2013]** (RAW 画像のみ) : 処理速度を優先する場合は **[高速]** を、画質を優先する場合は **[高画質]** または **[高画質 2013]** を選びます。
  - **[適用量]** : 数値を上げると、画像全体のざらつき感が低減され、なめらかな状態になります。
  - **[シャープネス]** : **[適用量]** の数値を上げると、なめらかで解像感の低い画像になります。**[シャープネス]** の数値を上げると、解像感を高めることができます。

### **[高画質 2013]** について

より低周波な色ノイズの低減や、画像平坦部のノイズ低減に優れています。**[高画質 2013]** を選択した場合、**[輝度]** と **[カラー]** が表示され、それぞれに適用量とシャープネス量を設定できます。

## ③ 処理の度合い

**[処理方法]** が **[カメラ互換]** で固定される画像の場合に、ノイズ低減の度合いを選べます。

## ④ [エッジノイズリダクション] (RAW 画像のみ)

チェックを入れると、境界部に生じるノイズを低減したり、エッジ部分の輪郭をより鮮明にすることができます。

## ⑤ [アストロノイズリダクション] (RAW 画像のみ)

チェックを入れると、長時間露出で星を撮影した画像内に現れる、輝点 (星を散らしたような) ノイズを低減します。

### **[アストロノイズリダクション]** について

D4S、D810、D810A で撮影したサイズ S の RAW 画像には適用できません。

# シャープ調整

輪郭をはっきりとさせ、画像をシャープにする場合に使用します。[アンシャープマスク]を使用すると、画像の輪郭部分だけのコントラストが高まり、他の部分は変わりません。



## ① 【輪郭強調】

値を大きく設定すると被写体の輪郭がはっきりとします。



## ② [アンシャープマスク]

チェックを入れるとアンシャープマスク機能を有効にします。

## ③ 削除

リストボックス内の処理を選んで削除できます。

## ④ 上に移動 / 下に移動

リストボックス内の処理の順番を入れ替えられます。

## ⑤ リストボックス

設定した内容が表示されます。1 行中は左から「カラー、適用量、半径、しきい値」の順で、例えば「赤、50%、10%、0」のように表示されます。複数設定した場合は上から順に適用され、上に移動 / 下に移動ボタンで順序を入れ替えられます。

⑥ カラー

アンシャープマスクを適用する色を選択できます。

⑦ 【適用量】

シャープネスの強度を設定します。数値を大きくするほどシャープが強くなり、濃いエッジがかかります。

⑧ 【半径】

エッジの太さを設定します。数値を大きくするほど太いエッジが、小さくするほど細いエッジがつかます。

⑨ 【しきい値】

エッジを付けるか付けないかの適用基準を設定します。しきい値を0にすると、すべてのエッジに対してシャープがかかります。数値を大きくすると、濃淡の変化が小さい部分にはエッジがつかず、シャープがかからなくなります。

# レタッチブラシ

画像内に写り込んだホコリやゴミなどを取り除けます。



## ① レタッチブラシ

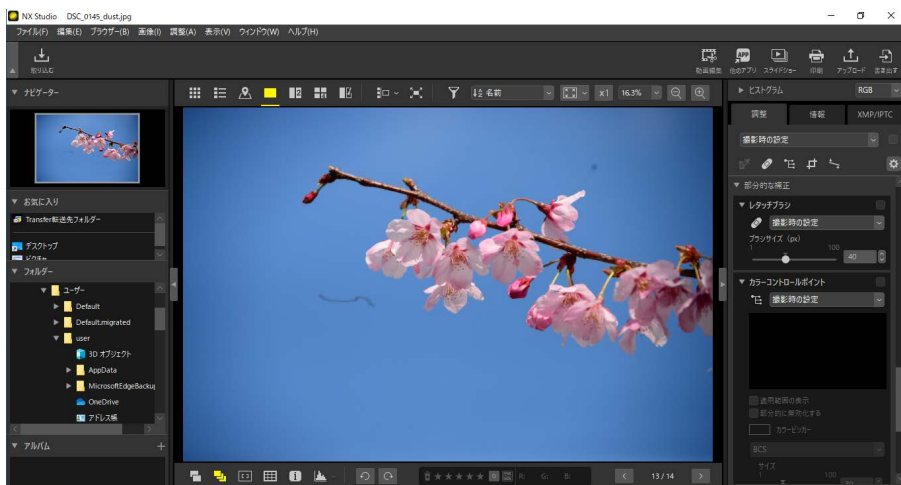
オン (👉) にするとレタッチブラシを使用できます。


## ② 【ブラシサイズ (px)】

レタッチブラシのサイズを変更できます。

# レタッチブラシの使用方法

1. 画像を1枚表示または複数枚表示にします。サムネイル表示時はレタッチブラシを使用できません。



2. レタッチブラシをクリックしてオン (  ) にします。画像調整パレットの上にあるレタッチブラシのアイコンをクリックしてもオンにできます。



3. レタッチブラシのサイズを調整します。

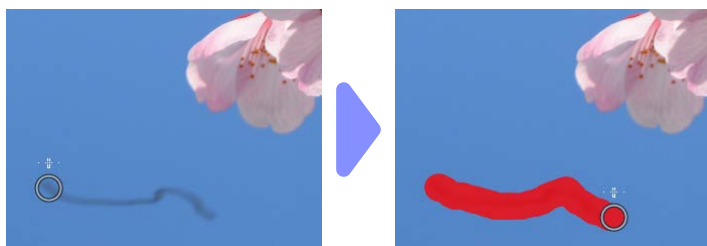


#### ブラシのサイズについて

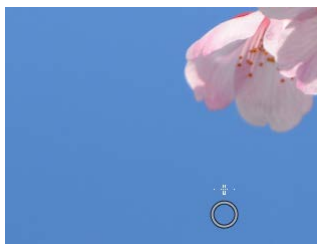
除去したいゴミに対してブラシのサイズが大きすぎると、他の部分にまで影響が出るおそれがあります。



4. マウスをクリックしたままゴミの部分になぞると、半透明の赤い色で塗りつぶされます。消したいゴミの部分をすべて塗りつぶしていることを確認してください。



5. マウスを放します。塗りつぶした部分が周囲にとけ込み、ゴミが取り除かれます。



#### レタッチブラシについて

レタッチブラシは周囲から似た部分を自動的に塗りつぶした範囲に上書きコピーする機能です。

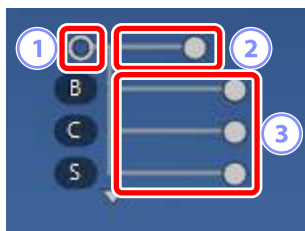
- ゴミが広範囲に渡ったり、ドラッグする範囲が長かったり、大きなサイズのゴミの場合、うまく処理されないことがあります。
- 画像によっては、処理に時間がかかることがあります。

# カラーコントロールポイント

画像の明るさや色合いなどを部分的に調整できます。調整される範囲は、コントロールポイントを配置した場所の色によって自動的に識別され、似た色の部分のみに処理が適用されます。

## カラーコントロールポイントについて

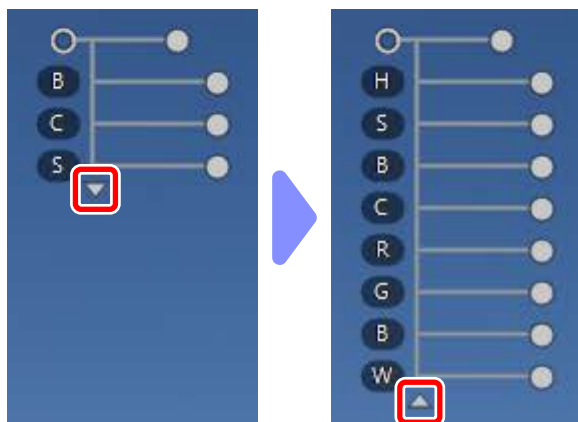
カラーコントロールポイント（①）は、配置された部分の色の特性を自動的に識別し、その色と似た色の部分を自動的に選びます。カラーコントロールポイントには、調整する範囲を示すサイズスライダー（②）と調整スライダー（③）が表示されます。これらのスライダーを動かして、カラーコントロールポイントの適用範囲や適用の値を変更します。



- スライダーはハンドル（●）を左右にドラッグして動かします。
- 調整スライダーは初期設定では [B]（明るさ：Brightness）、[C]（コントラスト：Contrast）、[S]（彩度：Saturation）の値を調整できます。

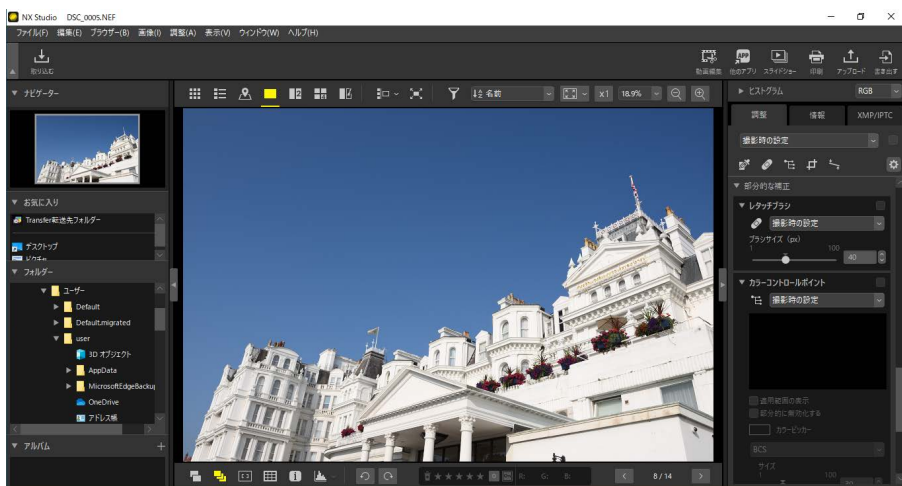
## 🔍 コントロール方法の切り換えについて


調整スライダーの下（または上）に表示される三角形をクリックすると、現在のコントロール方法（[BCS]、[HSB] または [RGB]）と [すべて] を切り換えられます。



# カラーコントロールポイントの基本的な使用方法

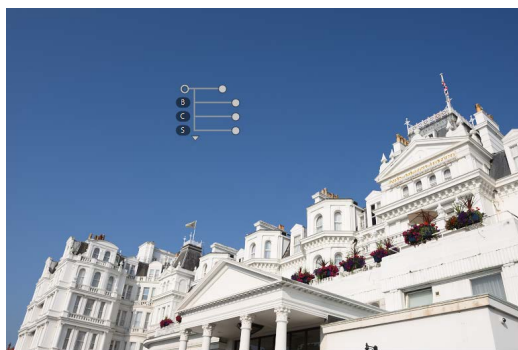
1. 画像を1枚表示または複数枚表示にします。サムネイル表示時はカラーコントロールポイントを使用できません。



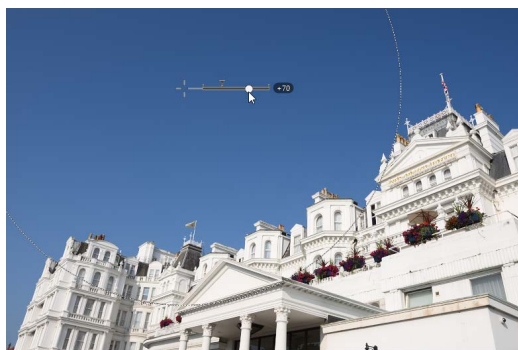
2. カラーコントロールポイントをクリックしてオン (  ) にします。画像調整パレットの上にあるカラーコントロールポイントのアイコンをクリックしてもオンにできます。



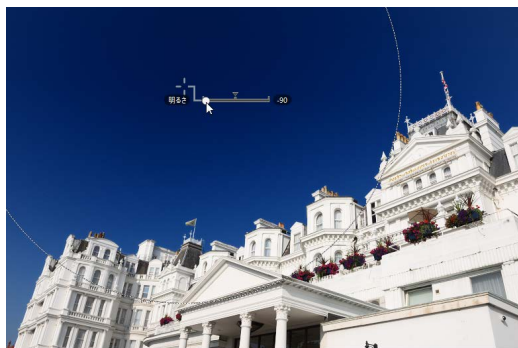
- 色を変更したい箇所をクリックして、カラーコントロールポイントを配置します。カラーコントロールポイントの位置はドラッグして移動できます。



- サイズスライダーを左右に動かして調整する範囲を変更します。カラーコントロールポイントを中心とした円形の内部（点線の円内）に処理が適用されます。境界線部分はグラデーション状に処理が適用され、外側に行くに従って適用量は少なくなります。スライダーが長くなるほど適用範囲が広がります。



5. 調整スライダーを左右に動かして、処理の適用量を変更します。この例では、[B]（明るさ）のスライダーを動かして空の明るさを変更しています。カラーコントロールポイントが置かれた部分を中心に、空の青い部分のみに処理が適用され、建物の色味には影響していません。



6. カラーコントロールポイントはいくつでも配置できます。必要に応じてステップ3～5を繰り返してカラーコントロールポイントを追加します。

#### **配置するカラーコントロールポイントの数について**

カラーコントロールポイントの配置は 100 程度までにすることをおすすめします。

#### **カラーコントロールポイントの複製について**

カラーコントロールポイントを選んで [編集] メニューの [コピー] および [貼り付け] (macOS は [ペースト]) で複製できます。

# 画像調整パレットの【カラーコントロールポイント】について




## ① カラーコントロールポイント

オン（) にするとカラーコントロールポイントを使用できます。

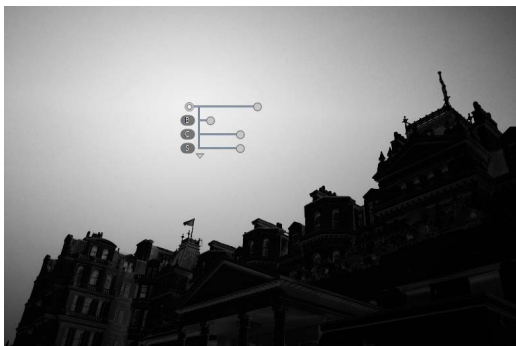
## ② カラーコントロールポイントリスト

画像上に置いたカラーコントロールポイントを選択できます。

- チェックをオフにすると、選択したカラーコントロールポイントの効果を無効にできます。
-  をクリックすると、選択したカラーコントロールポイントを削除できます。

### ③ 【適用範囲の表示】

チェックを入れると、カラーコントロールポイントの影響を受ける部分が白く表示されます。



### ④ 【部分的に無効化する】

チェックを入れたカラーコントロールポイントの適用範囲は、色が変わらなくなります。カラーコントロールポイントを複数使用するとき、色を変更したくない場所を保護する場合に使用します。チェックを入れると、サイズスライダーだけが表示されます。

### ⑤ カラーピッカー

カラーコントロールポイントの基準となる色をカラーピッカーから選べます。画像内でカラーコントロールポイントが置かれた被写体の色は、カラーピッカーで選んだ色に変更されます。





## ⑥ コントロール方法

カラーコントロールポイントの基準を選びます。変更すると、カラーコントロールポイントの調整スライダーと、詳細設定に表示される内容が変化します。

- ・ [すべて] : [色相] (Hue)、[彩度] (Saturation)、[明るさ] (Brightness)、[コントラスト] (Contrast)、[赤] (Red)、[緑] (Green)、[青] (Blue)、[暖色系調整] (Warmth) の値を調整できます。
- ・ [BCS] : [明るさ] (Brightness)、[コントラスト] (Contrast)、[彩度] (Saturation) の値を調整できます。
- ・ [HSB] : [色相] (Hue)、[彩度] (Saturation)、[明るさ] (Brightness) の値を調整できます。
- ・ [RGB] : [赤] (Red)、[緑] (Green)、[青] (Blue) の値を調整できます。

⑦ **【サイズ】**

カラーコントロールポイントの調整範囲を変更できます。

⑧ **【詳細設定】**

カラーコントロールポイントの調整値を変更できます。選んだコントロール方法によって表示される項目は変更されます。

⑨ **【リセット】**

選んだカラーコントロールポイントの値を設定前の値に戻します。

# トリミング

画像の必要な部分だけを切り抜けます。



## ① トリミング

オン（）にするとトリミングできます。

## ② 縦横比

画像を切り抜く範囲の縦横比を設定できます。[フリートリミング] を選ぶと、画像を自由な縦横比で切り抜きます。

## ③ 縦横比切替

クリックすると、切り抜く範囲を指定する枠（トリミング枠）の縦横の比率を入れ替えます。

## ④ 縦横比率

トリミング枠の縦横比を表示します。縦横比を [カスタム] に設定した場合、縦横比を入力して指定できます。

## ⑤ [キャンセル]

トリミングをキャンセルします。

## ⑥ [実行]

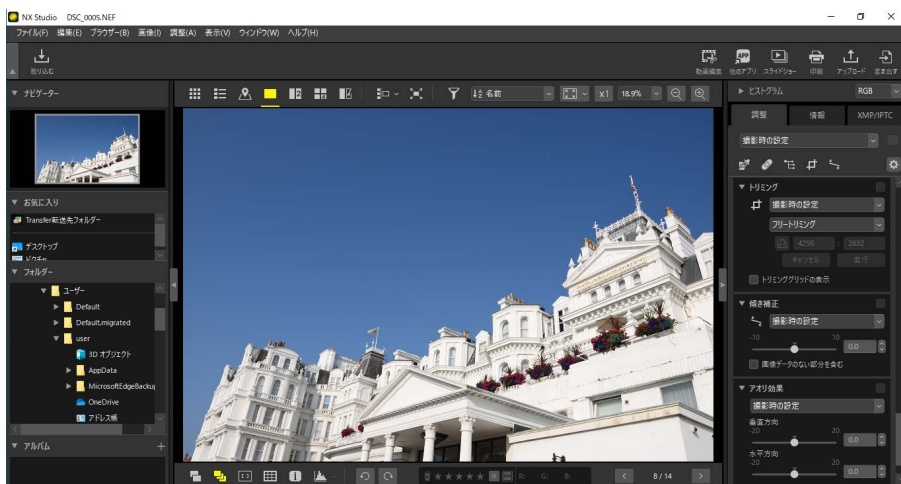
クリックすると、現在のトリミング枠で画像を切り抜きます。

## ⑦ 【トリミンググリッドの表示】

チェックを入れると、トリミング枠内に 3 × 3 のグリッド（格子線）を表示します。

# トリミングの手順

1. 画像を1枚表示または複数枚表示にします。サムネイル表示時はトリミングできません。



2. トリミングをクリックしてオン (  ) にします。画像調整パレットの上にあるトリミングのアイコンをクリックしてもオンにできます。



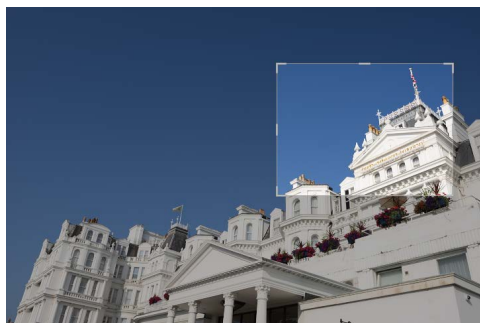
3. 切り抜きたい縦横比を選びます。



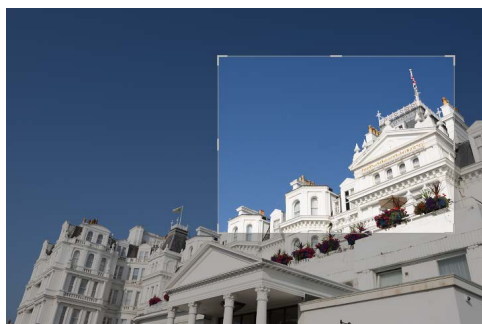
#### 縦横比について

縦横比はトリミング枠の設定後に変更することもできます。

4. 切り抜きたい範囲をドラッグしてトリミング枠を指定します。トリミング枠以外は暗く表示されます。



5. 四隅のハンドルまたは四辺の境界線をドラッグすると、トリミング枠を変更できます。トリミング枠内でドラッグすると、位置を変更できます。



6. トリミング枠内をダブルクリックするか、画像調整パレットの [実行] ボタンをクリックすると、画像が切り抜かれます。



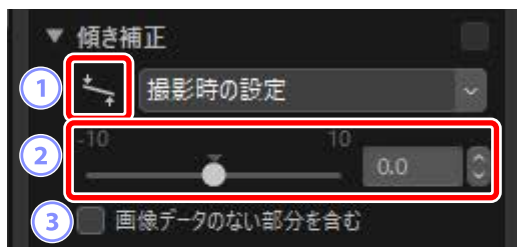
## 🔍 画像のトリミングについて

トリミング後は、画像調整パレットの[実行]ボタンが[リセット]に変更されます。[リセット]をクリックすると、トリミング前の状態に戻ります。




# 傾き補正

画像の傾きを±10度の範囲で補正できます。



## ① 傾き補正

オン (  ) にすると、画像をドラッグして傾きを補正できます。

## ② 傾き調整

画像の傾きを -10 から 10 までの範囲で調整できます。マイナス方向に調整すると反時計回りに、プラス方向に調整すると時計回りに傾きを補正します。

## ③ [画像データの無い部分を含む]

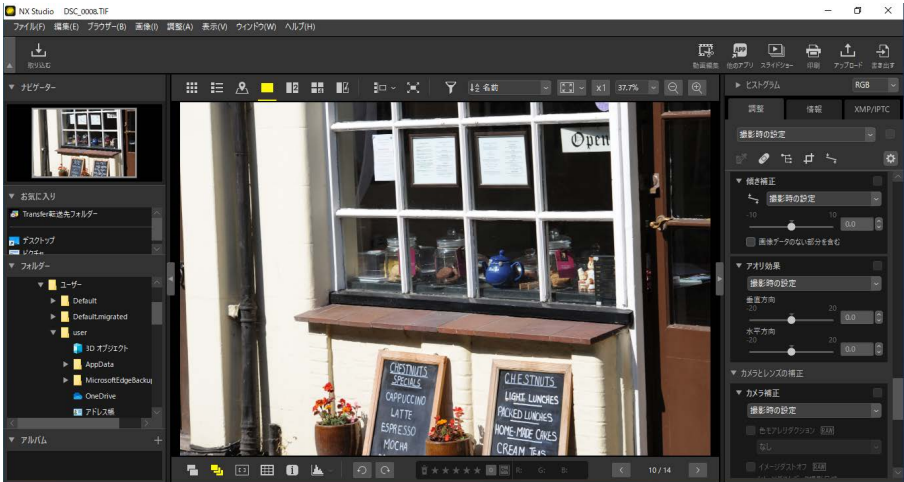
チェックを入れると、画像情報のない部分が黒く塗りつぶされます。



# 傾き補正の手順

画像内に基準線を引いて、基準線が水平または垂直になるように傾きを補正します。

1. 画像を1枚表示または複数枚表示にします。サムネイル表示時は傾き補正ができません。



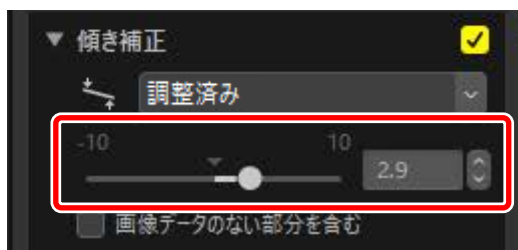
2. 傾き補正をクリックしてオン (  ) にします。画像調整パレットの上にある傾き補正のアイコンをクリックしてもオンにできます。



3. 傾き補正の基準となる被写体に沿ってドラッグして基準線を引きます。ここでは窓枠に沿って基準線を引いています。



4. 指定した基準線が水平または垂直になるように±10度の範囲で傾きが補正されます。補正された傾きの度数は、画像調整パレットに表示されます。



## ■ 画像データの無い部分を含む

画像の傾きを調整すると、画像の周囲に画像情報のない部分が生じます。初期設定では、画像情報のない部分が表示されないように自動的に切り抜かれます。[画像データの無い部分を含む] にチェックを入れると、自動では切り抜かれず、画像情報のない部分は黒く塗りつぶされて表示されます。



画像データの無い部分を含む：

オフ



画像データの無い部分を含む：

オン

# アオリ効果

遠近感による被写体のゆがみを垂直方向および水平方向に -20 から 20 までの範囲で調整できます。



## ① [垂直方向]

マイナス方向に調整すると画像の底辺が、プラス方向に調整すると画像の上辺が拡大します。



-20



0



20

## ② [水平方向]

マイナス方向に調整すると画像の左辺が、プラス方向に調整すると画像の右辺が拡大します。



-20



0



20

# カメラ補正

色モアレの低減や、イメージダストオフを使用したゴミの低減が行えます。



## ① 【色モアレリダクション】（RAW 画像のみ）

チェックを入れると、色モアレ（規則的な重複パターンによる色干渉）が低減されます。プルダウンメニューから適用の度合いを選びます。

## ② 【イメージダストオフ】（RAW 画像のみ）

カメラで取得したイメージダストオフ用のデータ（NDF ファイル、拡張子:.ndf）を、カメラの撮像素子前面にあるゴミの位置を参照画像（イメージダストオフデータ）として登録できます。チェックを入れると、登録した参照画像と表示中の画像が比較され、表示中の画像にあるゴミを低減できます。

- ・参照画像が登録されていない場合、チェックを入れると NDF 選択画面が表示されます。
- ・現在のフォルダー内にイメージダストオフ参照画像（イメージダストオフデータ）がある場合、その参照画像をイメージダストオフ処理に使用するかを尋ねるメッセージが表示されます。【いいえ】を選んだ場合、または現在のフォルダー内にイメージダストオフ参照画像がない場合は表示されるダイアログでイメージダストオフ参照画像を選んでください。
- ・NDF ファイルを変更するには【**変更**】ボタンをクリックして NDF ファイルを選びます。

### ③ 【自動赤目補正】

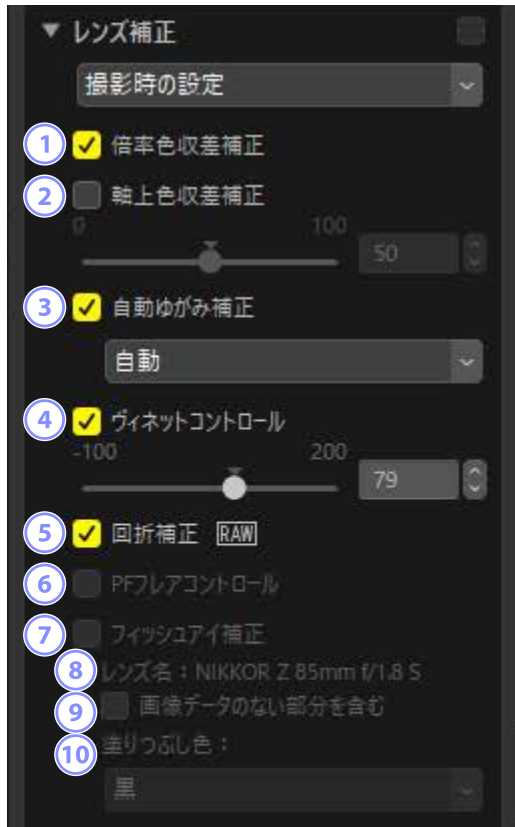
チェックを入れると、画像から人物の赤目現象を自動的に見つけ出して補正します。

#### イメージダストオフについて

- カメラの撮像素子前面についたゴミの量と位置は変わる場合があります。処理を行う場合は、その画像が撮影された1日以内に作成した参照画像の使用をおすすめします。
- **【イメージセンサークリーニング】** 機能があるカメラの場合、イメージセンサークリーニングを実行する前に取得したイメージダストオフデータは、クリーニング実行後に撮影した画像とゴミの位置が一致しなくなるため、**【イメージダストオフ】** を使用できません。イメージセンサークリーニング機能とイメージダストオフ機能を併用する場合は、カメラで **【イメージセンサークリーニング後 開始】** を選択後に撮影することをおすすめします。
- **【サイズ M】** または **【サイズ S】** に設定して撮影した RAW 画像では使用できません。
- イメージダストオフの詳細な説明は、カメラの使用説明書をご覧ください。

# レンズ補正

倍率色収差補正や軸上色収差補正など、レンズの特性により発生する現象を補正できます。



## ① 【倍率色収差補正】

チェックを入れると、倍率色収差による色ずれを低減できます。RAW画像の場合、自動でチェックが入ります。

## ② 【軸上色収差補正】

チェックを入れると、画像内の軸上色収差（色ずれ）を低減します。値が大きいほどより強く色ずれを低減できます。

### ③ [自動ゆがみ補正]

チェックを入れると、広角レンズ使用時のたる型ゆがみや、望遠レンズ使用時の糸巻きゆがみなど、レンズの特性により発生する画像のゆがみを画像に記録されたレンズ情報を用いて補正できます。

- ゆがみを補正するにはプルダウンメニューで **[自動]** を選びます。
- 専用防水レンズを装着して撮影した画像の場合、プルダウンメニューに **[自動 (水中)]** が追加されます。水中で撮影するときの糸巻き型のゆがみを補正できます。

### ④ [ヴィネットコントロール]

チェックを入れると、レンズの特性により発生する周辺光量の低下を調整することができます。値が大きいほど画像の端を明るくします。

### ⑤ [回折補正] (対応カメラで撮影した RAW 画像のみ)

チェックを入れると、レンズの絞りを絞り込んだときに画像の解像感が低下する回折現象を補正します。

### ⑥ [PF フレアコントロール] (対応レンズで撮影した画像のみ)

画面内に強い光源がある場合、画像にフレア（リング状、円形など）が写り込むことがあります。チェックを入れると、画像に写り込んだフレアを軽減できます。

- 光源の種類や形状によっては、十分な効果が得られない場合があります。
- 意図しない補正が発生した場合は、チェックをオフにしてください。

### ⑦ [フィッシュアイ補正] (対応レンズで撮影した画像のみ)

フィッシュアイレンズで撮影した画像を、通常の広角レンズで撮影したように変換できます（☐ [「フィッシュアイ補正について」](#) 147 ページ）。AF DX Fisheye-Nikkor 10.5mm f/2.8G ED、AF Fisheye-Nikkor 16mm f/2.8D または AF-S Fisheye NIKKOR 8-15mm f/3.5-4.5E ED を使用して撮影した画像にのみ対応しています。その他のレンズを使用して撮影された画像には使用できません。



⑧ **【レンズ名】**

レンズ情報がある画像の場合、撮影に使用したレンズ名が表示されます。

⑨ **【画像データの無い部分を含む】**

チェックを入れると、画像情報の無い部分が単色で塗りつぶされます。

⑩ **【塗りつぶし色】**

【画像データの無い部分を含む】にチェックを入れた場合に、何色で塗りつぶすかを選べます。

## フィッシュアイ補正について

【フィッシュアイ補正】にチェックを入れると、フィッシュアイレンズで撮影した画像を広角レンズで撮影したように変換します。

- 対角線魚眼で撮影した画像の場合、画像の中心を通る縦幅を基準にしてカメラの画角の比率に合わせて切り出されます。



フィッシュアイ補正：オフ



フィッシュアイ補正：オン

- 円周魚眼で撮影した画像の場合、画像の中心を基準としてカメラの画角の比率に合わせて切り出されます。



フィッシュアイ補正：オフ



フィッシュアイ補正：オン

## ■ 画像データの無い部分を含む

フィッシュアイ補正は画像の一部を湾曲させて変換を行います。湾曲した部分には画像情報がまったく含まれません。初期設定では、画像情報のない部分が表示されないように自動的に切り抜かれます。[画像データの無い部分を含む] にチェックを入れると、自動では切り抜かれず、画像情報のない部分は単色で塗りつぶされて表示されます。



画像データの無い部分を含む：  
オフ



画像データの無い部分を含む：  
オン

塗りつぶす色は [塗りつぶし色] で設定します。



塗りつぶし色：赤

# 調整履歴設定

〔調整ステップの適用〕にチェックを入れると、Capture NX の〔画像処理ステップ〕 および Capture NX 2 の〔調整〕 セクションで行った調整を NX Studio にも適用して画像を表示します。



- Capture NX または Capture NX 2 で調整した NEF 形式の RAW 画像のみ使用できます。
- 例えば Capture NX 2 で〔ぼかし (ガウス)〕と〔色変換〕を適用した画像を開くと、〔調整ステップの適用〕にチェックを入れない場合は何も調整が適用されません。〔調整ステップの適用〕にチェックを入れると、〔ぼかし (ガウス)〕と〔色変換〕の調整を適用して表示します。調整項目ごとの適用 / 非適用の変更や、調整値の変更はできません。



調整ステップの適用：オフ



調整ステップの適用：オン

- [ピクチャーコントロール] や [ホワイトバランス] など、一部の機能は NX Studio でも調整値が保持されています。これらの項目は NX Studio での再調整が可能です。

### Capture NX/Capture NX 2 で調整した画像について

---

- JPEG または TIFF 形式の画像を Capture NX/Capture NX 2 で NEF 形式に変換した画像の場合、NX Studio では画像調整が行えません。
- Capture NX または Capture NX 2 のプラグインソフト Color Efex Pro の機能が適用されている場合、NX Studio では画像調整が行えません。

# 調整した内容を他の画像に適用する

NX Studio では、調整内容を他の画像に適用できます。他の画像に適用するには、各調整項目にある調整設定メニューを使用する方法と、調整タブにある調整リストを使用する方法があります。

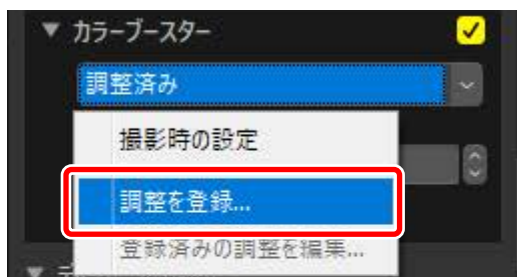
## 調整設定メニューを使用する

調整内容を画像調整パレットの調整設定メニューにプリセットとして登録できます。登録したプリセットを選ぶと、他の画像に同じ調整内容が適用されます。ここでは「カラーブースター」を例にしています。

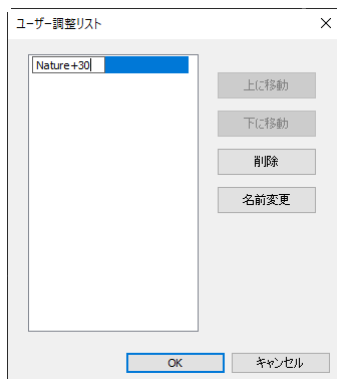
1. 画像調整パレットで調整を行います。ここでは調整対象で「風景」を選び、調整値を +30 にしています。



2. 調整設定メニューで「調整を登録」を選びます。



3. [調整を登録] ダイアログで任意の名前を設定します。ここでは「Nature+30」としています。名前を決定したら[OK]をクリックします。



4. 登録した名前がプリセットマニュアルとして調整設定メニューに登録され、同じ調整内容が他の画像にも適用できるようになります。

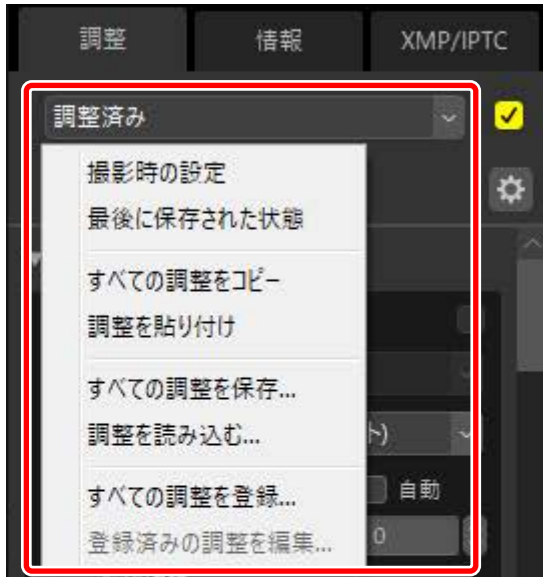


#### 調整設定メニューについて

- 画像調整によっては、独自の項目が調整設定メニューに含まれていることがあります。
- [レタッチブラシ] など、調整を登録できない項目もあります。
- プルダウンメニューの [登録済みの調整を編集] を選ぶと、ダイアログで名前の変更や調整の削除が行えます。

# 調整リストを使用する

調整タブの調整リストを使用すると調整内容を他の画像にコピーおよび貼り付けができます。複数の調整内容をまとめて適用することも可能です。



## 【撮影時の設定】

調整内容をすべて破棄して撮影時の状態に戻します。

## 【最後に保存された状態】

画像を以前の状態に戻します。どの時点の状態に戻るかは [環境設定] の [保存] の設定によって異なります (□ [\[\[保存\]\]](#) 283 ページ)。

- ・ [調整内容を調整ファイル (サイドカーファイル) に記録する] を選んでいる場合：画像の調整ファイルが削除され、調整ファイルに保存されていたメタデータや調整情報が無効になります。
- ・ [調整内容を元画像ファイルに記録する] を選んでいる場合：最後に画像を NX Studio で保存したときの状態に戻します。

## 【すべての調整をコピー】

すべての項目の設定をコピーします。

## 【調整を貼り付け】

[すべての調整をコピー] でコピーした調整を画像に適用します。

### **[すべての調整を保存]**

すべての項目の設定を、ひとつの設定ファイルとして保存します。

### **[調整を読み込む]**

設定ファイルを読み込んで、調整を適用します。

### **[すべての調整を登録]**

すべての項目の設定を、**[調整]** のプルダウンメニューにプリセットとして登録します。

### **[登録済みの調整を編集]**

プルダウンメニューにプリセットとして登録した調整の名前や並び順を変更したり、削除したりできます。

#### **🔪 RAW 画像のみに適用できる項目について**

**[露出補正]** や **[ピクチャーコントロール]** など、RAW 画像のみに適用できる項目をコピーして JPEG または TIFF 形式の画像に適用した場合、それらの項目の調整の内容は反映されません。



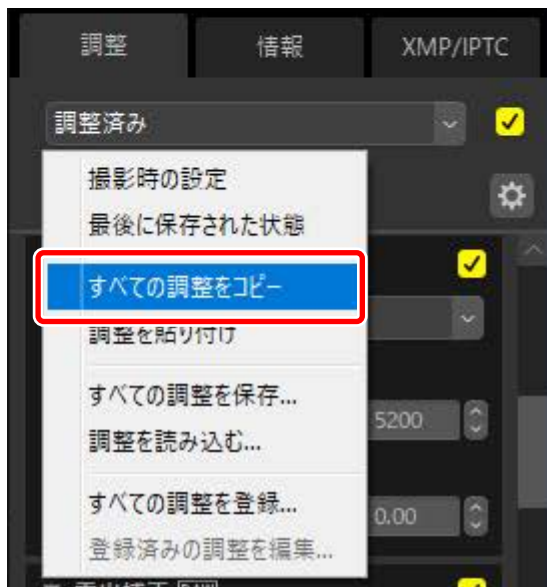
## ■ 調整内容をコピーして貼り付ける

調整内容をコピーして他の画像に貼り付けます。複数の調整項目をまとめてコピーできます。

1. 画像の調整を行います。ここでは [ホワイトバランス] を [晴天] に、 [露出補正] を [-1EV] に設定しています。



2. 調整リストで「すべての調整をコピー」を選びます。



3. 調整を適用したい画像を選びます。この画像にはすでに「露出補正」と「アクティブ D-ライティング」に調整が加えられています。



4. 調整リストで「調整を貼り付け」を選びます。



5. 調整が適用されます。すでに設定していた「露出補正」が手順1と同じ値に変更され、「アクティブD-ライティング」の設定は「撮影時の設定（しない）」に戻っています。



## ■ 調整内容を設定ファイルに保存する

[すべての調整を保存] では、調整内容を設定ファイルとして保存できます。保存した設定ファイルは、[調整を読み込む] で読み込んで画像に適用できます。設定ファイルを他のパソコンにコピーすれば、他の環境でも同じ調整を簡単に適用できます。

## ■ 調整内容を調整リストに登録する

[すべての調整を登録] を選ぶと、[調整を登録] ダイアログが表示されて調整の値を変更した項目の設定を、調整リストにプリセットとして登録できます。

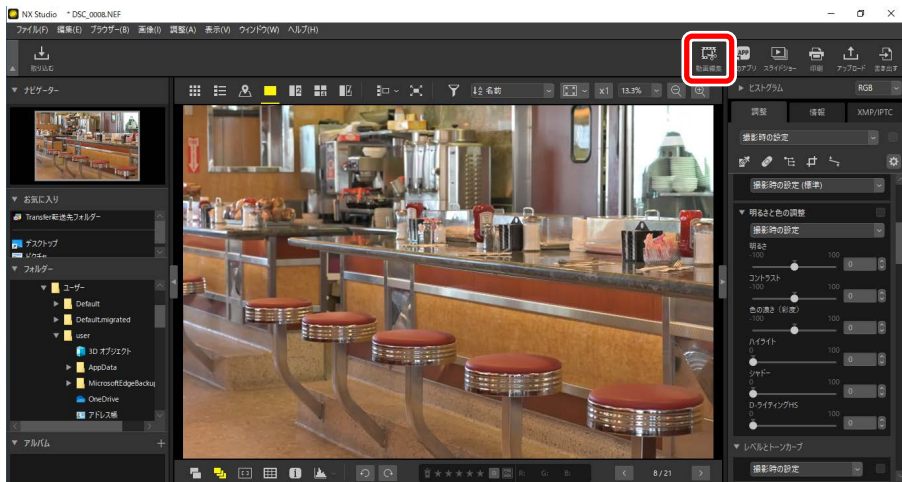


# 動画を編集する (Movie Editor)

- 📖 [動画編集について](#)
- 📖 [動画の必要な部分だけを切り出す](#)
- 📖 [複数の動画を連結する](#)
- 📖 [静止画や動画を組み合わせて新しい動画を作成する](#)
- 📖 [\[動画を編集する\] ウィンドウのメニュー一覧](#)

# 動画編集について

ツールバーの「動画編集」をクリックすると、動画編集ソフトウェア Movie Editor が起動して目的選択画面が表示され、動画編集の内容を選べます。



## 動画の必要な部分だけを切り出す

「動画を切り取る」をクリックすると、動画の必要な部分だけを切り出して新しい動画として保存します。動画の必要な部分は、NX Studio で指定できます（☞ [「動画の必要な部分だけを切り出す」](#) 163 ページ）。

## 複数の動画を連結する

[動画を連結する] をクリックすると、同じ設定条件で撮影した複数の動画を連結して1つの動画として生成します（☞ [「複数の動画を連結する」](#) 166 ページ）。

## 静止画や動画を組み合わせる新しい動画を作成する

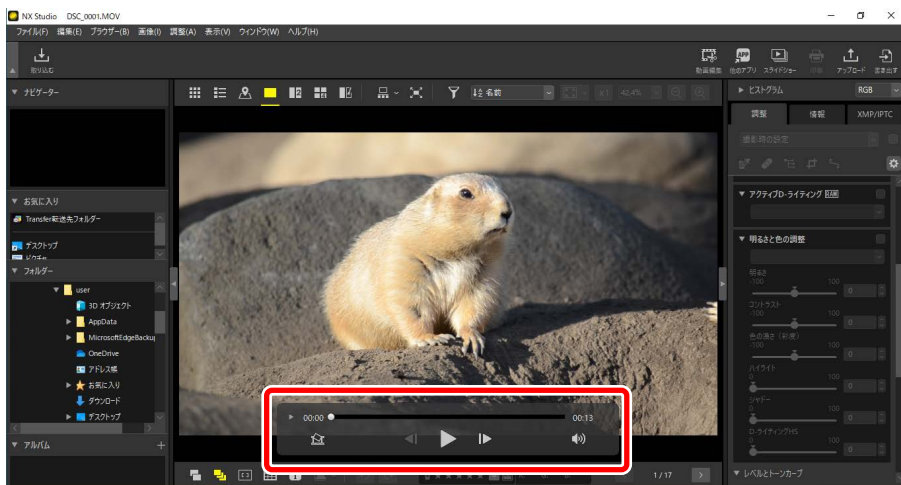
[動画を編集する] をクリックすると、カメラで撮影した静止画や動画を組み合わせたスライドショーを作成し、新しい動画ファイルとして保存できます。素材の切り換え効果を設定したり、メッセージクリップなどのテキスト画面を追加したりできます。BGM を設定することも可能です（☞ [「静止画や動画を組み合わせる新しい動画を作成する」](#) 168 ページ）。




# 動画の必要な部分だけを切り出す

カメラで撮影した動画の必要な部分を指定して、新しい動画として生成できます。

1. 動画を選んで1枚表示します。マウスカーソルをビューアーの下部に合わせると、動画再生コントローラーが表示されます。



2. 動画再生コントローラーの動画フレーム表示切替ボタン（)をクリックして、動画のコマをサムネイルで表示します。



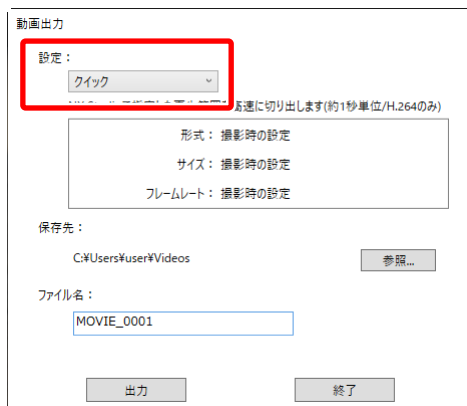
3. サムネイルの左右のハンドルをドラッグして、必要な部分を指定します。



4. ツールバーの「動画編集」をクリックし、目的選択画面で「動画を切り取る」を選びます。



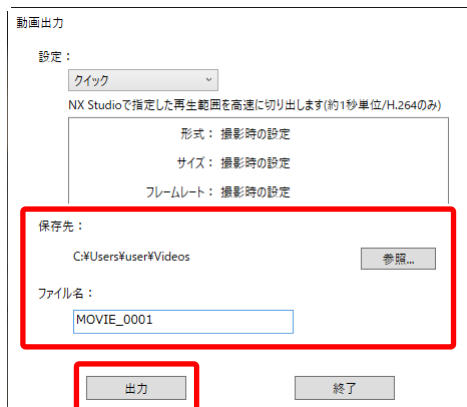
5. 表示される「動画出力」ダイアログの「設定」で出力設定を選びます。



#### 🔍【設定】について

- ・「クイック」を選ぶと、指定した再生範囲をカメラで撮影した設定のまま切り出します。再エンコーディングを行わないため、高速で処理を行えます。
- ・「詳細設定」をクリックすると、詳細情報が設定できます（☞ [【詳細設定】について](#) 190 ページ）。

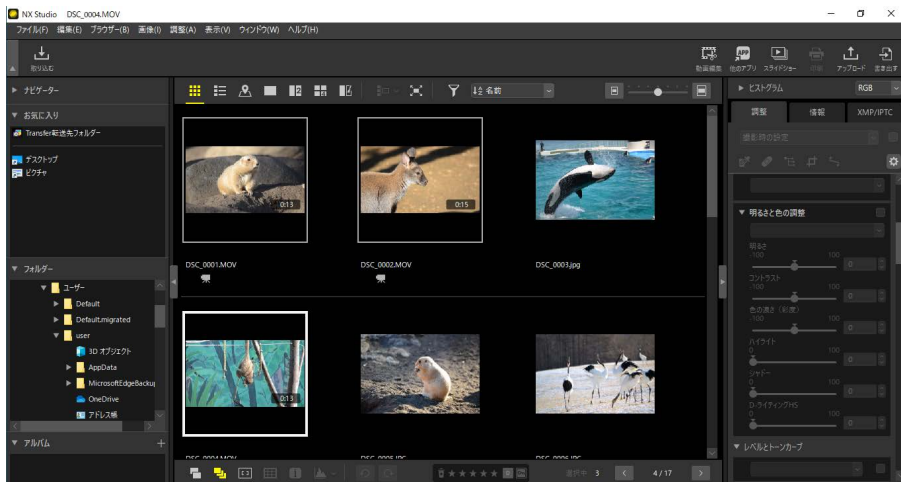
6. 動画の保存先と生成する動画のファイル名を設定し、「出力」をクリックすると、新しい動画が生成されます。



# 複数の動画を連結する

選んだ複数の動画を連結して、新しい動画として生成できます。

## 1. 連結したい複数の動画を選びます。



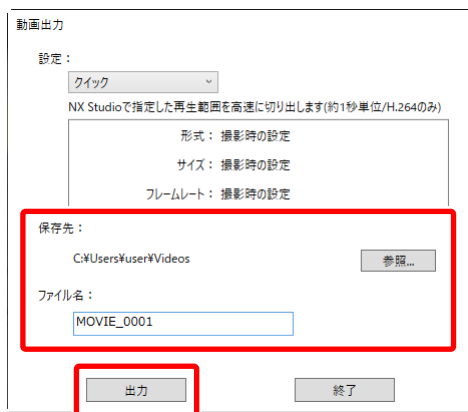
### 📌 連結できる動画について

- ・同一機種のカメラで、同じ設定にして撮影された動画同士が連結できます。
- ・動画は最大 20 ファイルまで連結できます。
- ・Movie Editor で生成した動画は連結できません。

2. ツールバーの「**動画編集**」をクリックし、目的選択画面で「**動画を連結する**」を選びます。



3. 表示される「**動画出力**」ダイアログで動画の保存先と生成する動画のファイル名を設定し、「**出力**」をクリックすると、新しい動画が生成されます。「**設定**」は「**クイック**」のみで、変更はできません。



# 静止画や動画を組み合わせる新しい動画を作成する

カメラで撮影した静止画および動画を素材として、新しい動画を作成・生成できます。

## 動画作成の基本的な手順

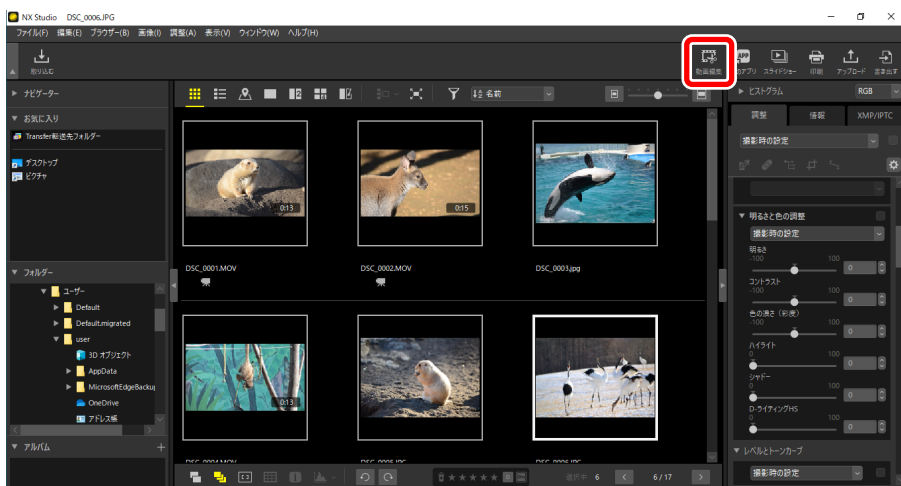
動画作成の基本的な手順は次の通りです。

### 📁 動画の素材として使用できるファイル形式について

素材として使用できるファイルの形式は、ニコン製デジタルカメラで撮影した以下の静止画および動画です。

- ・ 静止画：JPEG、TIFF、RAW (NEF、NRW) 形式
- ・ 動画：MOV、AVI、MP4 (H.264/AAC)

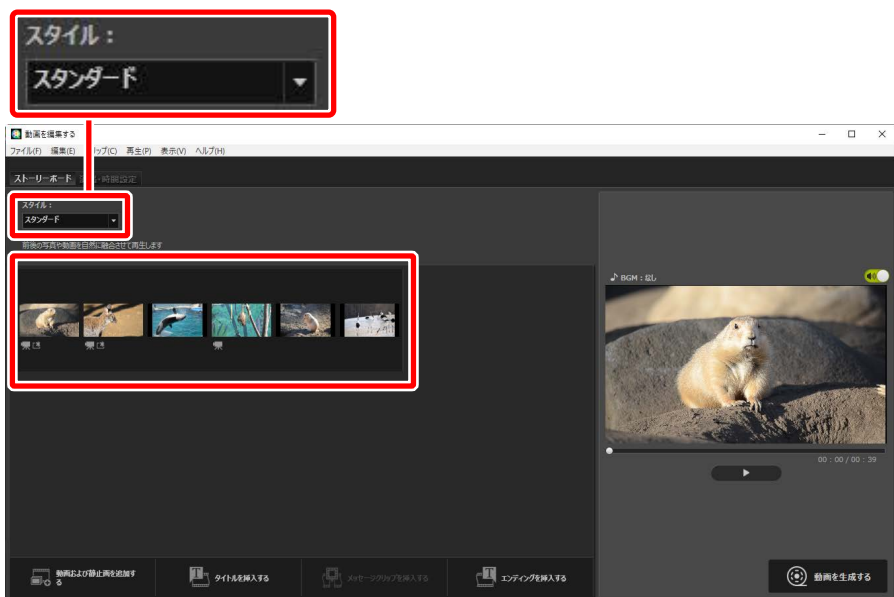
1. サムネイル表示またはフィルムストリップで新しい動画の素材となるファイルを選び、ツールバーの[動画編集]をクリックします。素材ファイルは静止画は最大 200 ファイル、動画は最大 20 ファイルまで使用できます。



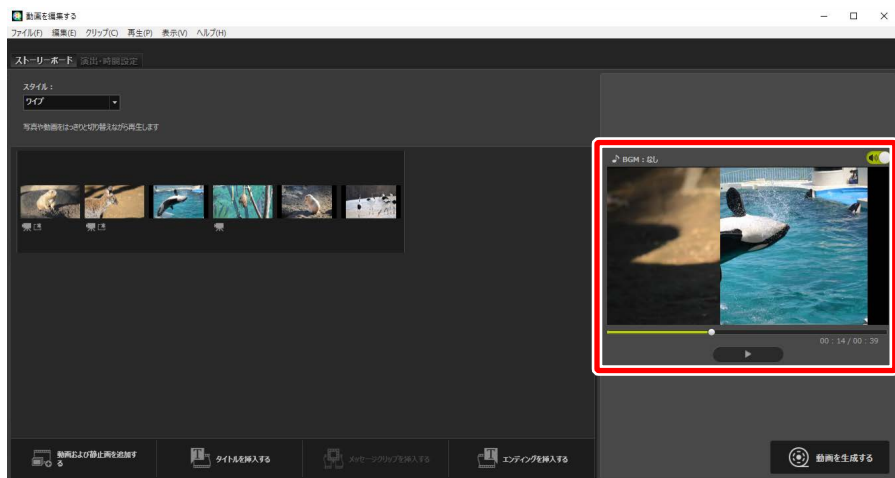
2. 表示される目的選択画面で **「動画を編集する」** をクリックします。



3. **「動画を編集する」** ウィンドウが表示され、**「ストーリーボード」** タブのストーリーボードエリアに手順 1 で選んだ静止画および動画が表示されます (☞ [「\[ストーリーボード\] タブ」](#) 174 ページ)。新しく作成する動画は、左上の素材から順に再生されます。ドラッグ & ドロップで並べ替えて、再生順を変更できます。素材を切り換えるときの効果を **「スタイル」** で設定できます (☞ [「画像を切り換える効果を設定する」](#) 177 ページ)。

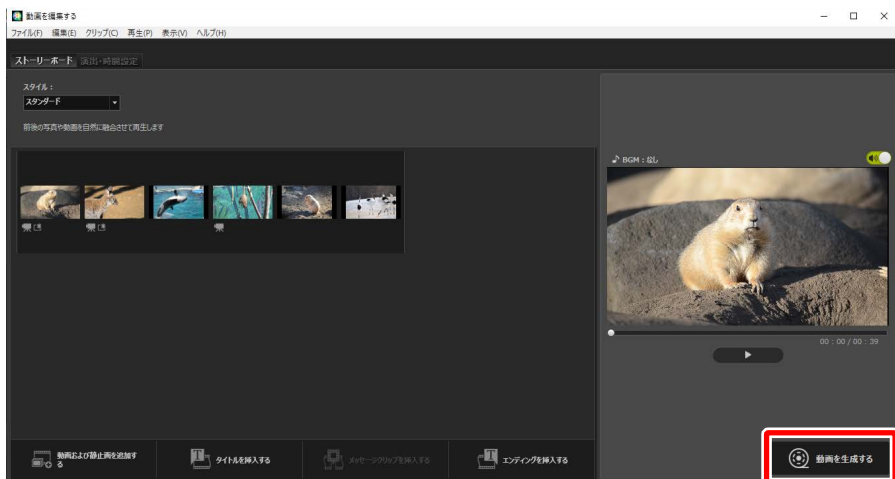


4. プレビュー表示エリアで作成中の動画を再生して確認します。🔊 をクリックしてオフ (🔇) にすると、BGM および素材の動画内の音声を消音できます。





5. [動画を生成する] をクリックすると、[動画出力] ダイアログが表示されます。ファイル形式や画像サイズ、保存先などを設定し、[出力] をクリックすると動画が生成されます（☐ [「作成中の動画の出力設定を行って生成する」](#) 189 ページ）。





動画には必要に応じてタイトルやエンディングの文字情報を追加したり、素材の静止画や動画の上にテキストを重ねて表示したりできます（☐ [「作成中の動画に文字情報を追加する」](#) 179 ページ）。また、BGM を追加することもできます（☐ [「作成中の動画に BGM を付ける」](#) 187 ページ）。

## 📌 作成中の動画を一時保存する / 一時保存した動画を復元する

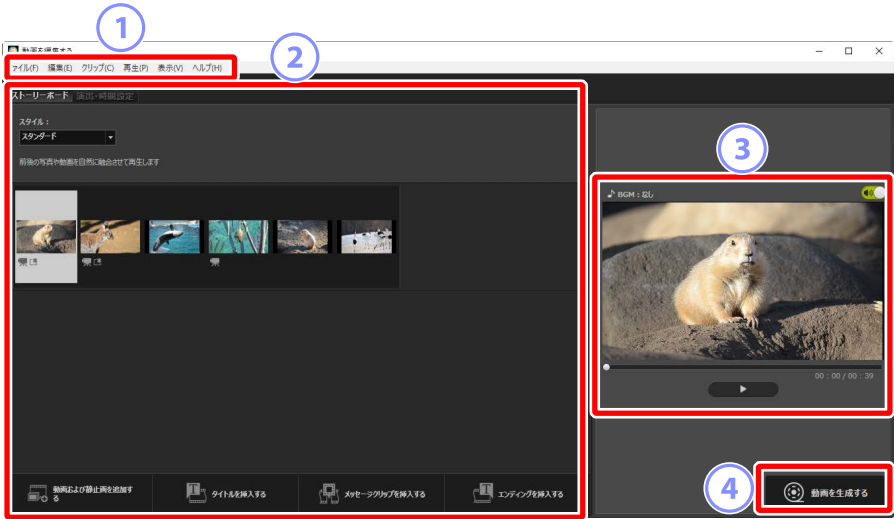
動画作成中に「動画を編集する」ウィンドウを閉じる場合、確認画面が表示されて現在作成中の動画を一時保存できます。保存した動画は「ファイル」メニューの「保存された設定を読み込む」で復元して、編集を再開できます。



- 最大 10 件まで一時保存できます。10 件を超えると古いものから削除されます。削除したくない動画は、 をクリックしてオン () にすると保護できます。保護は 5 件まで可能です。
- 読み込みたい動画を選んで「復元」をクリックすると、ストーリーボードに選んだ動画の素材が表示されます。
- 動画作成中に「保存された設定を読み込む」を選ぶと、現在作成中の動画を一時保存するかどうかの確認画面が表示されます。

# 【動画を編集する】ウィンドウの各部名称

【動画を編集する】ウィンドウの動画生成画面は次のように分かれています。



## ① メニューバー

各種メニューを選べます (□ [【動画を編集する】ウィンドウのメニュー一覧](#) 192 ページ)。

## ② 設定エリア

動画に使用する素材の追加、並び替え、削除、編集、および再生時の切り換え効果の設定を行う [【ストーリーボード】](#) タブと、BGM の登録、作成する動画の再生方法や再生時間を設定する [【演出・時間設定】](#) タブがあります (□ [【ストーリーボード】](#) タブ 174 ページ、[【演出・時間設定】](#) タブ 176 ページ)。

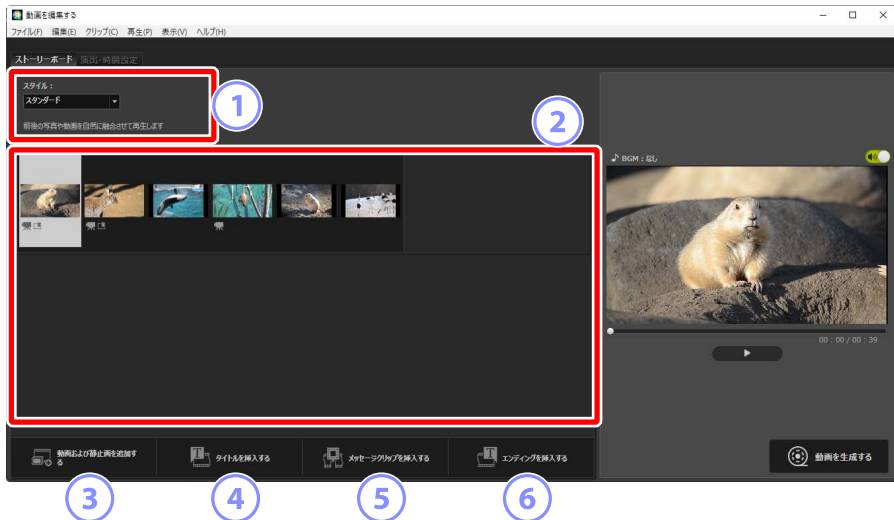
## ③ プレビュー表示エリア

作成中の動画を再生して確認します。

## ④ 【動画を生成する】

[【動画出力】](#) 画面を表示して、新しい動画を生成します (□ [【作成中の動画の出力設定を行って生成する】](#) 189 ページ)。

## ■ [ストーリーボード] タブ



### ① [スタイル]

再生時の素材の切り換え効果を設定します。

### ② ストーリーボードエリア

使用する素材の並び順の変更やメッセージクリップの追加などを行えます。

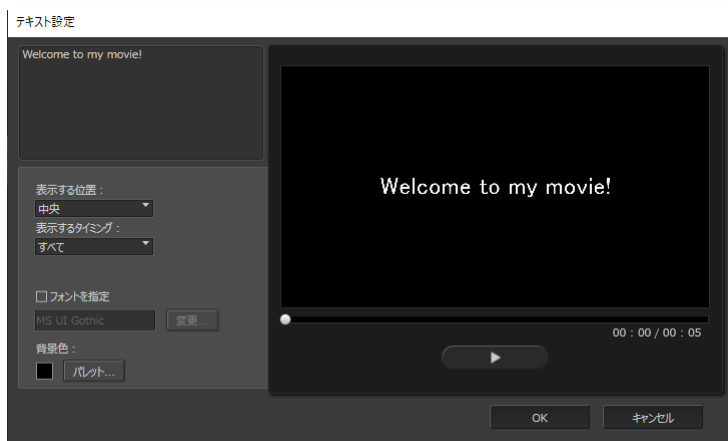
- 素材をドラッグ & ドロップして並び順を変更できます。
- OS 上からストーリーボードに画像をドラッグ & ドロップして追加することもできます。
- 素材を選んで Delete キーを押すと削除できます。

### ③ [動画および静止画を追加する]

作成中の動画に素材を追加できます。クリックすると NX Studio に戻るかどうかの確認画面が表示され、[OK] をクリックすると NX Studio が表示されます。NX Studio で画像を選んでツールバーの **[動画編集]** をクリックすると、**[動画を編集する]** ウィンドウのストーリーボードエリアの最後に追加されます。

#### ④ 【タイトルを挿入する】

【テキスト設定】ダイアログが表示され、作成中の動画の冒頭にタイトルとしてテキスト画面を挿入できます（☞ [【【テキスト設定】ダイアログ】](#) 182 ページ）。



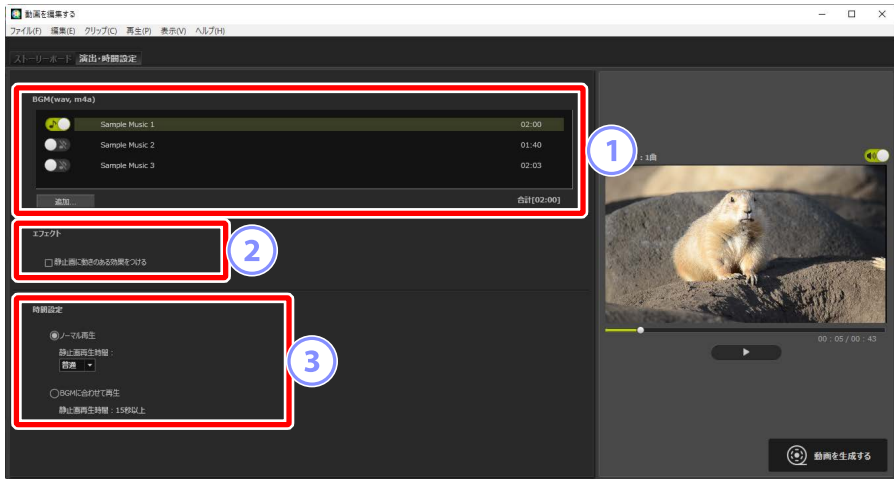
#### ⑤ 【メッセージクリップを挿入する】

【テキスト設定】ダイアログが表示され、ストーリーボード上で選択状態になっている素材の前に、テキスト画面（メッセージクリップ）を挿入します（☞ [【【テキスト設定】ダイアログ】](#) 182 ページ）。

#### ⑥ 【エンディングを挿入する】

【テキスト設定】ダイアログが表示され、作成中の動画の最後にエンディングとしてテキスト画面を挿入できます（☞ [【【テキスト設定】ダイアログ】](#) 182 ページ）。

## ■ [演出・時間設定] タブ



### ① 【BGM (wav, m4a)】

作成中の動画に BGM として付ける音楽ファイルがリスト表示されています (☞ [「作成中の動画に BGM を付ける」](#) 187 ページ)。

### ② 【エフェクト】

「静止画に動きのある効果をつける」にチェックを入れると、静止画がズームや左右上下にゆっくりと動きながら切り替わります。

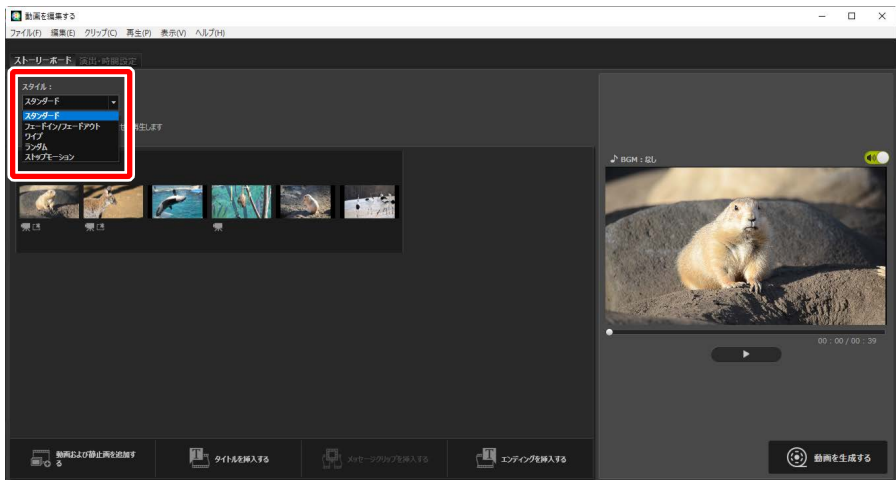
### ③ 【時間設定】

静止画の再生時間を調整できます。

- ・【ノーマル再生】: 「静止画再生時間」で【短め】(約 3 秒)、【普通】(約 5 秒)、【長め】(約 10 秒)のいずれかを選択します。
- ・【BGM に合わせて再生】: BGM を設定している場合に選べます。設定している BGM の再生時間に合わせて、素材の静止画 1 枚あたりの再生秒数が変更されます。ただし、静止画 1 枚の再生秒数が 2 秒未満または 15 秒以上になる場合は選べません。例えば 1 分間の BGM を設定している場合、作成中の動画に使用する素材の静止画は 5 枚以上 30 枚未満にする必要があります。

# 画像を切り換える効果を設定する

ストーリーボードの[スタイル]で素材の切り換え効果を設定します。プレビューエリアで再生して効果を確認できます。



## [スタンダード]

静止画や動画を消えることなくなめらかに切り換えて再生します。

## [フェードイン/フェードアウト]

静止画や動画がゆっくり消えて現れるように切り換えて再生します。

## [ワイプ]

静止画や動画を右から左へ書き換えるように再生します。

## [ランダム]

切り換えの効果をランダムに使用して再生します。

## [ストップモーション]

静止画をコマ送りにしてパラパラマンガのように再生します。静止画の再生時間は[静止画再生時間]で[0.1秒] / [0.2秒] / [0.5秒]から選べます。

### ☑ [ストップモーション] を選んだ場合のご注意

- [演出・時間設定] タブの [時間設定] で [ノーマル再生] を選んでいる場合、動画の繰り返し再生数を設定できます。
- [演出・時間設定] タブの [時間設定] で [BGMに合わせて再生] に設定すると、BGMの再生時間に合わせて動画の [繰り返し回数] が自動的に設定されます。ただし、[繰り返し回数] が31回以上になる場合は設定できません。
- ご使用の環境によっては、[静止画再生時間] を [0.1 秒] または [0.2 秒] に設定した場合にプレビュー再生にて正しく画像が切り替わらない場合があります。その場合はプレビュー表示エリアの画面サイズを小さくしてください。

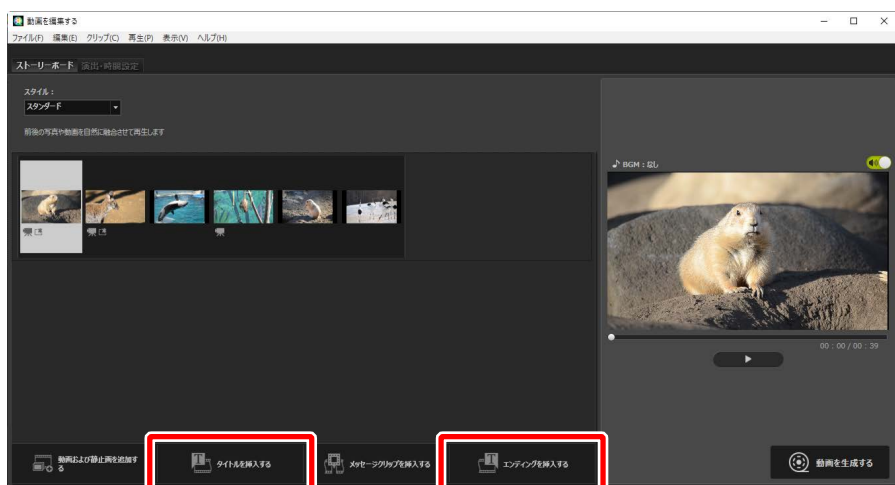


# 作成中の動画に文字情報を追加する

作成中の動画に文字情報を追加できます。動画のタイトルまたはエンディングとして約 5 秒間のテキスト画面を挿入したり、素材となる静止画や動画にテキストを追加して字幕のように表示したりできます。

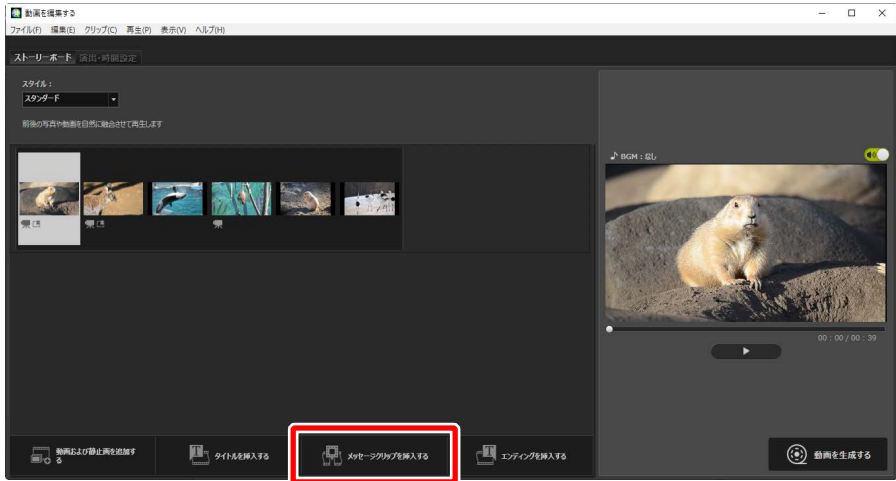
## ■ タイトル / エンディングを挿入する

[ストーリーボード] タブで [タイトルを挿入する] または [エンディングを挿入する] をクリックすると、[テキスト設定] ダイアログが表示されてテキストを入力できます。[OK] をクリックすると、作成中の動画の冒頭または最後に約 5 秒間のテキスト画面が挿入されます (☞ [\[テキスト設定\] ダイアログ](#) 182 ページ)。



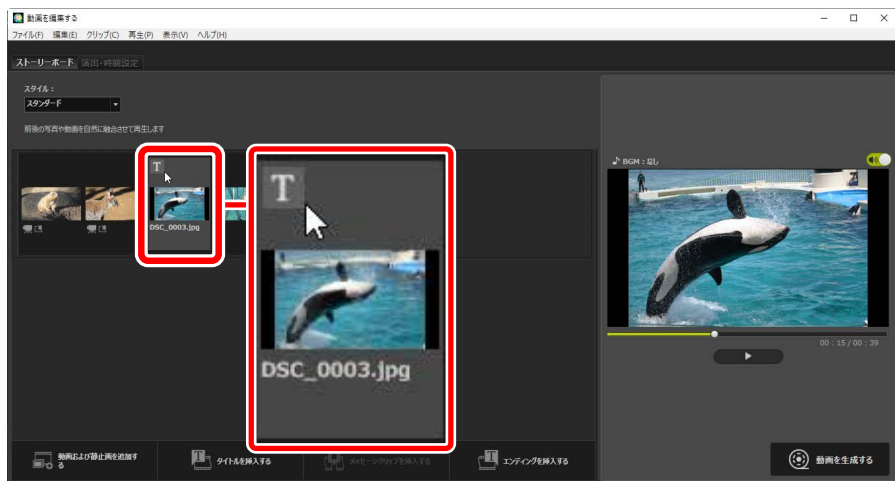
## ■ メッセージクリップを挿入する

[ストーリーボード] タブで [メッセージクリップを挿入する] をクリックすると、[テキスト設定] ダイアログが表示されてテキストを入力できます。[OK] をクリックすると、ストーリーボード上で選択状態になっている素材の前に約 5 秒間のテキスト画面が挿入されます(□ [\[「テキスト設定」ダイアログ\]](#) 182 ページ)。



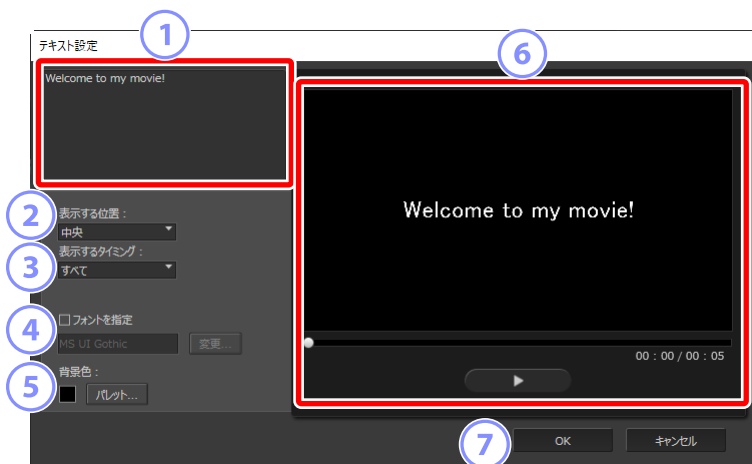
## ■ 素材の静止画または動画にテキストを重ねて表示する

素材の静止画または動画にテキストを追加できます。テキストを追加したい素材にカーソルを合わせて **T** をクリックすると、[テキスト設定] ダイアログが表示されます（☞ [\[\[テキスト設定\] ダイアログ\]](#) 182 ページ）。



## ■ [テキスト設定] ダイアログ

表示するテキストの設定は [テキスト設定] ダイアログで行います。



### ① テキスト入力ボックス

表示するテキストを入力できます。

### ② [表示する位置]

テキストの表示位置を選べます。

### ③ [表示するタイミング]

テキストが表示されるタイミングを設定します。

- ・ [すべて] を選ぶと、素材表示中に入力した文字を表示し続けます。
- ・ [はじめから] / [おわりから] を選ぶと、素材の表示時間の開始または終了から 3 秒 / 5 秒 / 7 秒のタイミングで表示するように設定できます。
- ・ タイトル / エンディング / メッセージクリップの場合は [すべて] に固定されます。約 5 秒間テキストが表示したままになります。

### ④ [フォントを指定]

チェックを入れて [変更] をクリックすると、文字の書体やサイズ、色などを設定できます。

### ⑤ 【背景色】

タイトル/エンディング/メッセージクリップの場合のみ表示されます。  
【パレット】をクリックすると、テキストの背景色を変更できます。



### ⑥ プレビュー

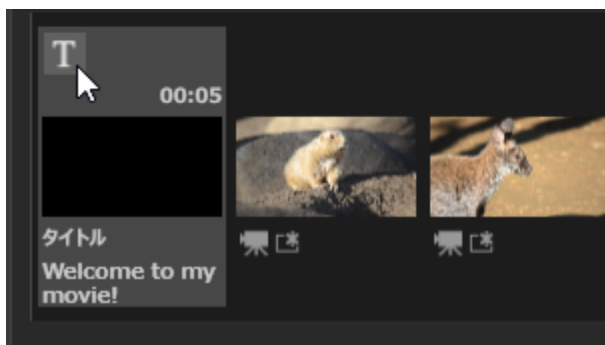
テキストの表示を確認できます。

### ⑦ 【OK】

クリックすると、ストーリーボードにタイトル/メッセージクリップ/  
エンディングが挿入されます。素材の静止画または動画にテキストを  
設定している場合は、素材の上にテキストが追加されます。

## ■ 設定したテキストを編集する



タイトル/エンディング/メッセージクリップまたはテキストを設定した  
素材には、が表示されます。クリップまたは素材にカーソルを合わせると、  
テキストの内容が表示されます。をクリックすると【テキスト設定】  
ダイアログが表示され、内容を変更できます。

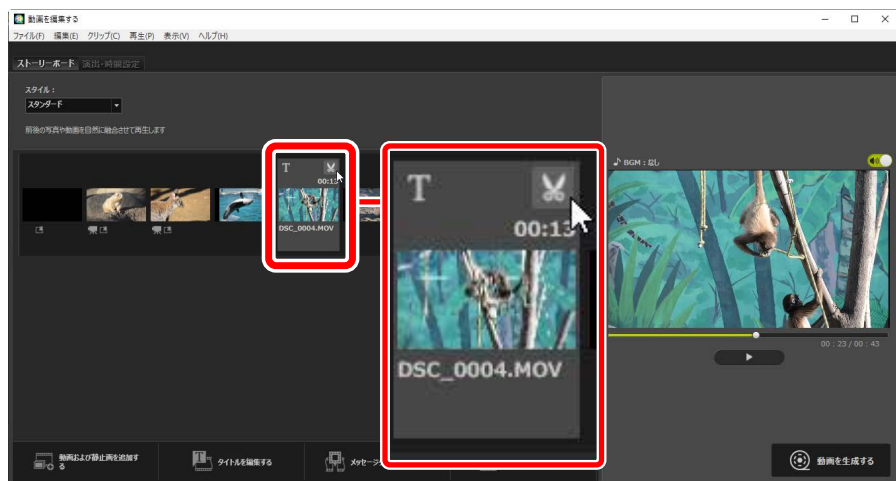


# 作成中の動画に使用する素材動画の必要な部分を指定する

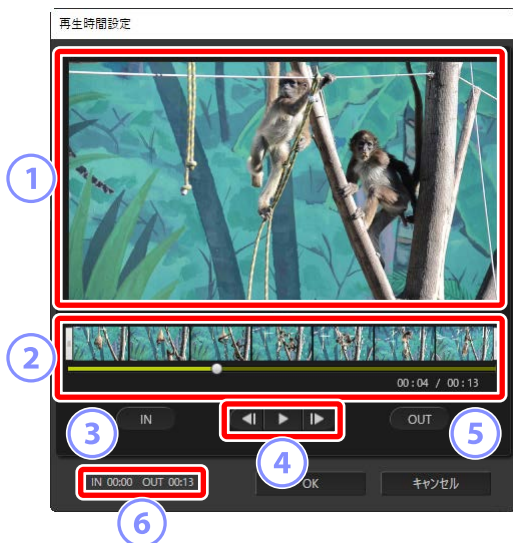
素材として使用する動画の必要な範囲を指定できます。生成された動画では、指定した部分だけが再生されます。

## ■ 範囲指定を行う動画を選ぶ

素材の動画はストーリーボードに  アイコンが表示されます。動画にカーソルを合わせて  をクリックすると、[再生時間設定] ダイアログが表示されます。



## ■ [再生時間設定] ダイアログ







- ① **プレビュー表示エリア**  
動画を再生して開始点や終了点を確認します。
- ② **動画展開表示エリア**  
動画全体の流れがわかるように7つに分けてサムネイル表示します。左右のハンドル(☐)をスライドさせて開始点・終了点の位置を設定します。
- ③ **[IN] ボタン**  
動画再生中にクリックすると、再生スライダー(◼)の位置で開始点を設定します。
- ④ **コマ戻し / 再生 (一時停止) / コマ送り**  
プレビューをコマ戻し / 再生 (一時停止) / コマ送りします。
- ⑤ **[OUT] ボタン**  
動画再生中にクリックすると、再生スライダー(◼)の位置で終了点を設定します。
- ⑥ **開始点、終了点の位置 (時間)**  
範囲指定した動画の開始タイム、終了タイムを表示します。

## ■ 必要な範囲を設定する

使用する範囲の始点と終点を「再生時間設定」ダイアログで指定できます。動画展開表示エリアの左右のハンドルをスライドさせて開始点・終了点の位置を設定します。[OK] をクリックすると使用する範囲を決定します。

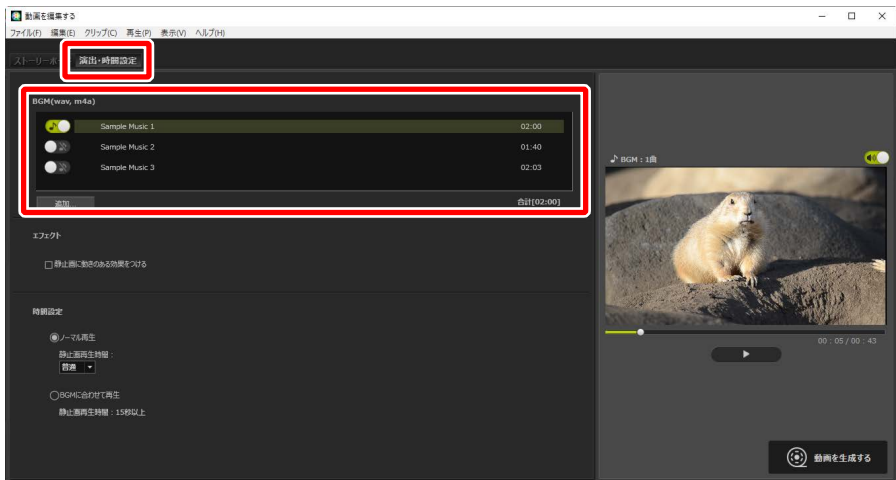




- プレビュー表示エリアで再生されている位置は、再生スライダー（)で表示されます。
- 現在の再生位置（時間）と全再生時間が動画展開表示エリアの右下に表示されます。
- 再生ボタン（)をクリックして選択した範囲の内容を確認できます。
- コマ戻し（)またはコマ送り（)で位置を微調整できます。微調整した位置で [IN] ボタンをクリックすると開始位置を、[OUT] ボタンをクリックすると終了位置を修正できます。
- 一度範囲指定した動画の場合、開始点と終了点を動画展開表示エリアの左端と右端に移動して [OK] をクリックすると、範囲指定を解除できます。



# 作成中の動画に BGM を付ける

[演出・時間設定] タブで作成中の動画に BGM を付けることができます (☞ [「\[演出・時間設定\] タブ」](#) 176 ページ)。



- BGM リストにある音楽ファイルの  をクリックしてオン (  ) にすると、その曲を BGM として使用します。
- リストにはあらかじめサンプルの音楽ファイルが 3 つ登録されています。
- 音楽ファイルは複数使用できます。BGM の合計再生時間がリストの右下に表示されます。
- 動画再生の終了時に BGM はフェードアウトします。BGM の再生時間が動画の再生時間よりも短い場合は、繰り返し BGM を再生します。
- 音楽ファイルをドラッグして、再生順を並び替えられます。リストの上にある音楽ファイルから再生されます。
- [追加] をクリックすると、音楽ファイルを最大 10 曲までリストに登録できます。登録できる音楽ファイル形式は、WAV、AAC です。16bit を超える WAV ファイルは登録できません。
- 追加した音楽ファイルを右クリック (macOS は control キーを押しながらクリック) して [削除] を選ぶと、リストから削除できます。サンプルの音楽ファイルはリストから削除できません。

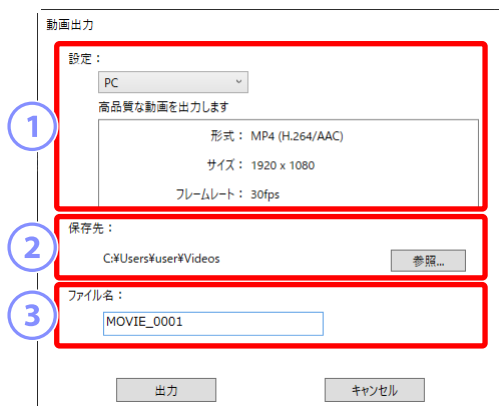
### 🔍 BGM の再生について

---

素材の動画に含まれている音声は、BGM と重なって再生されます。[クリップ] メニューで [すべてのビデオの音量を 0 にする] を選ぶと、素材の動画の音声を消して BGM だけ再生します。[ビデオの音量をデフォルトに戻す] を選ぶと、音量を元に戻せます。

# 作成中の動画の出力設定を行って生成する

[動画を生成する] をクリックすると [動画出力] ダイアログが表示されます。作成中の動画のファイル形式や画像サイズ、保存先などを設定し、[出力] をクリックすると新しい動画が保存されます。



## ① 【設定】

生成する動画の使用目的に合わせた設定を選べます。[詳細設定] 以外の項目を選んだ場合、動画のファイル形式や画像サイズ、フレームレートが自動的に設定されます。

- [PC] : 高品質な動画を出力します。60 分までの動画を出力できます。
- [YouTube] : YouTube 用に容量を抑えた動画を出力します。15 分まで、2GB 以内の動画を出力できます。
- [Web サービス] : Web サービス用に容量を抑えた動画を出力します。15 分まで、1GB 以内の動画を出力できます。
- [詳細設定] : 詳細情報が設定できます。60 分までの動画を出力できます (☐ [「\[詳細設定\] について」](#) 190 ページ)。

## ② 【保存先】

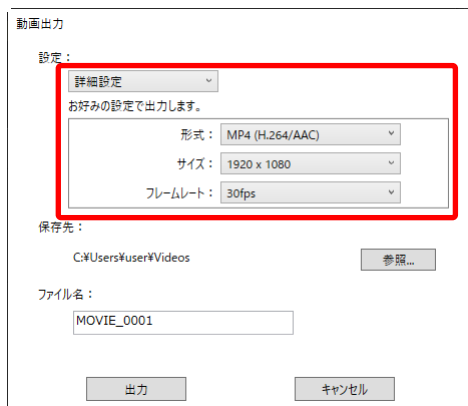
保存先のフォルダーが表示されます。[参照] をクリックすると、保存先のフォルダーを選べます。

## ③ 【ファイル名】

生成する動画のファイル名を入力できます。

## ■【詳細設定】について

【動画出力】ダイアログの【設定】で【詳細設定】を選んだ場合、ファイル形式や動画の画像サイズ、フレームレートを設定できます。



### 【形式】

ファイル形式を選べます。ビデオ圧縮形式はすべてのファイル形式で H.264 です。

- **[MP4 (H.264/AAC)]**：拡張子が .mp4、オーディオ形式が AAC に設定されます。
- **[MOV (H.264/AAC)]**：拡張子が .mov、オーディオ形式が AAC に設定されます。ファイル容量を小さくしたい場合におすすめします。
- **[MOV (H.264/Linear PCM)]**：拡張子が .mov、オーディオ形式が リニア PCM に設定されます。

### 【サイズ】

動画の画像サイズを選べます。

### 【フレームレート】

出力する動画の 1 秒あたりのコマ数を選べます。

## 📝 フレームレートについて

---

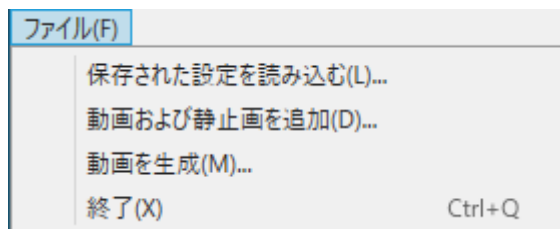
各フレームレートの1秒あたりの実際の数値は次の通りです。

- [60fps] : 59.94 コマ / 秒
- [50fps] : 50 コマ / 秒
- [30fps] : 29.97 コマ / 秒
- [25fps] : 25 コマ / 秒
- [24fps] : 23.976 コマ / 秒

# 【動画を編集する】ウィンドウのメニュー一覧

【動画を編集する】ウィンドウで使用できるメニューは次の通りです。

## 【ファイル】メニュー



### 【保存された設定を読み込む】

一時保存された復元用ファイルを読み出します（☐ [「作成中の動画を一時保存する / 一時保存した動画を復元する」](#) 172 ページ）。

### 【動画および静止画を追加】

ストーリーボードに素材の静止画または動画を追加します。

### 【動画を生成】

新しい動画を生成します（☐ [「作成中の動画の出力設定を行って生成する」](#) 189 ページ）。

### 【終了】（Windows のみ）

【動画を編集する】ウィンドウを閉じます。現在作成中の動画が保存されていないときは、保存の確認画面が表示されます（☐ [「作成中の動画を一時保存する / 一時保存した動画を復元する」](#) 172 ページ）。

## [Movie Editor] メニュー (macOS のみ)



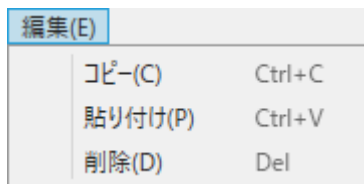
### [Movie Editor について]

バージョンの確認ができます。

### [Movie Editor を終了]

[動画を編集する] ウィンドウを閉じます。

## [編集] メニュー



### [取り消す] / [やり直す] (macOS のみ)

テキスト編集の取り消し、やり直しを行えます。

### [コピー]

ストーリーボードで選択した静止画、動画、またはメッセージクリップをコピーします。

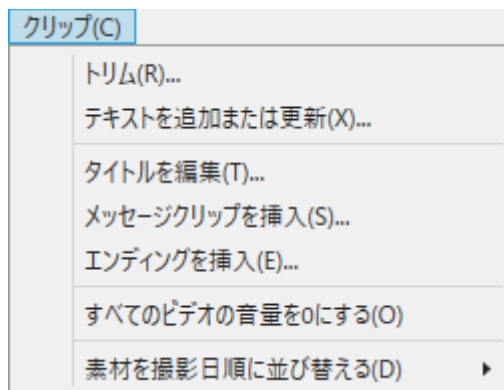
### [貼り付け]

コピーした静止画、動画、またはメッセージクリップをストーリーボードに貼り付け（ペースト）します。

### [削除]

選択した画像、動画、またはメッセージクリップをストーリーボードから削除します。

## [クリップ] メニュー



### [トリム]

ストーリーボードで素材となる動画を選んでいるときに表示されます。選択すると、[\[再生時間設定\] ダイアログ](#)を表示します（[☐ \[\[再生時間設定\] ダイアログ\]](#) 185 ページ）。

### [テキストを追加または更新]

ストーリーボードで素材となる静止画または動画を選んでいるときに表示されます。選択すると、[\[テキスト設定\] ダイアログ](#)を表示します（[☐ \[作成中の動画に文字情報を追加する\]](#) 179 ページ）。

### [タイトルを挿入]

作成中の動画の先頭にタイトルを追加します。すでにタイトルがある場合は、[\[タイトルを編集\]](#) と表示されます（[☐ \[タイトル/エンディングを挿入する\]](#) 179 ページ）。

### [メッセージクリップを挿入]

作成中の動画にメッセージクリップに追加します。メッセージクリップはストーリーボード上で選択状態になっている素材の前に挿入されます（[☐ \[メッセージクリップを挿入する\]](#) 180 ページ）。

### [エンディングを挿入]

作成中の動画の最後にエンディングを追加します。すでにエンディングがある場合は、[\[エンディングを編集\]](#) と表示されます（[☐ \[タイトル/エンディングを挿入する\]](#) 179 ページ）。



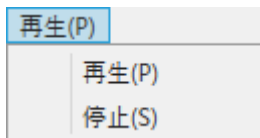
## 【すべてのビデオの音量を 0 にする】 / 【ビデオの音量をデフォルトに戻す】

ストーリーボード上のすべての動画の音量を消して BGM だけ再生します。設定後に追加した動画の音量も再生されません。【ビデオの音量をデフォルトに戻す】 を選ぶと動画の音量を元に戻します。

## 【素材を撮影日順に並び替える】

ストーリーボード上の素材を、撮影日順に並び替えます。

## 【再生】 メニュー



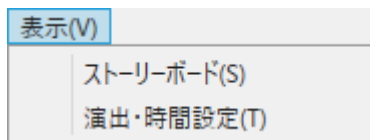
### 【再生】

編集中の動画をプレビューエリアで再生します。再生中は項目名が【一時停止】に変わります。

### 【停止】

プレビューの再生を停止します。

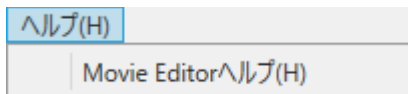
## 【表示】 メニュー



## 【ストーリーボード】 / 【演出・時間設定】

それぞれのタブを表示します。

## 【ヘルプ】メニュー



### **【Movie Editor ヘルプ】**


ヘルプを表示します。

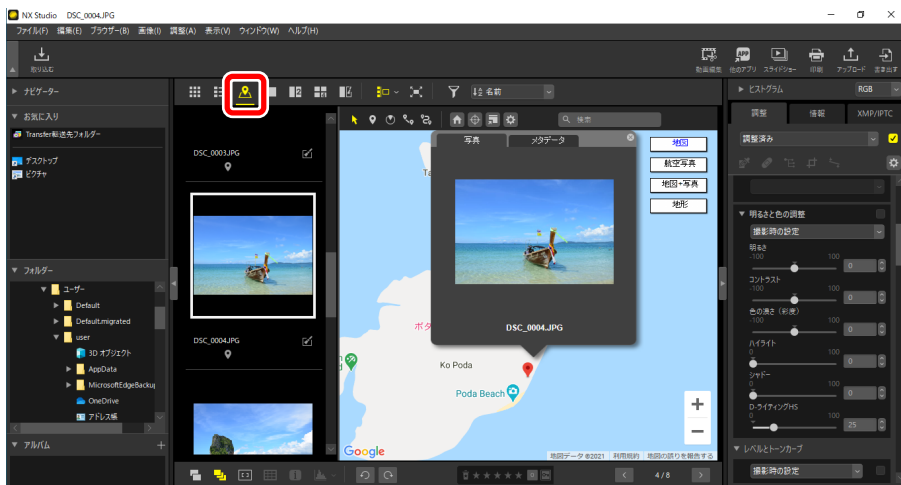
# 位置情報を活用する

- 📖 [位置情報を使用してできること](#)
- 📖 [地図ツールバーについて](#)
- 📖 [地図上に撮影地点を表示する](#)
- 📖 [位置情報を編集する](#)
- 📖 [方位情報を追加する](#)
- 📖 [撮影ルートを表示する](#)
- 📖 [位置情報ログを読み込む](#)
- 📖 [位置情報からキーワードを検索する](#)

# 位置情報を使用してできること

位置情報機能を持ったカメラの場合、撮影時の緯度、経度、標高、UTC（協定世界時）を画像に記録できます。また、位置情報ユニットや SnapBridge アプリを使用しても画像に位置情報を記録できます。

ビューアーの画像表示方法を地図表示（）にすると、インターネットの地図サービスを使用して、地図上に撮影地点を表示できます。



## 地図上に撮影地点を表示する

撮影時に画像に記録された位置情報をもとに、撮影地点を地図上に表示します（[□ 「地図上に撮影地点を表示する」](#) 204 ページ）。

### ■ 位置情報を修正する

画像に記録された位置情報を手動で修正できます（[□ 「位置情報を編集する」](#) 207 ページ）。

### ■ 位置情報を追加する

撮影時に位置情報を記録されていない画像に、位置情報を手動で追加できます（[□ 「位置情報を追加する」](#) 210 ページ）。

## ■ 方位情報を追加する

方位情報を追加および編集できます (☞ [「方位情報を追加する」](#) 213 ページ)。

## ■ 撮影ルートを表示する

位置情報を記録した画像を複数選んで、撮影地点間のルートを表示できます。

## ■ 撮影ルートを直線で結ぶ

撮影地点の間を直線で結べます (☞ [「撮影ルートを直線で結ぶ」](#) 216 ページ)。

## ■ 撮影ルートに沿って地図をスクロールする

撮影ルートに沿って画像を順番に表示して、地図と画像から撮影の足取りを振り返ることができます (☞ [「ルートに沿って地図をスクロールする」](#) 217 ページ)。

## ■ 位置情報ログを読み込む

位置情報ログの取得に対応したカメラや携帯電話、市販の受信機などで保存した位置情報のログを読み込みます (☞ [「位置情報ログを読み込む」](#) 219 ページ)。

## ■ 位置情報ログをもとに位置情報を追加する

読み込んだ位置情報ログファイルを使用して、位置情報ログが取得された日時をもとに画像に位置情報を追加できます (☞ [「位置情報ログをもとに位置情報を追加する」](#) 222 ページ)。

## ■ 位置情報ログに高度・水深情報ログを結合する

位置情報ログに高度・水深情報ログを結合します (☞ [「位置情報ログに高度・水深情報ログを結合する」](#) 228 ページ)。

## 位置情報からキーワードを検索する

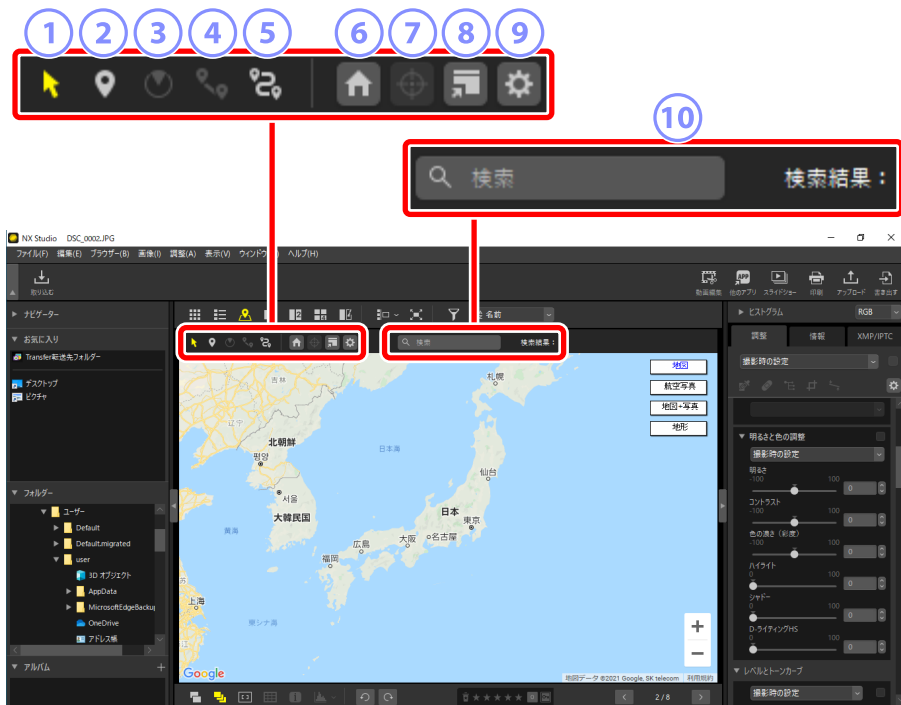
画像に記録された位置情報をもとにインターネットからキーワードを検索し、メタデータとして画像に埋め込みます（☞ [「位置情報からキーワードを検索する」](#) 231 ページ）。

## ▼地図表示機能使用時のご注意

- 地図の表示に Google マップを使用しています。
- メタデータを編集するときに Wikipedia からキーワードを取得するサービスを使用しています。
- 地図表示機能を使用するには、インターネットに接続できる環境が必要です。
- 地図表示機能をご利用の際に生じたお客様ご自身または第三者の損害その他の問題について、株式会社ニコンでは一切の責任を負いません。
- 地図表示機能で使用しているオンライン地図サービスとキーワードを取得するサービスは、第三者提供によるため、予告なく変更・終了となる場合があります。
- 地図表示機能のご利用にともない、経度緯度情報がサービス提供元のサーバーへ送信されます。
- Google マップをご利用の際には、必ず利用規約をお読みください。Google マップの利用規約は地図上にリンクとして表示されています。
- 株式会社ニコンでは、Google マップのご利用についてはサポートしていません。
- 位置情報の追加・編集は、静止画像ファイル (NEF、NRW、JPEG、TIFF) にのみ行うことができます。
- 位置情報の精度によっては、地図上に表示される位置は実際の撮影地点と異なる場合があります。
- NX Studio は「日本測地系 (Tokyo)」または「世界測地系 (WGS-84)」を基準にした位置情報に対応しています。その他の測地系で撮影地点を記録した画像の場合、地図上に表示される位置に誤差を生じる場合があります。
- NX Studio で位置情報を編集または追加した場合は、「世界測地系 (WGS-84)」を基準にして位置情報が保存されます。
- 基準にした測地系は、調整 / 情報パレットにある **【情報】** タブの **【位置情報】** で確認できます。
- このソフトウェアは、「Geonames web services」の API を使用しています。

# 地図ツールバーについて

画像表示方法を地図表示（📍）にすると、ビューアーに地図ツールバーが表示されます。



## ① ピン選択ツール

地図上に表示される、撮影位置を表すピン（📍/📍）を選べます。

## ② 位置情報変更

位置情報を追加したり、編集したりします（☞ [「位置情報を編集する」](#) 207 ページ）。

## ③ 方位情報変更


方位情報を編集します（☞ [「方位情報を追加する」](#) 213 ページ）。

## ④ ルート表示

撮影地点を直線ルートで結んで地図に表示します（☞ [「撮影ルートを表示する」](#) 216 ページ）。




## ⑤ ログ管理

位置情報ログファイルを選択し、地図上に移動ルートを表示します。このボタンをオン (  ) にすると、ログデータを管理するログエリアが表示されます ( [☞ \[位置情報ログを読み込む\]](#) 219 ページ)。

## ⑥ ホームポジション

地図の表示をホームポジションに戻します。ホームポジションは [環境設定] の [地図] で設定します ( [☞ \[\[地図\]\]](#) 276 ページ)。

## ⑦ ターゲット

現在選んでいる位置情報を持った画像の撮影位置のピン (  ) を、地図の中央に表示します。複数の画像またはピンを選んでいる場合、すべてのピンが地図上に収まるように地図の表示を切り換えます。

## ⑧ ブラウザーで開く

地図エリアに表示した地図を、インターネット上の地図サービスを使用して Web ブラウザーに表示します。  などのアイコンは表示されません。一部の Web ブラウザーは Google マップに対応していない場合があります。詳しくは Google マップのヘルプをご覧ください。

## ⑨ 環境設定

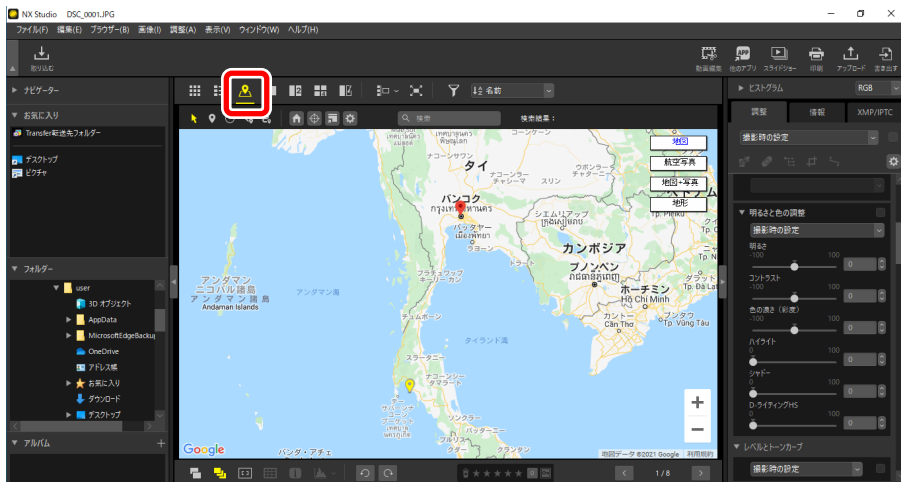
[環境設定] の [地図] を表示します ( [☞ \[\[地図\]\]](#) 276 ページ)。

## ⑩ 地図検索エリア

表示したい地名または住所を入力して地図を検索できます。地名や住所がヒットすると、その地点が地図の中央に表示されます。

# 地図上に撮影地点を表示する

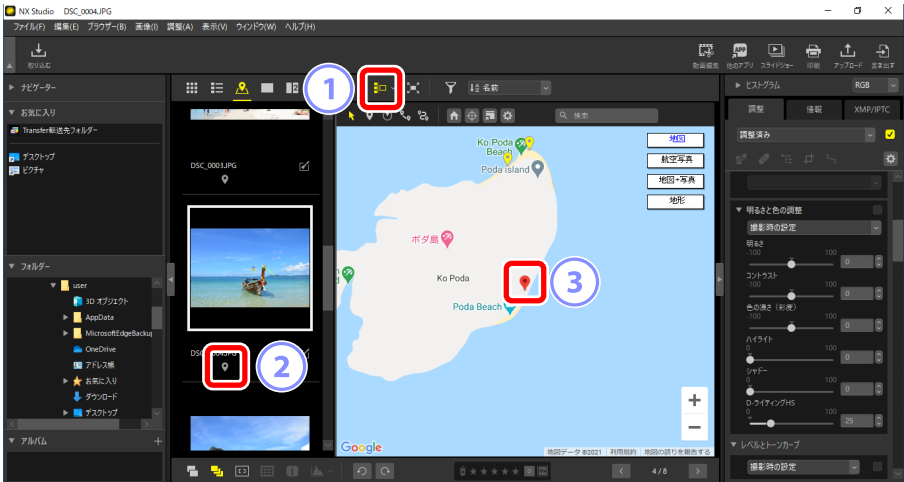
位置情報が記録されている画像が保存されているフォルダーを選び、ビューアーの画像表示方法を地図表示 (📍) にすると、表示が地図に切り換わります。地図には画像の撮影位置を表すピン(📍/📍)が表示されます。



## 📍 地図表示に切り換えたときの地図の表示について

現在のフォルダーにある位置情報を持つファイルの数や、位置情報を持つファイルの選択状態によって変わります。表示方法は[環境設定]の[地図]にある[撮影位置]で変更できます (📖 [\[\[地図\]\]](#) 276 ページ)。

ビューエリアのフィルムストリップボタン（①）でフィルムストリップを表示します。位置情報を持った画像のサムネイルには📍（②）が表示されます。画像を選ばると、その画像の撮影位置が📍（③）で地図の中央に表示されます。



- サムネイルが選ばれていない画像の位置情報は📍で表示されます。📍をクリックすると、フィルムストリップ上でサムネイルが選ばれた状態になり、📍で表示されます。
- Ctrl キー（macOS は command キー）を押しながらピンをクリックすると複数選べます。
- 地図はドラッグして表示位置を変更できます。
- 同じ位置情報を持っている画像が複数ある場合、ひとつの📍で表示されます。図の縮尺によっては、異なる位置情報でも撮影地点が近い場合はひとつの📍で表示されます。

## 地図上で画像の詳細情報を確認する

地図上の📍をクリックすると、ポップアップウィンドウが表示されて画像とメタデータを確認できます。



- [写真] タブでは縮小した画像とファイル名が表示されます。動画の場合は1コマ目を表示します。
- [メタデータ] タブではカメラ名、撮影日時など、画像に記録されたメタデータを表示します。方位やPOI(地名情報)が記録されている場合は、それらの情報も合わせて表示します。
- 同じ位置情報を持っている画像が複数ある場合や、撮影地点が近い場合はひとつの📍で表示され、◀/▶で画像を切り換えられます。
- ウィンドウ右上の✕をクリックするか地図をクリックすると、ウィンドウが閉じます。

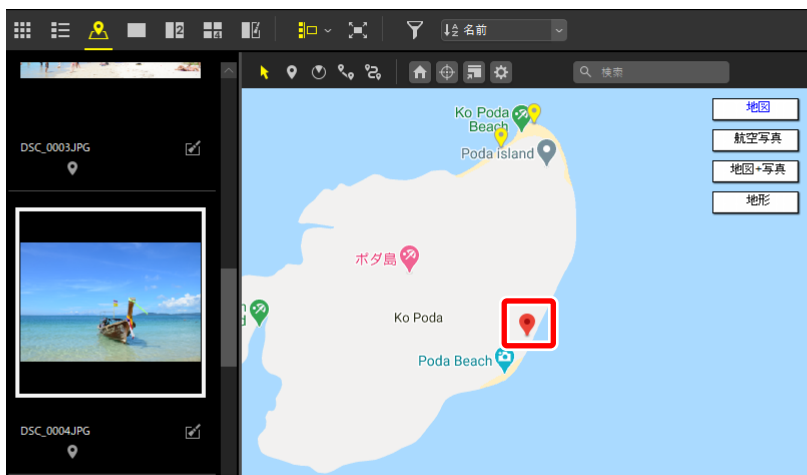
# 位置情報を編集する

画像に記録された位置情報を、地図上で確認しながら編集できます。また、撮影時に位置情報を記録していない画像でも、NX Studio を使用して手動で位置情報の追加や削除を行えます。

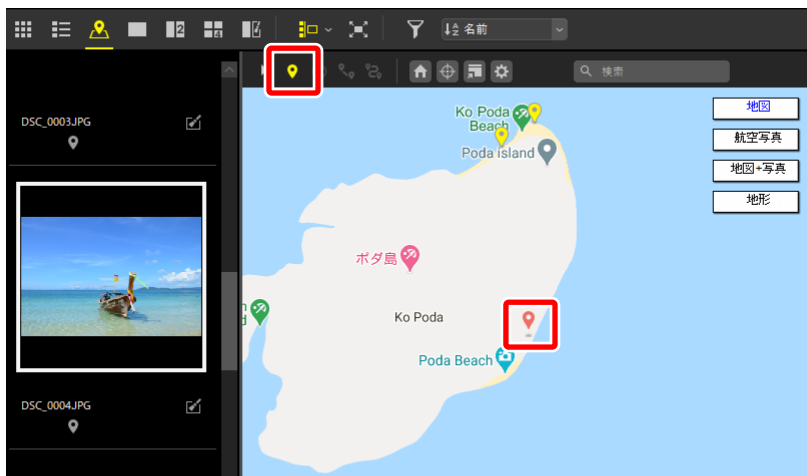
## 位置情報を修正する

画像に記録された位置情報を手動で修正できます。

1. 位置情報を修正したい画像をフィルムストリップで選ぶか、地図上のピン（📍）をクリックして選びます。位置情報を編集できるのは、一度にひとつの画像だけです。



2. 地図ツールバーで位置情報変更ボタンをオン (📍) にします。ピンが📍から📍に変わります。



3. 変更したい位置にピンをドラッグします。ドロップすると位置変更の確認ダイアログが表示されます。

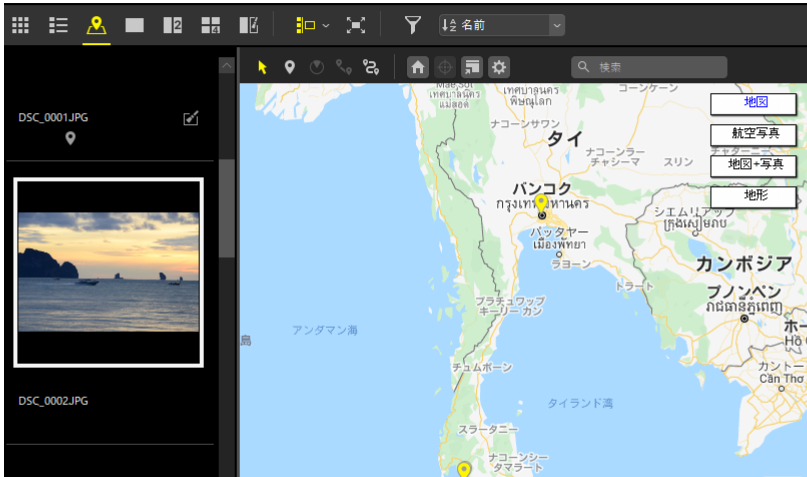




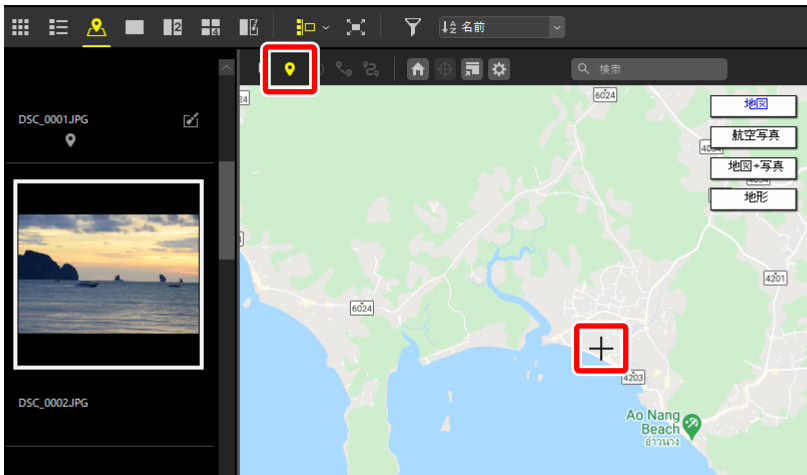
# 位置情報を追加する

撮影時に位置情報を記録していない画像に、位置情報を手動で追加します。

1. 位置情報を追加したい画像をフィルムストリップで選びます。

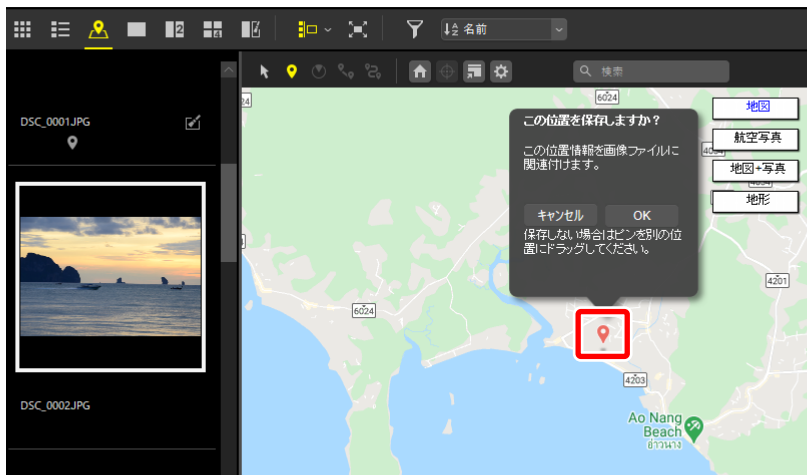


2. 位置情報を追加したい場所を地図に表示し、地図ツールバーで位置情報変更ボタンをオン（📍）にします。マウスカーソルの表示は+に変更されます。

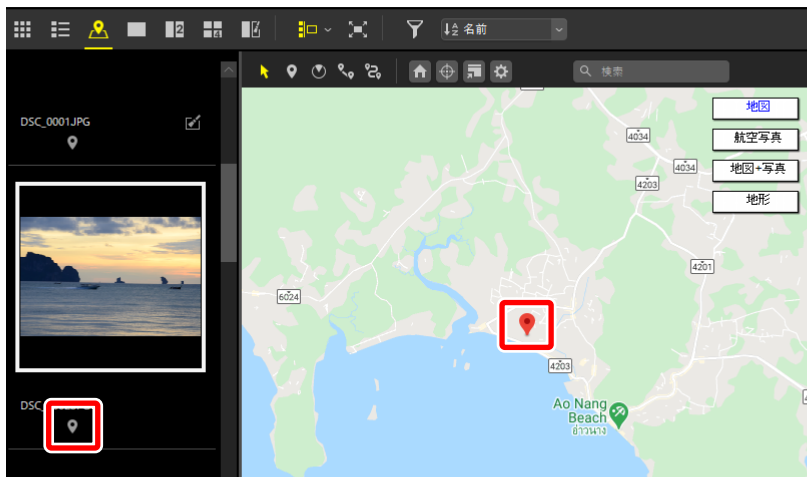




3. 位置情報を追加したい場所を地図上でクリックすると、位置情報追加の確認ダイアログが表示されます。



4. 確認ダイアログで [OK] をクリックすると、画像に位置情報が追加されます。



### 📌 位置情報を追加する場合のヒント

- 一度に複数の画像を選んで、同じ位置情報を追加することもできます。
- 他の画像の位置情報をコピーして貼り付けることもできます。位置情報を持った画像をフィルムストリップで選び、[画像]メニューにある[メタデータ]の[位置情報をコピー]を選択します。位置情報を貼り付けたい画像を選んで、[位置情報を貼り付け]（macOSは[位置情報をペースト]）を選択すると、位置情報を貼り付けられます。

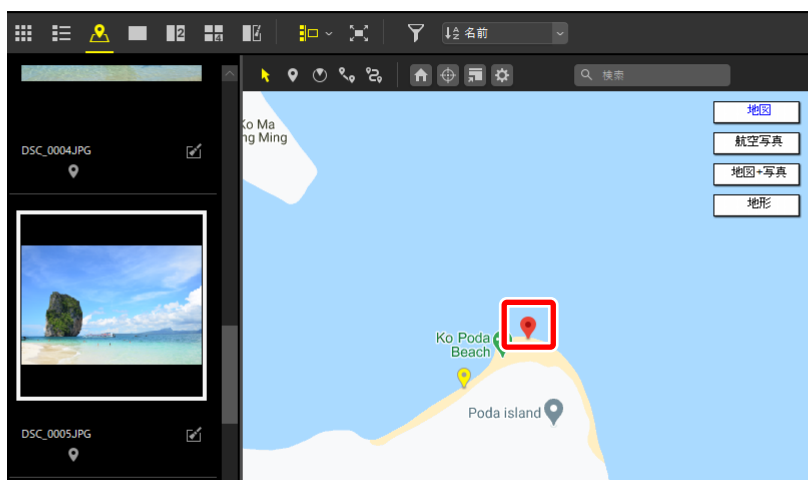
### 📌 位置情報を削除する

- 位置情報を削除したい画像をフィルムストリップで選ぶか、地図上のピン（📍）をクリックして選び、[画像]メニューにある[メタデータ]の[位置情報を削除]を選択すると位置情報を削除できます。
- 地図上のピン（📍）をクリックして位置情報を削除すると、同じ位置情報を持っていたすべての画像の位置情報が削除されます。

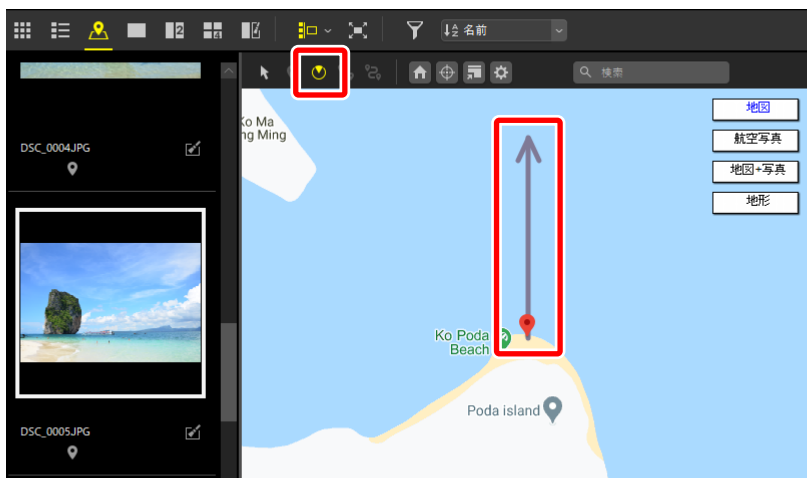
# 方位情報を追加する

画像に方位情報を追加できます。方位情報に対応したカメラで撮影した画像の場合、位置情報に含まれた方位情報を編集できます。方位情報を持った画像を選んだ場合、位置情報を表すピンが表示が📍から📍に変わります。

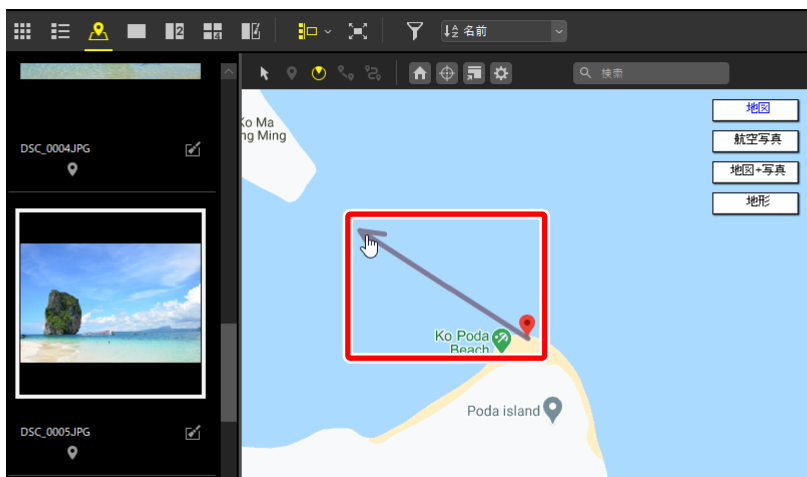
1. 方位情報を追加したい画像をフィルムストリップで選ぶか、地図上のピン（📍）をクリックして選びます。方位情報の追加または編集ができるのは、一度にひとつの画像だけです。



2. 地図ツールバーで方位情報変更ボタンをオン (📍) にすると、ピンから矢印が表示されます。すでに方位情報を持っている画像の場合は、現在記録されている方位に直線が表示されます。



3. 変更したい位置に矢印をドラッグします。



4. ドロップすると方位変更の確認ダイアログが表示されます。確認ダイアログで [OK] をクリックすると、方位情報が追加されてピンが表示が📍になります。ピンの向きは方位情報に合わせて変化します。





### ✎ 方位情報を削除する

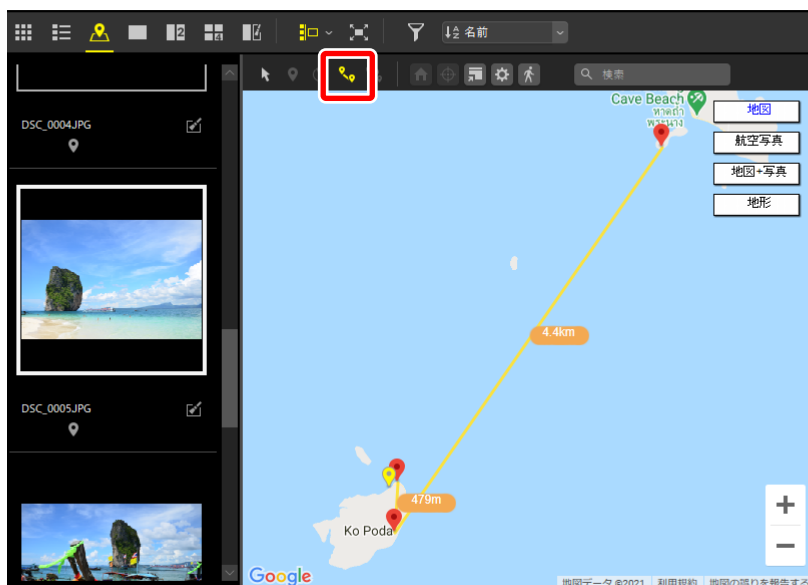
- すでに方位情報を持った画像の矢印を変更した場合、確認ダイアログに [キャンセル] [OK] に加えて [削除] が表示され、方位情報を削除できます。
- 方位情報の削除は [画像] メニューにある [メタデータ] の [方位情報を削除] から行えます。

# 撮影ルートを表示する

位置情報を記録した画像を複数選んで、撮影地点間を直線で結んで表示できます。

## 撮影ルートを直線で結ぶ





位置情報を記録した画像を複数選んで、地図ツールバーでルート表示ボタンをオン（) にすると、位置情報のピン（) が直線で結ばれ、それぞれの撮影地点間のおおよその距離が表示されます。

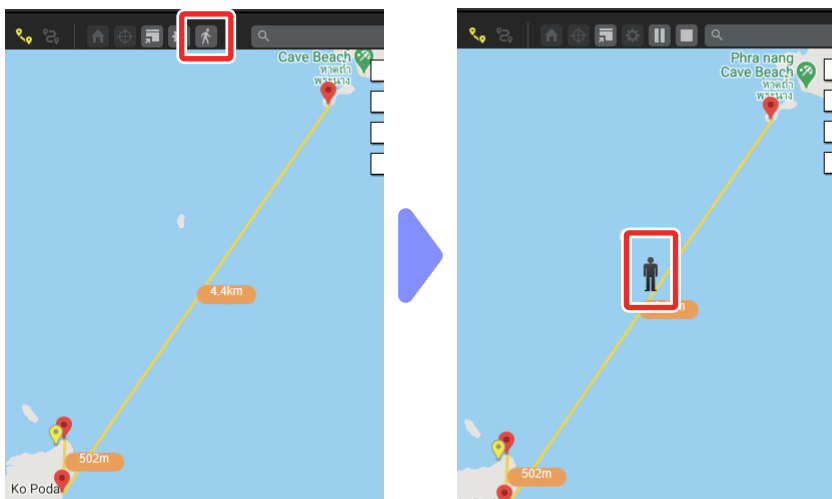


- 直線で結ばれたすべてのピンがビューエリア内に収まるように、地図の表示が変更されます。
- 直線で結ぶルートは、初期設定では撮影日時順です。[環境設定] の [地図] にある [ルート表示] で [選択順] を選ぶと、画像を選んだ順に結ばれます (☞ [「\[地図\]」](#) 276 ページ)。

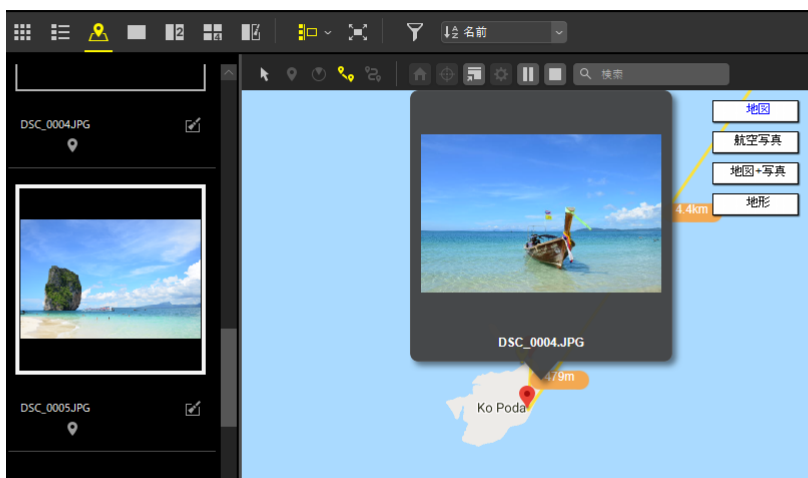
## ルートに沿って地図をスクロールする





撮影ルートを直線で結んだら、ルートに沿って人型アイコンとともに地図を自動でスクロールできます。ルートに沿って順番に画像を表示でき、地図と画像から撮影の足取りを振り返ることができます。

- 地図ツールバーでルート表示ボタンをオン（）にすると、が表示されます。をクリックすると、地図上に人型のアイコン（）が表示され、ルート上を移動します。



- 人型アイコンがピンポイントに到達すると一定時間停止し、この地点で撮影した画像をポップアップで表示します。



- ルート移動中にツールバーの  で一時停止、 で動作を終了できます。
- 人が直線で結ばれた最後の  まで到達すると、動作は終了して人は非表示になります。
- [環境設定] の [地図] にある [ルート表示] で [アイコンの移動中にポップアップを表示] のチェックを外すと、人が  に到達してもポップアップを表示しません (☞ [「\[地図\]」](#) 276 ページ)。



# 位置情報ログを読み込む

位置情報の取得に対応したカメラや携帯電話、および位置情報受信機では、一定時間おきに位置情報を衛星測位システムから取得します。取得した位置情報の記録（ログ）を保存したログファイルを NX Studio に読み込むと、移動したルートを表示できます。

## ☑位置情報のログファイルについて

ログファイルの作成方法およびパソコンへの転送方法については、それぞれのカメラや携帯電話などの説明書をご覧ください。


## 📄対応する位置情報ログについて

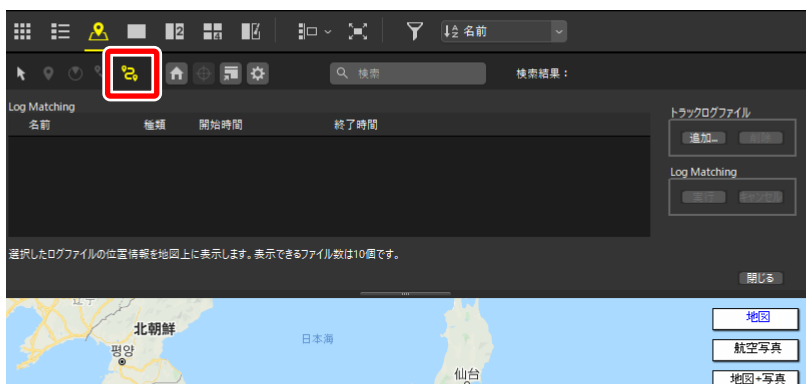
以下のログファイルに対応しています。

- NMEA ファイル（拡張子：.nmea / .nma / .log）
- GPX ファイル（拡張子：.gpx）

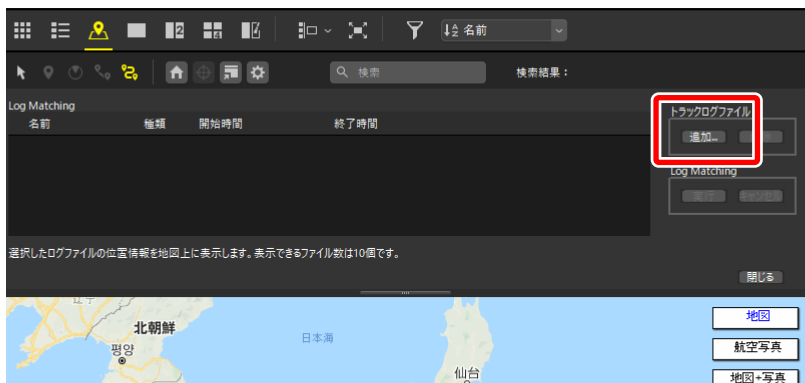
## 位置情報ログを読み込んでルートを表示する

位置情報ログファイルはあらかじめカードリーダーなどを使用してパソコンにコピーしてください。

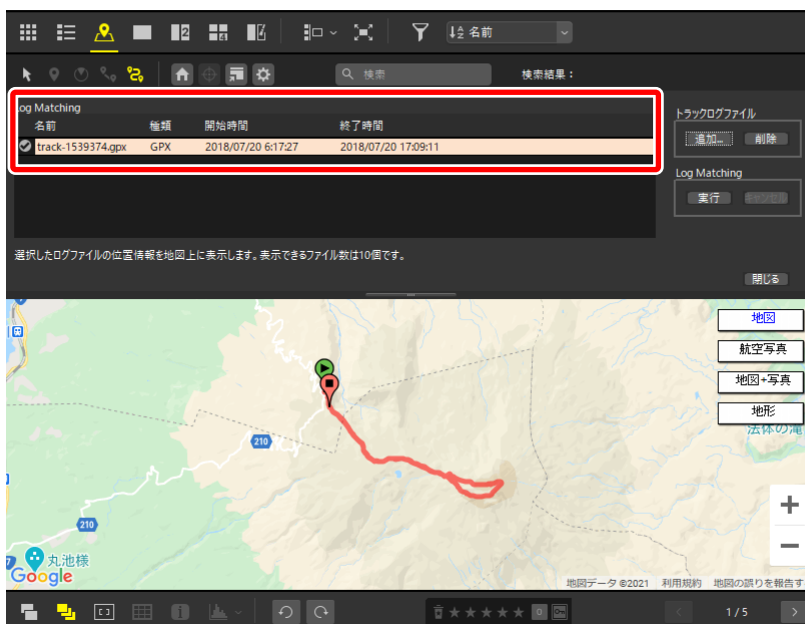
1. 地図ツールバーでログ管理ボタンをオン（)にして、[Log Matching] エリアを表示します。



2. [トラックログファイル] で [追加] をクリックすると、読み込む位置情報ログを選べます。



3. 位置情報ログが読み込まれ、地図上にルートが表示されます。ログ取得開始位置に📍、ログ取得終了位置に📍が表示されます。



### 📄 読み込む位置情報ログについて

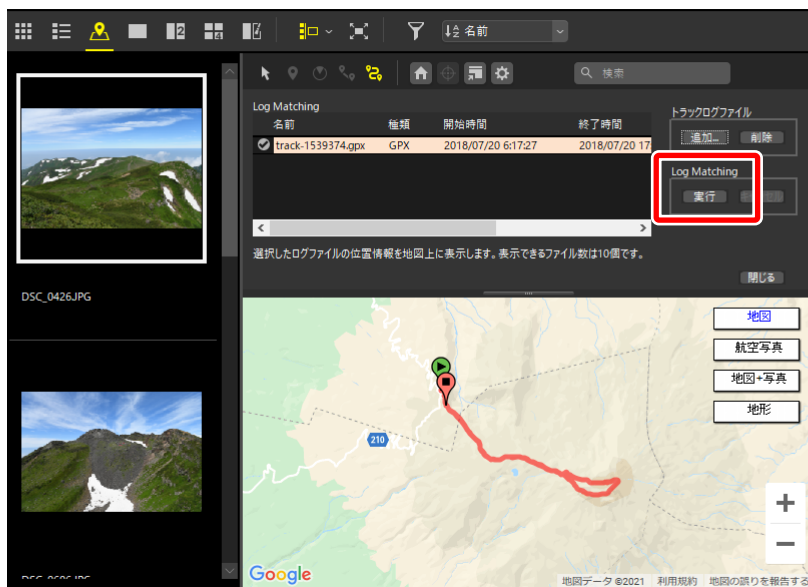
---

- 位置情報のログファイルは 10 個まで読み込めます。リストで選んだ位置情報ログのルートが地図上に表示されます。
- ログファイル名の横にあるチェックボックス()のオン/オフでルートの表示 / 非表示を切り換えられます。
- 位置情報ログをリストで選び、[トラックログファイル] の [削除] をクリックすると削除できます。

# 位置情報ログをもとに位置情報を追加する



位置情報を取得した日時と画像の撮影日時をひも付けて、画像に位置情報を追加できます。撮影時に位置情報を記録していない複数の画像に、一度に位置情報を追加できます。

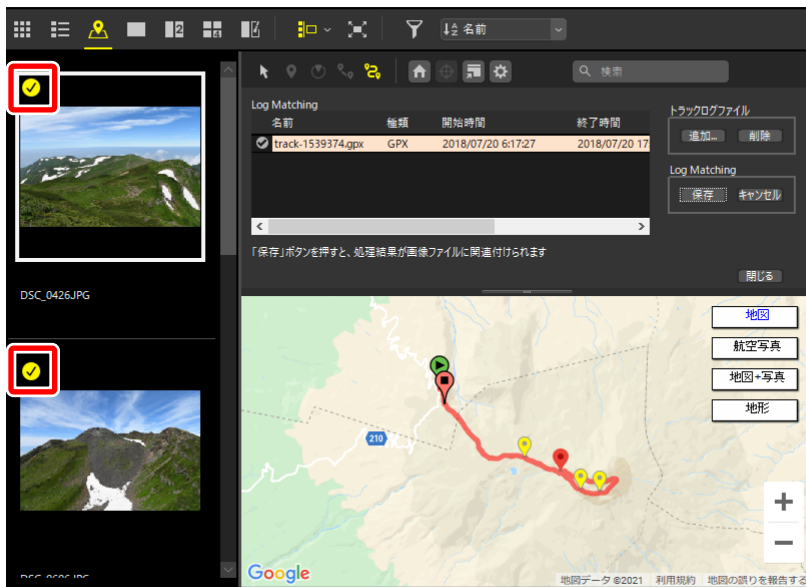
1. 読み込んだ位置情報ログと同じ日時に撮影した画像が保存されているフォルダーを選んでフィルムストリップを表示し、[Log Matching]の[実行]をクリックします。




## ☑ 位置情報を割り当てられる画像について

位置情報を割り当てられるのは、位置情報ログの記録範囲の前後 1 時間に撮影された画像です。

2. ログファイル取得中の時間に撮影された画像のサムネイルにチェックマーク  が表示され、地図上にピン  が表示されます。



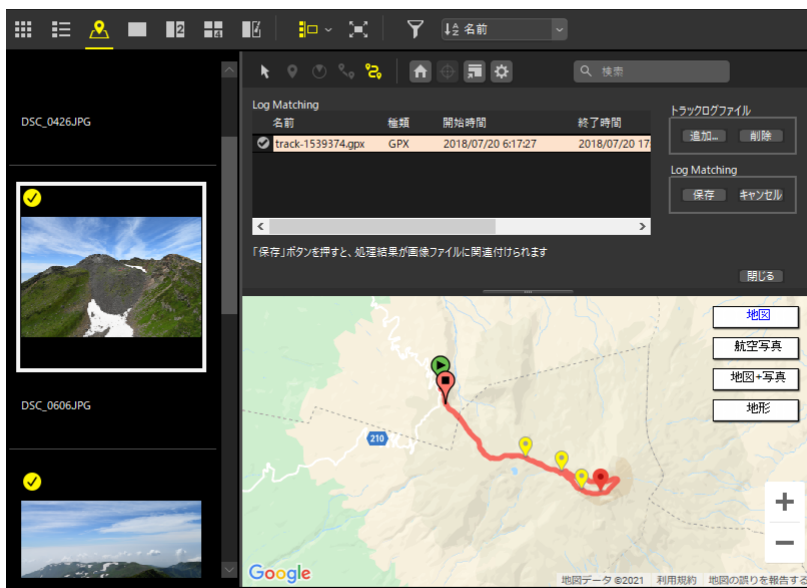
### ☑位置情報の割り当て対象外の画像について

位置情報を割り当てられない画像には、サムネイルに  が表示されます。

### ☑割り当てられるピンの位置について

位置情報を衛星測位システムから取得して、ログファイルに記録した位置をトラックポイントと呼びます。トラックポイントは一定時間おきに記録されるため、画像を撮影した日時とは異なります。初期設定では、画像の撮影日時に最も近い時間のトラックポイントを撮影地点として割り当てます。位置情報を割り当てるトラックポイントの設定は、[環境設定] の [Log Matching] で変更できます (☞ [「位置情報を割り当てる設定を変更する」](#) 226 ページ)。

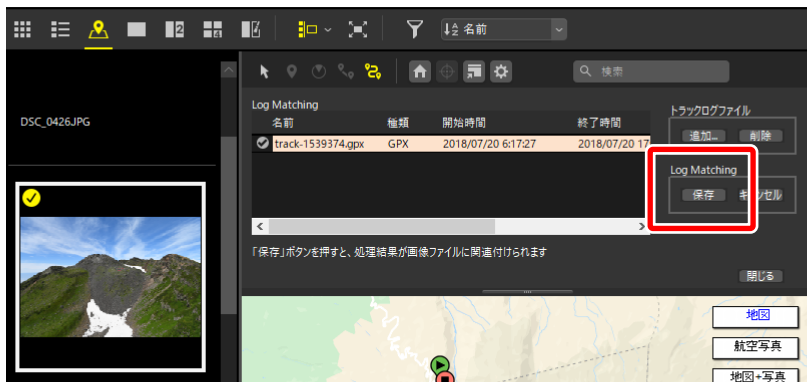
3. サムネイルをクリックすると、撮影位置を表すピンが📍で表示されます。ピンをクリックすると、その位置で撮影された画像のサムネイルが選択されます。



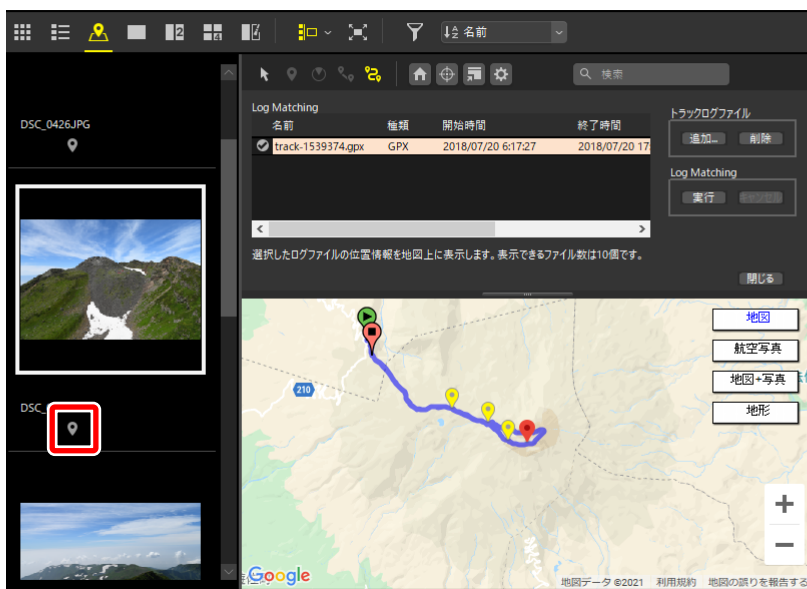
### 📌 位置情報を追加したくない画像がある場合

サムネイルのチェックマークを外すと、その画像には位置情報が追加されません。

4. [Log Matching] の [保存] をクリックし、表示されたダイアログで [はい] をクリックします。



5. 位置情報が追加され、画像のサムネイルに  が表示されます。

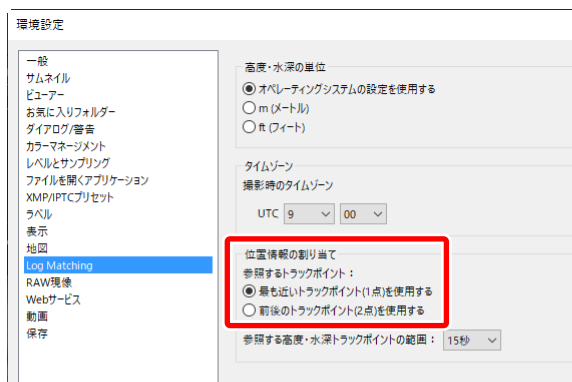


#### 追加した位置情報について

追加した位置情報は、手動で修正できます（[☞ 「位置情報を修正する」](#) 207 ページ）。

## ■ 位置情報を割り当てる設定を変更する

Log Matching の [実行] をクリックしたときに画像に割り当てられる位置情報の設定を、[環境設定] の [Log Matching] にある [位置情報の割り当て] で変更できます。



ここでは 10:30 にトラックポイント a、10:35 にトラックポイント b が記録された位置情報のログファイルを読み込んだ場合に、10:32 に撮影された画像に位置情報を割り当てる場合を例として動作を説明します。

### [最も近いトラックポイント (1 点) を使用する]

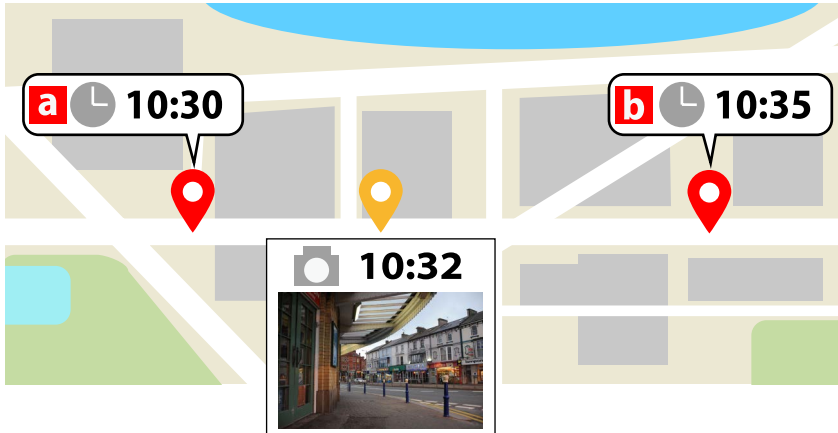
画像の撮影日時に最も近い記録時刻のトラックポイントを、画像の位置情報に割り当てます。この例では、トラックポイント a の位置情報を画像の位置情報として割り当てます。





### [前後のトラックポイント（2点）を使用する]

画像の撮影日時をはさむ2つのトラックポイントの記録時刻と、画像の撮影日時との差をもとに位置情報を計算して画像に割り当てます。この例ではトラックポイント a と b の間の  $\frac{2}{5}$  の位置を画像の位置情報として割り当てます。



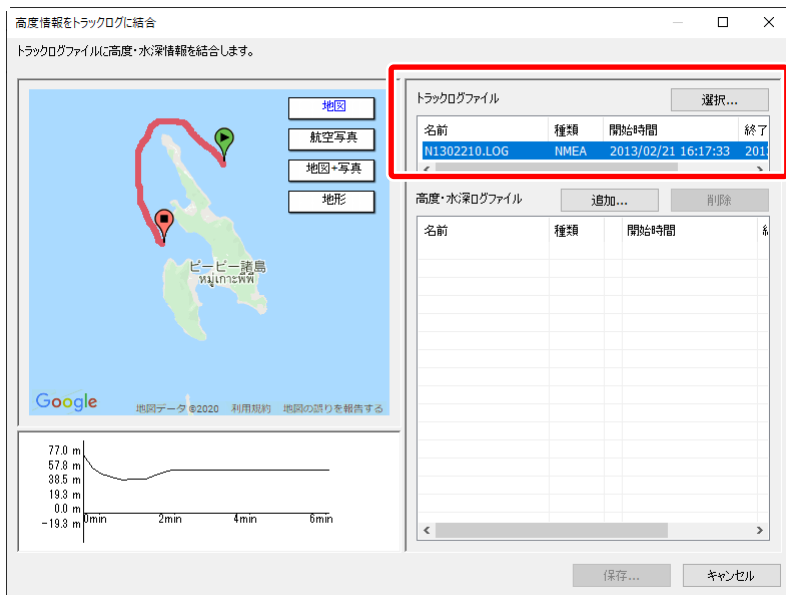
# 位置情報ログに高度・水深情報ログを結合する

位置情報ログに、ニコン製デジタルカメラで保存した高度・水深情報ログを結合します。位置情報ログのトラックポイントに、高度・水深情報が割り当てられます。

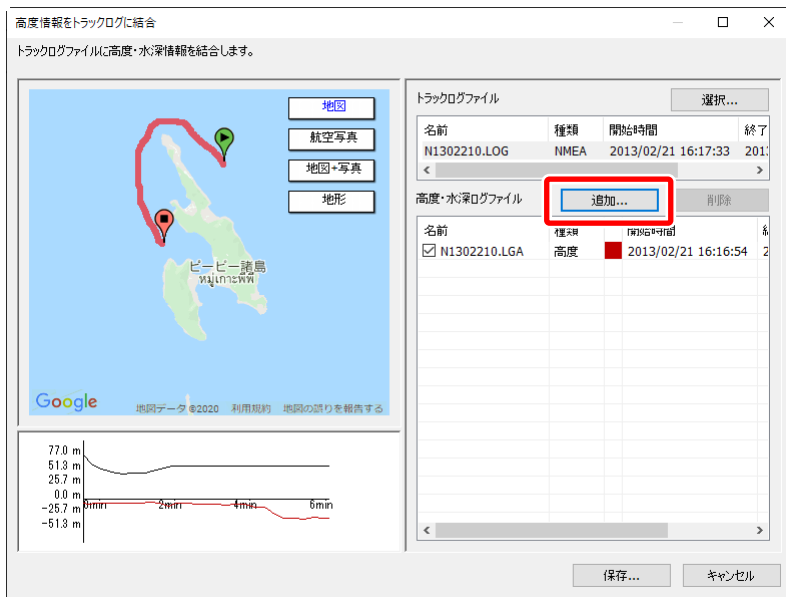
## 高度・水深情報ログについて

- ・気圧計や水深計を搭載したニコン製デジタルカメラで取得した高度・水深情報を一定時間おきに連続して記録したファイルを高度・水深情報ログと呼びます。
- ・一定時間おきに記録する位置情報および高度・水深情報の記録ポイントを「トラックログ」と呼びます。

1. [表示] メニューにある [マップ表示オプション] で [トラックログファイルに高度情報を結合] を選びます。
2. [選択] をクリックして、読み込む位置情報ログを選びます。位置情報ログファイル表示エリアに、読み込まれた位置情報ログのファイル名、ファイルの形式、記録開始・終了時刻が表示されます。



3. [追加] をクリックして、読み込む高度・水深情報ログファイルを選びます。



### 読み込む高度・水深情報ログについて

- ・高度・水深情報のログファイルは 10 個まで読み込めます。リストで選んだ位置情報ログのルートが地図上に表示されます。
- ・ログファイル名の横にあるチェックボックス (☑) のオン/オフでルートの表示/非表示を切り換えられます。
- ・高度・水深情報ログをリストで選び、[高度・水深ログファイル] の [削除] をクリックすると削除できます。

4. [保存] をクリックすると位置情報ログに高度・水深情報ログが結合され、[高度情報をトラックログに結合] 画面が終了します。

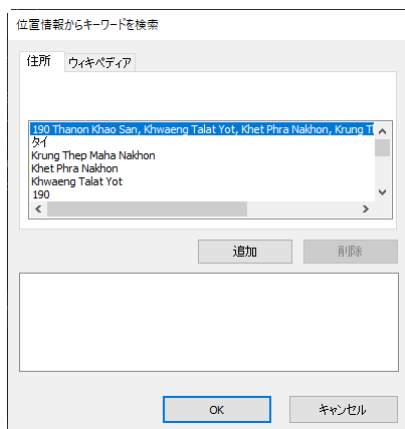
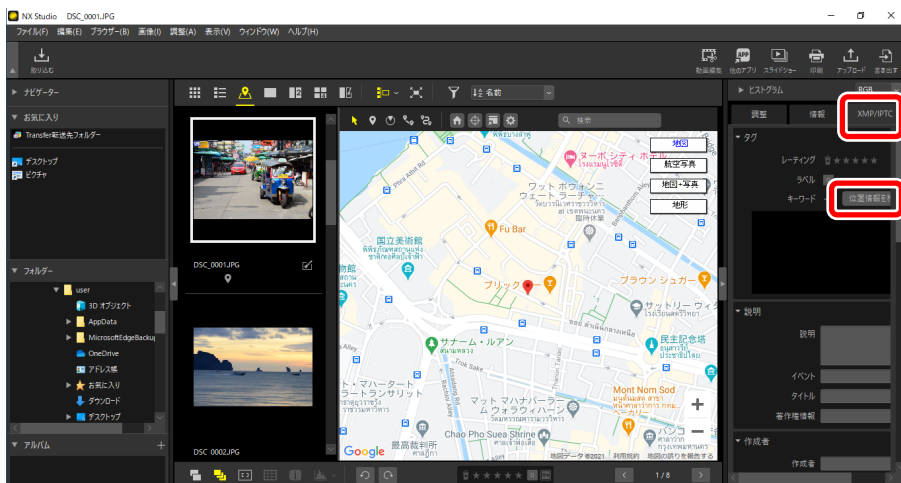
**☑ 割り当てられる高度・水深情報について**

初期設定では、位置情報のトラックポイントに最も近い時間の高度・水深情報のトラックポイントを割り当てます。高度・水深情報を割り当てるトラックポイントの設定は、[環境設定] の [Log Matching] で変更できます (☞ [「位置情報を割り当てる設定を変更する」](#) 226 ページ)。

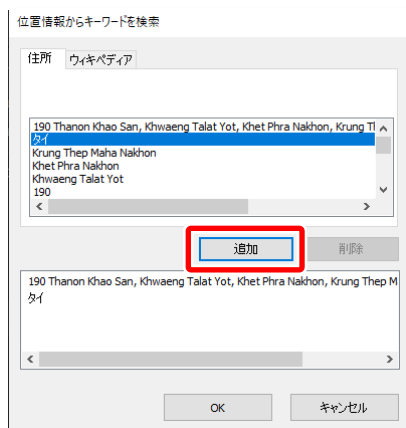
# 位置情報からキーワードを検索する

画像に記録された位置情報をもとに、撮影した地点の住所や地名、撮影した地点に関連がある用語などのキーワードをインターネットから検索できます。検索したキーワードは、メタデータとして画像に埋め込みます。

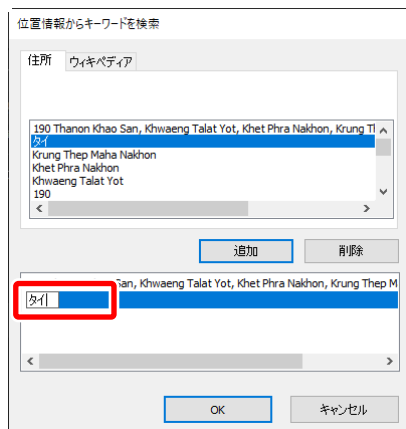
1. キーワードを検索したい画像をフィルムストリップで選ぶか、地図上のピン(📍)をクリックして選び、調整/情報パレットの[XMP/IPTC]タブにある[位置情報を利用]をクリックします。キーワードの設定画面が表示されます。



2. [住所] タブまたは [ウィキペディア] タブでメタデータとして埋め込みたいキーワードを選び、[追加] をクリックします。キーワードは 100 個まで追加できます。




3. 追加したキーワードを選んでクリックすると、内容を変更できます。また、[削除] をクリックするとリストから削除できます。



4. [OK] をクリックすると、[XMP/IPTC] タブのキーワード欄にキーワードが追加されます。画像を保存すると、キーワードも保存されます。

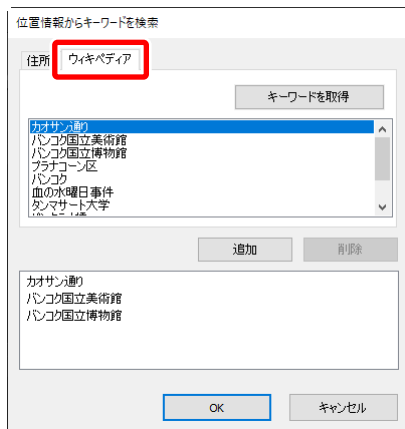


#### 設定したキーワードを削除するには

[XMP/IPTC] タブのキーワード欄に表示されたキーワードにマウスカーソルを合わせて  をクリックすると、キーワードを削除できます。

## [ウィキペディア] タブ

インターネット上の百科事典「Wikipedia」掲載ページのタイトルから検索し、キーワードとして設定できます。[キーワードを取得] をクリックすると、画像の撮影地点の周辺で Wikipedia に掲載されているページのタイトルがキーワードとして検索され、ボタンの下のリストに表示されます。



### 検索されるキーワードについて

- インターネットの接続環境または画像の撮影地点によっては、キーワードを取得できない場合があります。
- 検索結果は正確ではない場合があります。

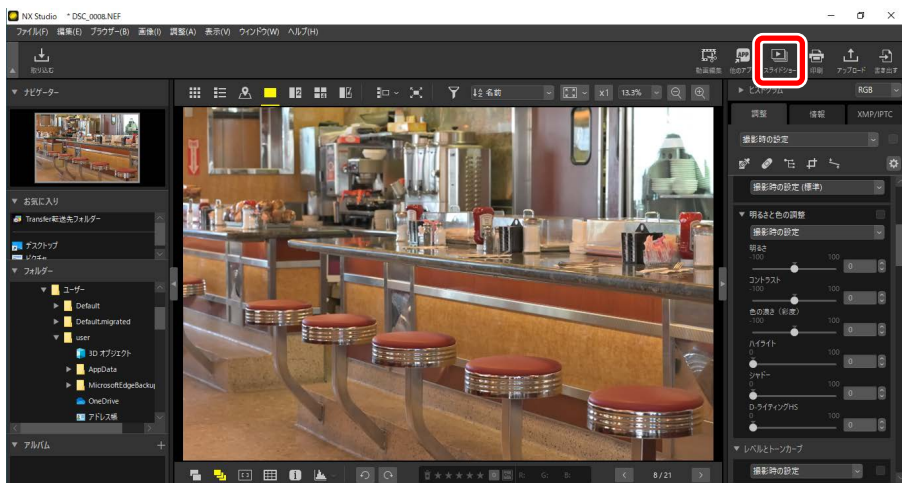


# スライドショーを見る

📖 [フォルダー内の画像をスライドショーで見る](#)

# フォルダー内の画像をスライドショーで見る

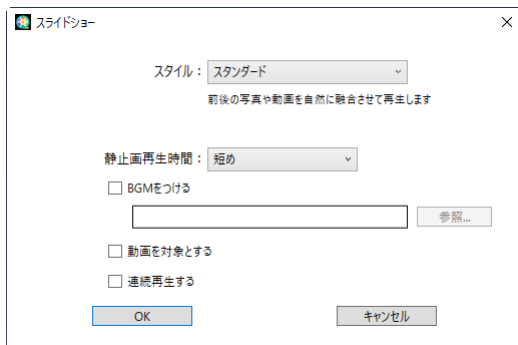
ツールバーの「スライドショー」ボタンをクリックすると、選んだ画像またはフォルダー内すべての画像をスライドショーで再生できます。



表示されるダイアログでスライドショーの設定を行い、「OK」をクリックすると設定した内容でスライドショーを開始します。

# スライドショーの設定

【スライドショー】 ダイアログでは画像を切り換える間隔や効果などを設定できます。設定完了後、【OK】 をクリックすると設定した内容でスライドショーを開始します。



## 【スタイル】

画像切り換えの効果を選べます。

## 【静止画再生時間】

静止画の切り換え時間を【短め】(約 3 秒)、【普通】(約 5 秒)、【長め】(約 10 秒) から選べます。

## 【BGM をつける】

チェックを入れると、音楽ファイルをスライドショーの BGM として設定できます。音楽ファイルは【参照】 をクリックして設定します。設定できる BGM は 1 ファイルのみです。

## 【動画を対象とする】

チェックを入れると、フォルダー内にある動画ファイルもスライドショーに含めて再生できます。

## 【連続再生する】

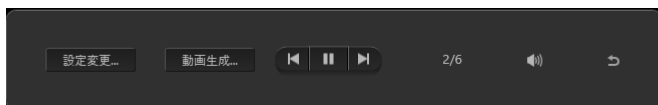
チェックを入れると、スライドショーを繰り返し再生します。

# スライドショーの操作

スライドショー再生中または終了時の操作が行えます。

## ■ スライドショー再生中の操作

画像の任意の場所をクリックするとスライドショーが終了します。スライドショー再生中にマウス操作を行うとスライドコントロールバーが表示され、スライドショーの操作を行えます。🔍 をクリックしてもスライドショーを終了できます。



### 🔍 [動画生成] について

スライドコントロールバーの [動画生成] をクリックすると動画編集画面が表示され、スライドショーで使用した素材、BGM ファイル、スタイルの情報を引き継いで動画を作成できます（🔍 [「静止画や動画を組み合わせる」](#) 168 ページ）。

## ■ スライドショー再生終了後の操作

スライドショーの再生が終了すると、ボタンが表示されます。スライドショーをもう一度再生したり、設定を変更したりできます。[保存する]をクリックすると動画編集画面が表示され、スライドショーを動画として保存できます（☞ [「静止画や動画を組み合わせる新しい動画を作成する」](#) 168 ページ）。



# Web にアップする

- 📖 [Web サービスを活用する](#)
- 📖 [NIKON IMAGE SPACE にアップする](#)
- 📖 [YouTube にアップする](#)

# Web サービスを活用する

NX Studio を使用して、静止画および動画を Web サービスに直接アップロードできます。アップロードできるのは NIKON IMAGE SPACE および YouTube です。

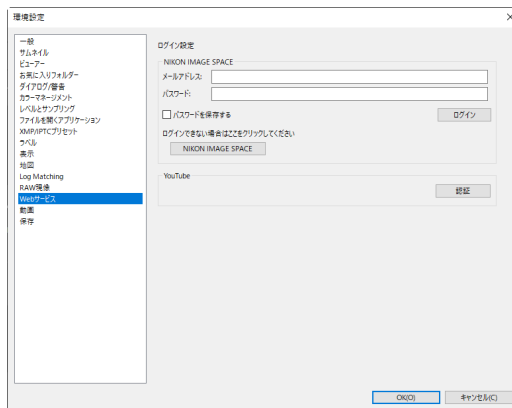
## NIKON IMAGE SPACE について

NIKON IMAGE SPACE はインターネット上で静止画や動画などのファイルを保存・管理できるニコンのサービスです。ニコン製デジタルカメラをお使いのお客様は、ニコンユーザー特典をご利用いただけます。詳しくは NIKON IMAGE SPACE のホームページをご覧ください。

<https://www.nikonimagespace.com/>

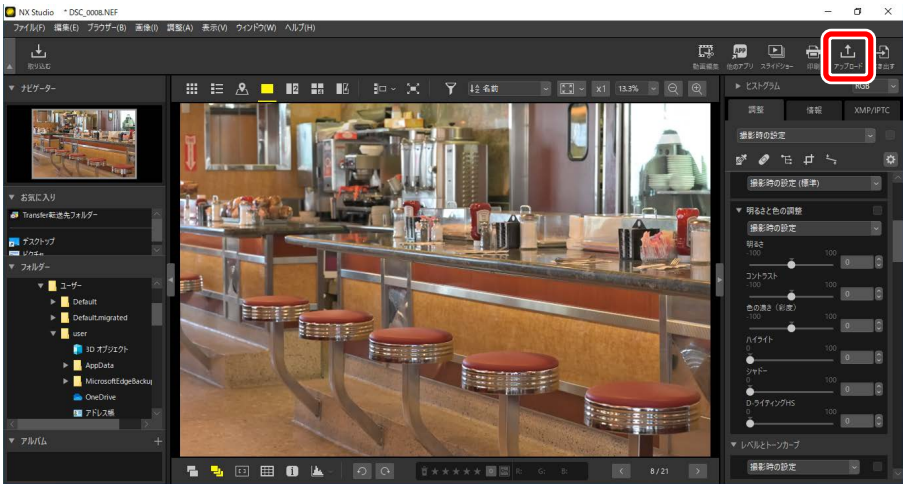
## Web サービスにログインする

画像をアップロードする前に、それぞれの Web サービスにログインする必要があります。ログインは [環境設定] の [Web サービス] で行えます (□ [「\[Web サービス\]」](#) 281 ページ)。

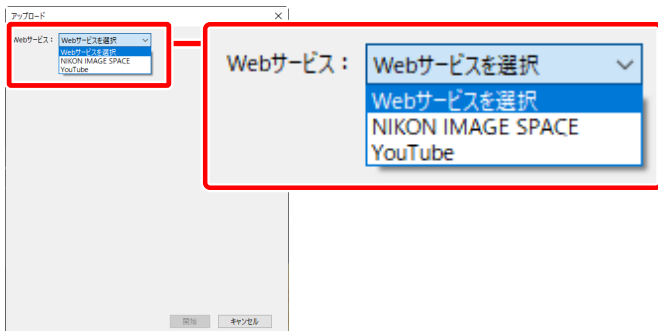


# Web サービスに画像をアップする

画像をアップするには、画像を選んでツールバーの [アップロード] ボタンをクリックします。



- Web サービスにログインしていない場合、ログインを確認するダイアログが表示されます。[ログイン] をクリックすると [環境設定] の [Web サービス] が表示されます。
- [アップロード] ボタンをクリックすると、Web サービスを選ぶダイアログが表示されます。Web サービスを選ぶと、それぞれのアップロード時の設定ダイアログが表示されます。

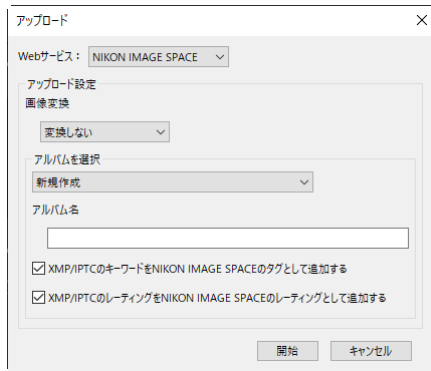


- NIKON IMAGE SPACE の場合、サムネイル表示またはフィルムストリップで複数の画像を選んでまとめてアップロードできます。



# NIKON IMAGE SPACE にアップする

Web サービスを選ぶダイアログで [NIKON IMAGE SPACE] を選ぶと、画像をアップロードする設定を行えます。



## 【アップロード設定】

NX Studio からアップロードする画像の設定を行えます。

- ・ **【画像変換】**：画像をアップロードするときの変換サイズを選べます。
- ・ **【アルバムを選択】**：画像をアップロードするアルバムを選べます。**【新規作成】** を選んだ場合は、アルバム名を設定してください。
  - **【XMP/IPTC のキーワードを NIKON IMAGE SPACE のタグとして追加する】**：チェックを入れると、調整 / 情報パレットの **【XMP / IPTC】** タブで設定している **【キーワード】** を画像のタグとして追加できます（☞ [「調整 / 情報パレット」](#) 24 ページ）。タグは NIKON IMAGE SPACE 内で検索キーワードとして使用できます。
  - **【XMP/IPTC のレーティングを NIKON IMAGE SPACE のレーティングとして追加する】**：チェックを入れると、画像に設定しているレーティングを付けてアップロードできます（☞ [「レーティングを付ける」](#) 65 ページ）。

## 【開始】

クリックすると、設定した内容で NIKON IMAGE SPACE に画像をアップロードします。

## 【キャンセル】

画像のアップロードを中止します。

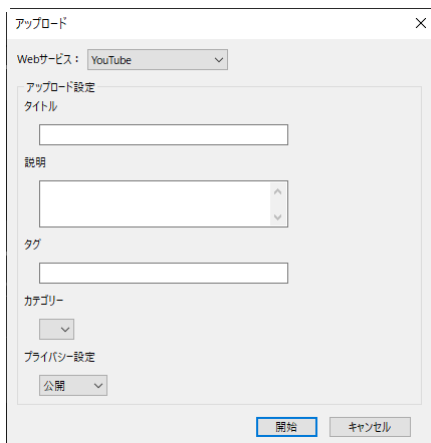
### ■ アップロードできるファイル形式について

---

アップロードできるファイル形式については、NIKON IMAGE SPACE のヘルプをご覧ください。

# YouTube にアップする

Web サービスを選ぶダイアログで [YouTube] を選ぶと、動画をアップロードする設定を行えます。



## [アップロード設定]

NX Studio からアップロードする動画の設定を行えます。

- ・ [タイトル] / [説明] : 動画のタイトルと説明文を入力します。
- ・ [タグ] : 動画のタグを設定できます。
- ・ [カテゴリー] : 動画のカテゴリーを選べます。
- ・ [プライバシー設定] : 公開の範囲を設定できます。

## [開始]

クリックすると、設定した内容で YouTube に動画をアップロードします。

## [キャンセル]

動画のアップロードを中止します。

### ☑ YouTube に動画をアップするときのご注意

---

- 15 分以内の動画のみアップロードできます。
- NX Studio からアップロードできるのは 1 回につき 1 ファイルのみです。

### 📎 アップロードできるファイル形式について

---

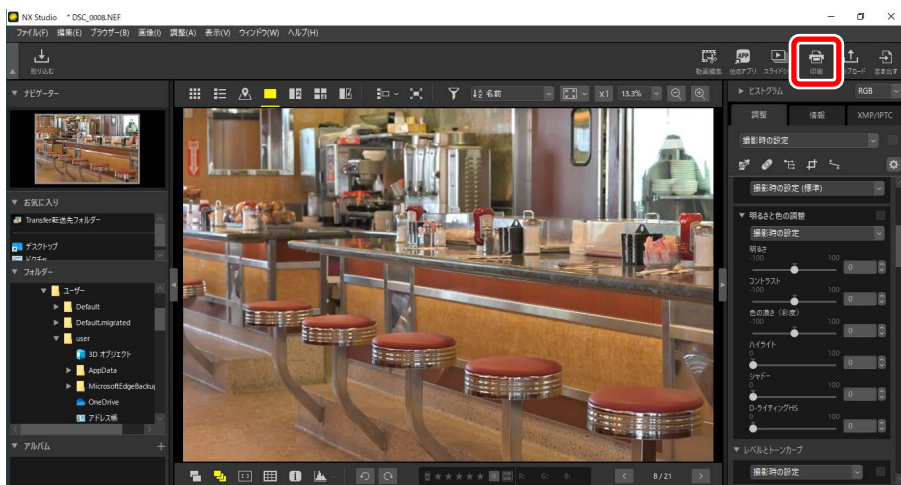
YouTube にアップロードできるファイル形式は MOV、AVI、MP4 です。

# 印刷する

- 📖 [画像を印刷する](#)
- 📖 [情報を印刷する](#)
- 📖 [インデックスプリントで印刷する](#)

# 画像を印刷する

ツールバーの [印刷] をクリックすると、パソコンに接続しているプリンターから画像を印刷できます。



プリンターの設定などを行い、[印刷] ボタンをクリックすると、プレビューされているレイアウトで印刷が開始されます。

## 印刷について

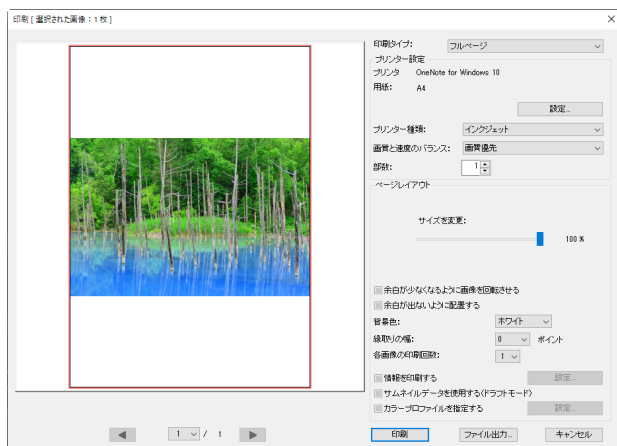
- ・ [ファイル出力] ボタンをクリックすると、プレビューされているレイアウトの JPEG ファイルを保存できます。
- ・ 印刷の設定は、次回の印刷時に、前回印刷した内容が保存されています。

## セイコーエプソン社製のプリンターをお使いの場合

セイコーエプソン社製のユーティリティー E-Photo や、プラグイン Epson Print Layout をインストールすると、ツールバーに [EPSON 写真印刷] または [Epson Print Layout] のアイコンが表示され、NX Studio から起動できます。E-Photo および Epson Print Layout の詳しい使い方は、セイコーエプソン社の使用説明書やホームページをご覧ください。

# 印刷設定

使用するプリンターや画像のレイアウトを設定します。



## [印刷タイプ]

用紙 1 枚に画像を 1 つまたは複数配置するパターンを設定します。

- [フルページ]：用紙 1 枚に 1 つの画像を印刷します。
- [インデックスプリント]：用紙 1 枚に複数の画像を並べて印刷します (☞ [「インデックスプリントで印刷する」](#) 256 ページ)。
- [標準写真サイズ]：画像を規定のサイズに拡大または縮小して配置し、印刷します。規定のサイズを [ページレイアウト] の [写真サイズ] から選んでください。用紙 1 枚あたりに配置される画像の数は、自動で設定されます。

## [プリンター設定]

使用するプリンターの機種、印刷の品質、印刷部数などを設定します。

- ・[プリンター]：[設定] ボタンをクリックして、プリンターの設定を行ってください。設定したプリンターと用紙が表示されます。
- ・[プリンター種類]：プリンターの種類がインクジェットの場合は、[インクジェット] を選んでください。
- ・[画質と速度のバランス]：RAW 画像（NEF/NRW）を印刷するときの設定です。[速度優先] にすると、RAW 画像に埋め込まれたプレビュー（簡易表示）を使用して印刷するため、[画質優先] に比べて画質が落ちます。[印刷タイプ] を [インデックスプリント] に設定している場合、[速度優先] に固定されます。
- ・[部数]：印刷する部数を選びます。

## [ページレイアウト]

用紙に印刷する画像のレイアウトを設定します。

- ・[サイズを変更]：画像のサイズをスライダーで調整できます。
- ・[余白が少なくなるように画像を回転させる]：チェックを入れると、規定の用紙の向きに合わせて、余白を少なくするよう画像を回転します。
- ・[余白が出ないように配置する]：チェックを入れると、余白が出ないように画像と用紙の中心を自動的に合わせます。はみ出した部分はトリミングされます。
- ・[背景色]：余白の色を選びます。[ホワイト] を選ぶと、余白部分の色は印刷されません。
- ・[縁取りの幅]：配置した各画像のまわりに境界線を描くことができます。境界線の色は、[背景色] で選んだ色によって黒色または白色に自動的に設定されます。[0] を選ぶと境界線は印刷されません。
- ・[各画像の印刷回数]：同じ画像を繰り返し使用する回数を選びます。
- ・[情報を印刷する]：画像のファイル名や撮影日時、撮影情報などを画像の下に配置して印刷します（☞ [「情報を印刷する」](#) 252 ページ）。
- ・[サムネイルデータを使用する（ドラフトモード）]：画像のサムネイルデータを使って印刷を行います。印刷速度は速くなりますが、画質が低下します。画像によっては、チェックを入れても本画像を使用する場合があります。



- **[カラープロファイルを指定する]**：カラープロファイルの指定の設定を行います。**[設定]** ボタンをクリックすると、カラープロファイルの設定が行えます。
  - **[プリンタープロファイル]**：印刷するときに使用するプリンタープロファイルを設定します。
  - **[マッチング手法]**：画像に適用するマッチング手法を**[知覚的]**または**[相対的な色域]**から選びます（☐ [\[マッチング手法について\]](#) 270 ページ）。

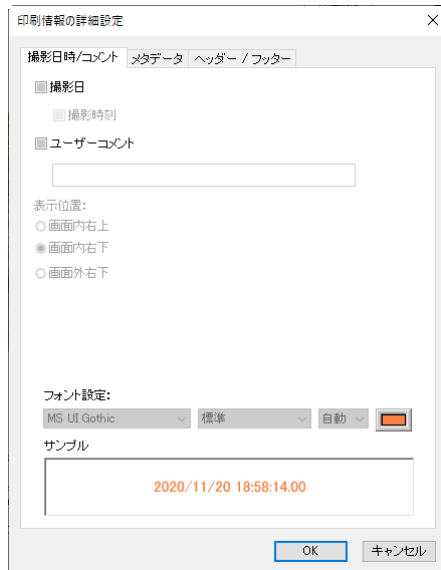


# 印刷情報設定

印刷情報設定ダイアログの [撮影日時 / コメント] タブ、[メタデータ] タブ、[ヘッダー / フッター] タブで印刷する撮影情報を設定します。

## [撮影日時 / コメント] タブ

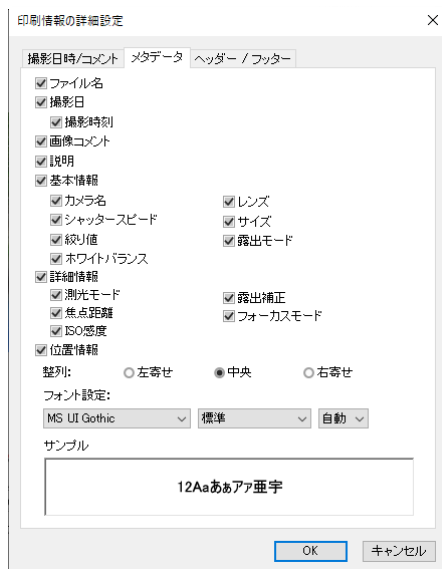
撮影した日時や任意のコメントなどを設定します。



- [撮影日]：撮影日が印刷されます。[表示位置] で印刷する位置を選んでください。
- [撮影時刻]：撮影した時刻も日付と併せて印刷されます。
- [ユーザーコメント]：テキストボックスに入力した任意の文字が印刷されます。
- [フォント設定]：印刷する撮影日（時刻）のフォントを設定します。フォント、太さ、サイズ、文字色を選んでください。
- [サンプル]：設定した内容のサンプルが表示されます。

## [メタデータ] タブ

チェックを入れた項目のメタデータが印刷されます。印刷できるのは、撮影情報の一部です。



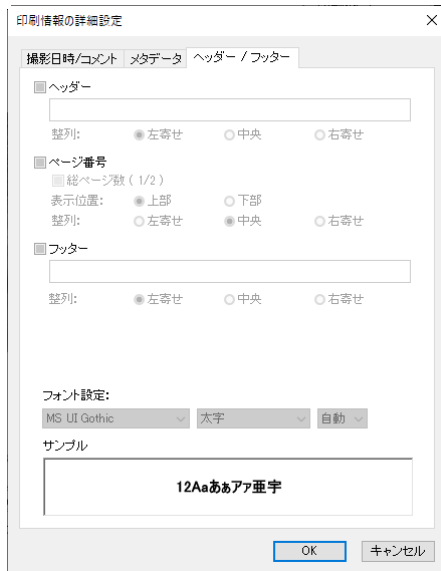
- **[フォント設定]**：印刷するメタデータのフォントを設定します。フォント、太さ、サイズを選んでください。
- **[サンプル]**：設定した内容のサンプルが表示されます。

### メタデータについて

[メタデータ] タブで印刷指定した内容は、印刷領域によっては一部が印刷されない場合があります。

## [ヘッダー / フッター] タブ

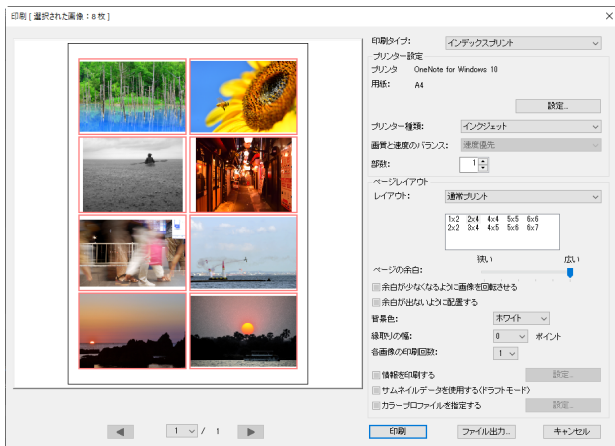
用紙の上部または下部に印刷する情報を設定します。



- **[ヘッダー]**：用紙の上部にヘッダーが印刷されます。テキストを入力し、印刷する位置を選んでください。
- **[ページ番号]**：ページ番号が印刷されます。表示する位置を選んでください。上部を選ぶとヘッダー内、下部を選ぶとフッター内に印刷されます。[総ページ数 (1/2)] にチェックを入れると、「n/ 総ページ数」の形式で印刷されます。
- **[フッター]**：用紙の下部にフッターが印刷されます。テキストを入力し、印刷する位置を選んでください。
- **[フォント設定]**：印刷するヘッダー / フッターのフォントを設定します。フォント、太さ、サイズを選んでください。
- **[サンプル]**：設定した内容のサンプルが表示されます。

# インデックスプリントで印刷する

[印刷タイプ] で [インデックスプリント] を選ぶと、用紙 1 枚に複数の画像を並べて印刷できます。用紙に配置する画像の枚数やサイズも設定できます。



## [レイアウト]

画像の並べ方を設定します。

- ・ [通常プリント] : 用紙に配置する画像の枚数を、一覧から選びます。1枚あたりの画像サイズは、用紙サイズに合わせて自動で設定されます。
- ・ [画像サイズ] : 用紙に配置する画像の1枚あたりのサイズを指定します。画像サイズの [横] と [縦] に数値を入力してください。配置される画像の数は、用紙サイズに合わせて自動で設定されます。
- ・ [列と行] : 用紙に配置する画像の列数、行数を [行] と [列] で指定して用紙に配置します。配置される画像1枚あたりのサイズは、用紙サイズに合わせて自動で設定されます。
- ・ [枚 / ページ] : 用紙1ページに何枚の画像を配置するかを設定します。配置される画像1枚あたりのサイズは、用紙サイズに合わせて自動で設定されます。

## [ページの余白]

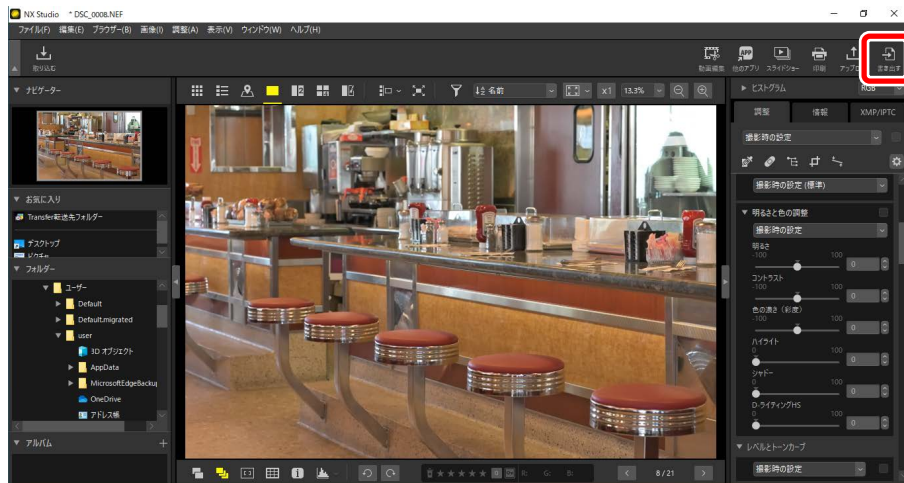
印刷時の余白をスライダーで設定できます。

# 画像を書き出す

📄 [ファイル変換して書き出す](#)

# ファイル変換して書き出す

ツールバーの「書き出す」をクリックすると、選んだ画像のファイル形式を JPEG または TIFF 形式に変換して別ファイルとして書き出せます。NEF/NRW 形式の RAW 画像を変換すれば、他のソフトウェアでも使用が可能です。フォルダー内の画像をまとめて処理することもできます。

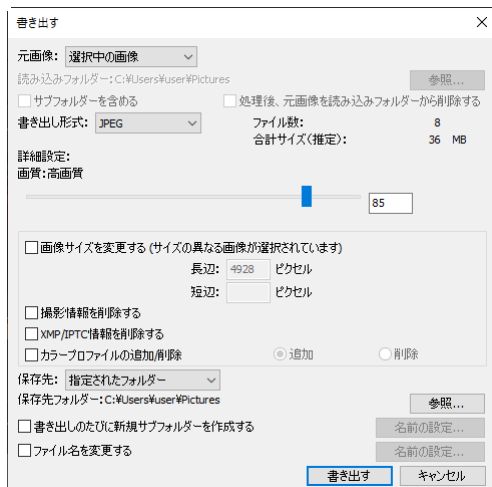


## RAW ファイルの書き出しについて

RAW 画像を他の形式に変換する場合に「書き出す」を使用します。RAW 画像をそのままのファイル形式で保存したい場合、[ファイル] メニューの [保存] または [別名で保存] で行ってください。画像の保存方法については [環境設定] の [保存] もご覧ください (□ [\[\[保存\]\]](#) 283 ページ)。



画質や画像サイズなどの設定を行い、[書き出す] をクリックすると変換された画像が指定したフォルダーに保存されます。



## [元画像]

書き出す画像やフォルダーを選べます。

- [選択中の画像]：選んでいる画像を書き出します。
- [指定されたフォルダー]：選んだフォルダーにある画像すべてを書き出します。[参照] をクリックしてフォルダーを選べます。
  - [サブフォルダーを含める]：チェックを入れると、サブフォルダーにある画像も書き出します。
  - [処理後、元画像を読み込みフォルダーから削除する]：チェックを入れると、書き出し後に元画像がフォルダーから削除されます。

## [書き出し形式]

変換して保存するファイルの形式を [JPEG]、[TIFF (8ビット)] または [TIFF (16ビット)] から選べます。

- [画質]：変換形式で JPEG を選んだときに設定できます。画像の圧縮率をスライダーまたは数値を入力して設定します。
- [LZW 圧縮を使用する]：変換形式で TIFF を選んだときに設定できます。チェックを入れると、LZW アルゴリズムに基づいて、画像データ損失のない圧縮を行います。

### LZW 圧縮で保存するときの注意

TIFF (16ビット) 形式ファイルを LZW 圧縮で保存した場合、元のサイズより大きくなる場合があります。

## [画像サイズを変更する]

チェックを入れると、画像サイズを拡大縮小できます。[長辺] のテキストボックスにサイズを入力すると、縦横比を保ったまま [短辺] の数値が変更されます。

## [撮影情報を削除する]

チェックを入れると、画像に保存している撮影情報を削除します。

## [XMP/IPTC 情報を削除する]

チェックを入れると、画像に設定している XMP/IPTC 情報を削除します。

## 【カラープロファイルの追加 / 削除】

チェックを入れると、カラープロファイルの **【追加】** または **【削除】** を選べます。**【追加】** を選んだ場合、追加するカラープロファイルは **【環境設定】** の **【カラーマネージメント】** の設定によって異なります (□ **【カラーマネージメント】** 269 ページ)。**【カラーマネージメント】** で設定できるカラープロファイルは次の通りです。

- ・ **【画像を開くときに、埋め込みプロファイルの代わりに使用する】** にチェックを入れている場合、**【標準 RGB 色空間】** (Windows) または、**【RGB デフォルト】** (macOS) で設定したカラープロファイルを追加します。
- ・ **【画像変換を行う場合、sRGB にプロファイル変換する】** にチェックを入れている場合、カラープロファイルを sRGB で追加します。
- ・ 両方にチェックを入れている場合、カラープロファイルを sRGB で追加します。
- ・ 両方にチェックを入れていない場合、元画像のカラープロファイルを使用します。

## 【保存先】

変換した画像を保存するフォルダーを選べます。

- ・ **【元ファイルと同じフォルダー】** : 変換した画像を元画像と同じフォルダーに保存します。
- ・ **【指定されたフォルダー】** : 変換した画像を選んだフォルダーに保存します。**【参照】** をクリックして保存先を選びます。
  - **【書き出しのたびに新規サブフォルダーを作成する】** : チェックを入れると、選んだフォルダーに自動でサブフォルダーを作成して画像を保存します。**【名前の設定】** をクリックすると、プレフィックスやサフィックス、開始番号などの設定が行えます。

## 【ファイル名を変更する】

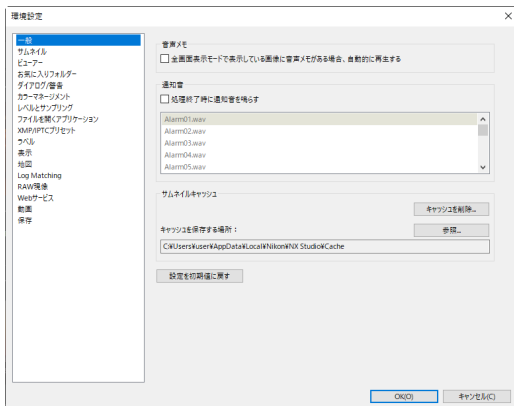
変換した画像のファイル名を設定できます。**【名前の設定】** をクリックすると、プレフィックスやサフィックス、開始番号などの設定が行えます。

# 環境設定

- 📖 [環境設定について](#)
- 📖 [\[一般\]](#)
- 📖 [\[サムネイル\]](#)
- 📖 [\[ビューアー\]](#)
- 📖 [\[お気に入りフォルダー\]](#)
- 📖 [\[ダイアログ / 警告\]](#)
- 📖 [\[カラーマネージメント\]](#)
- 📖 [\[レベルとサンプリング\]](#)
- 📖 [\[ファイルを開くアプリケーション\]](#)
- 📖 [\[XMP/IPTC プリセット\]](#)
- 📖 [\[ラベル\]](#)
- 📖 [\[表示\]](#)
- 📖 [\[地図\]](#)
- 📖 [\[Log Matching\]](#)
- 📖 [\[RAW 現像\]](#)
- 📖 [\[Web サービス\]](#)
- 📖 [\[動画\] \(Windows のみ\)](#)
- 📖 [\[保存\]](#)

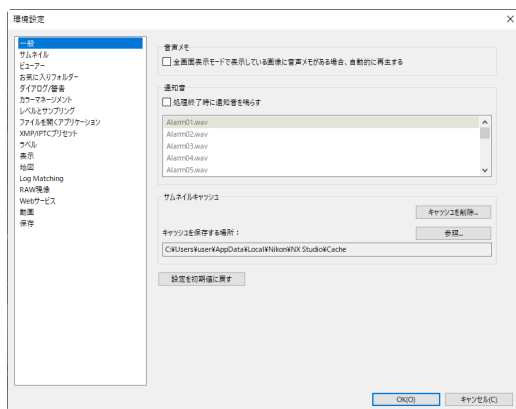
# 環境設定について

環境設定の設定を変更すると、ユーザーの使いやすいようにカスタマイズできます。環境設定の変更は、Windows をお使いの方は [編集] メニューの [環境設定]、macOS をお使いの方は [NX Studio] メニューの [環境設定] から行えます。



# [一般]

NX Studio の操作に関する設定を行います。



## [音声メモ]

**[全画面表示モードで表示している画像に音声メモがある場合、自動的に再生する]** にチェックを入れると、音声メモ付き画像を全画面表示モードで表示したときに、音声メモを自動的に再生します。

## [通知音]

**[処理終了時に通知音を鳴らす]** にチェックを入れると、処理が終了したときに通知音が鳴ります。通知音は一覧から設定できます。

## [サムネイルキャッシュ]

画像のキャッシュの設定を行います。

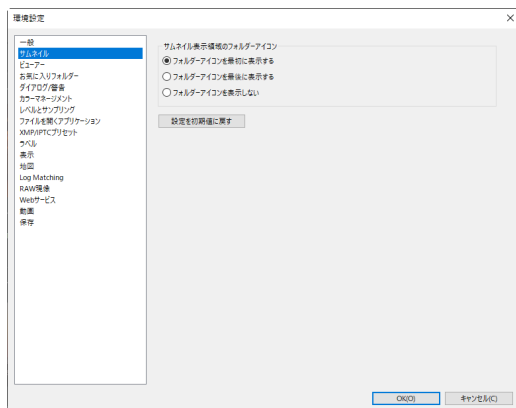
- ・ **[キャッシュを削除]**：表示に使用した画像のキャッシュをすべて削除します。
- ・ **[キャッシュを保存する場所]**：キャッシュの保存場所を変更します。  
[参照] をクリックすると、表示されるダイアログから変更場所を指定できます。

## [設定を初期値に戻す]

**[一般]** で設定した項目をすべて初期設定に戻します。

# [サムネイル]

サムネイル表示の設定を行います。



## [サムネイル表示領域のフォルダーアイコン]

サムネイル一覧表示とサムネイル詳細表示時、またはフィルムストリップを表示している場合のサブフォルダーの表示順を設定します。

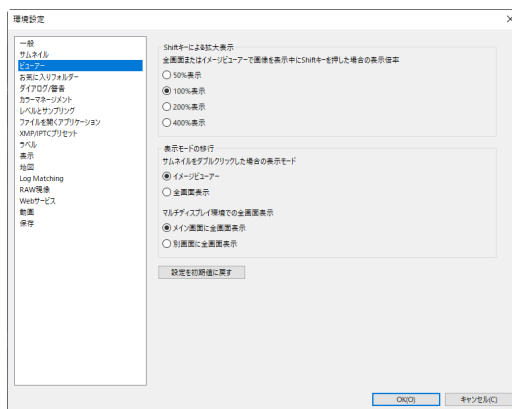
- ・ **[フォルダーアイコンを最初に表示する]**：サブフォルダーを画像よりも前に表示します。
- ・ **[フォルダーアイコンを最後に表示する]**：サブフォルダーを画像よりも後に表示します。
- ・ **[フォルダーアイコンを表示しない]**：サブフォルダーを表示しません。

## [設定を初期値に戻す]

[サムネイル] で設定した項目をすべて初期設定に戻します。

# [ビューアー]

画像表示の設定を行います。



## [Shift キーによる拡大表示]

画像の拡大表示倍率を設定できます。拡大表示はイメージビューアー表示、2画面表示、4画面表示、調整結果比較表示時に Shift キーを長押しするか、画像をクリックして行えます。

## [表示モードの移行]

画像の表示モードを設定します。表示モードの切り換えはイメージビューアー表示、2画面表示、4画面表示、調整結果比較表示時に行えます。

- ・ [サムネイルをダブルクリックした場合の表示モード]：サムネイル一覧またはサムネイル詳細上で画像をダブルクリックしたときに、画像をイメージビューアー表示にするか全画面表示にするかを設定できます。
- ・ [マルチディスプレイ環境での全画面表示]：マルチディスプレイ環境で NX Studio を使用し、[サムネイルをダブルクリックした場合の表示モード] で [全画面表示] が選ばれている場合に、画像を表示するモニターを選べます。

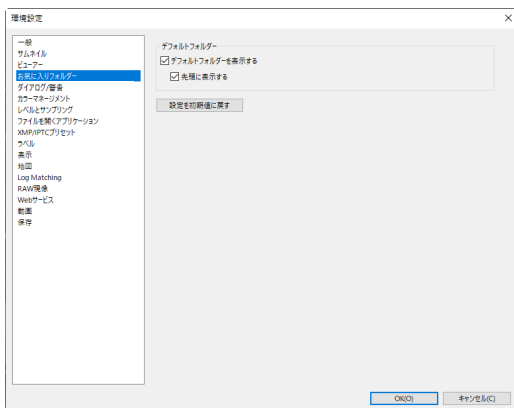
## [設定を初期値に戻す]

[ビューアー] で設定した項目をすべて初期設定に戻します。



# 【お気に入りフォルダー】

ブラウザパレットにある【お気に入り】の設定を行います。



## 【デフォルトフォルダー】

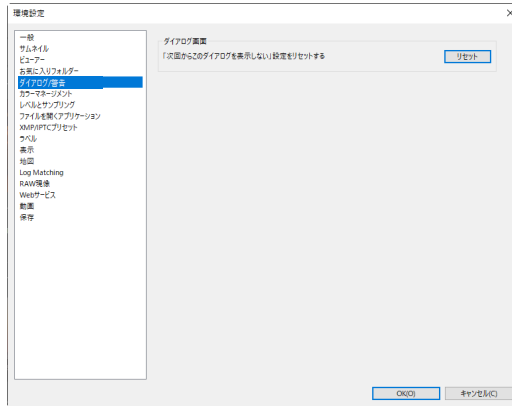
【デフォルトフォルダーを表示する】にチェックを入れると、ブラウザパレットの【お気に入り】にデフォルトフォルダーを表示します。【先頭に表示する】にチェックを入れると、デフォルトフォルダーを先頭に表示します。

## 【設定を初期値に戻す】

【お気に入りフォルダー】で設定した項目をすべて初期設定に戻します。

# [ダイアログ / 警告]

ダイアログ表示の設定を行います。

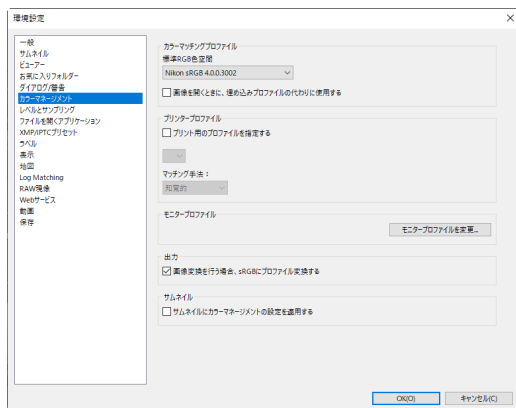


## [ダイアログ画面]

[リセット] をクリックすると、各ダイアログ画面の [次回からこのダイアログを表示しない] のチェックボックスを初期状態に戻します。

# [カラーマネージメント]

画像のカラーマネージメントの設定を行います。



## [カラーマッチングプロファイル] (Windows) / [画像のデフォルトプロファイル] (macOS)

画像の色空間（カラープロファイル）に関する設定をします。

- ・ [標準 RGB 色空間] (Windows) / [RGB デフォルト] (macOS) : 画像のデフォルトの色空間を選べます。
- [画像を開くときに、埋め込みプロファイルの代わりに使用する] : チェックを入れると、画像に埋め込まれているプロファイルを自動的に [標準 RGB 色空間] または、[RGB デフォルト] で設定したプロファイルに変換します。

## [プリンタープロファイル]

[プリント用のプロファイルを指定する] にチェックを入れると、プリンタープロファイルの設定を行えます。

- ・ 印刷に使用するプリンタープロファイルを選べます。
- ・ [マッチング手法] で画像に適用するマッチング手法を選べます。

## [モニタープロファイル] (Windows) / [ディスプレイプロファイル] (macOS)

[モニタープロファイルを変更] (Windows)、[ディスプレイプロファイルの変更] (macOS) をクリックしてモニタープロファイルを変更します。お使いの OS での設定画面が表示されます。

## [出力]

[**画像変換を行う場合、sRGB にプロファイル変換する**] にチェックを入れると、画像を他の形式に変換する場合に変換後の画像データに sRGB の色空間を適用します。埋め込まれていたカラープロファイルは破棄されます。

## [サムネイル]

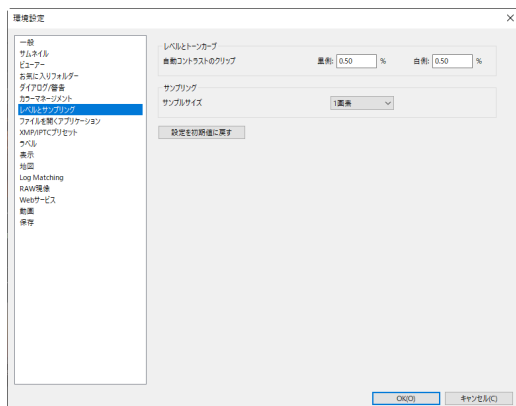
[**サムネイルにカラーマネージメントの設定を適用する**] にチェックを入れると、サムネイル一覧表示またはサムネイル詳細表示で表示されている画像や、フィルムストリップに表示されている画像にもカラーマネージメントの設定を適用します。

### マッチング手法について

- **[知覚的]**：印刷した画像の配色が人間の目に自然に見えるよう、色の相対関係を維持するマッチング手法です。このマッチング手法を選ぶと、色の関係性は保たれますが、画像の実際の色値は変更されます。
- **[相対的な色域]**：指定したプロファイルで設定されている色域外の色を本来の色に近づけるようにマッピングするマッチング手法です。このマッチング手法を選ぶと、印刷を行うプリンターの対応範囲内の色はすべて正確に再現されます。

# 【レベルとサンプリング】

【レベルとトーンカーブ】での設定と、画像をサンプリングするときの設定を行います。



## 【レベルとトーンカーブ】

【自動コントラストのクリップ】: [調整] タブの [レベルとトーンカーブ] でシャドウまたはハイライトを使用するとき、除外する最も暗いピクセルのパーセンテージを [黒側] で、除外する最も明るいピクセルのパーセンテージを [白側] で設定します (☞ [「レベルとトーンカーブ」](#) 102 ページ)。

## 【サンプリング】

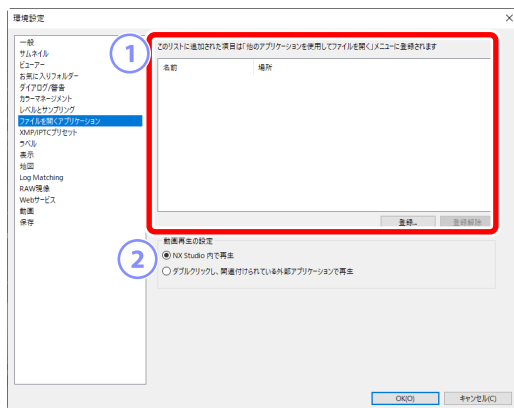
【サンプルサイズ】: [調整] タブの [ホワイトバランス] のグレーポイントサンプルツールまたは [レベルとトーンカーブ] でスポイトツールを使用するときのサンプルサイズを設定します (☞ [「ホワイトバランス」](#) 95 ページ、[「レベルとトーンカーブ」](#) 102 ページ)。

## 【設定を初期値に戻す】

【レベルとサンプリング】で設定した項目をすべて初期設定に戻します。

# [ファイルを開くアプリケーション]

ツールバーの「他のアプリ」で使用するソフトウェアを登録・削除できます。



## ① 画像を開くアプリケーション

「登録」をクリックするとソフトウェアを選べます。追加したソフトウェアは一覧表示されます。

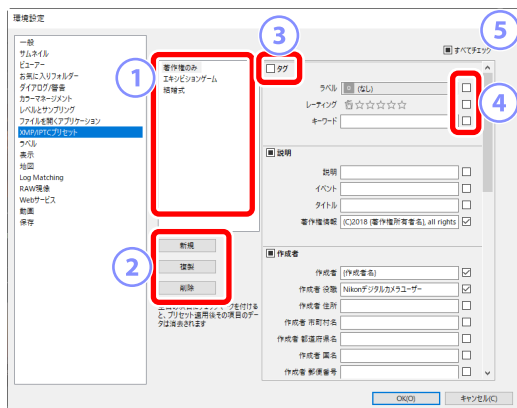
## ② [動画再生の設定]

動画を再生するソフトウェアを設定します。

- ・ **[NX Studio 内で再生]**：NX Studio のプレビュー画面で動画を再生します。
- ・ **[ダブルクリックし、関連付けられている外部アプリケーションで再生]**：動画をダブルクリックすると、OS で設定されている外部のソフトウェアを起動して再生します。

# [XMP/IPTC プリセット]

XMP/IPTC プリセットの管理を行えます。



## ① プリセット一覧

作成済みの XMP/IPTC プリセットが一覧で表示されます。

## ② 【新規】 / 【複製】 / 【削除】

XMP/IPTC プリセットの新規作成および選択した XMP/IPTC プリセットの複製 / 削除が行えます。

## ③ カテゴリーのチェック

カテゴリー内すべての項目のチェックオン / オフを一度に切り換えられます。

## ④ 項目のチェック

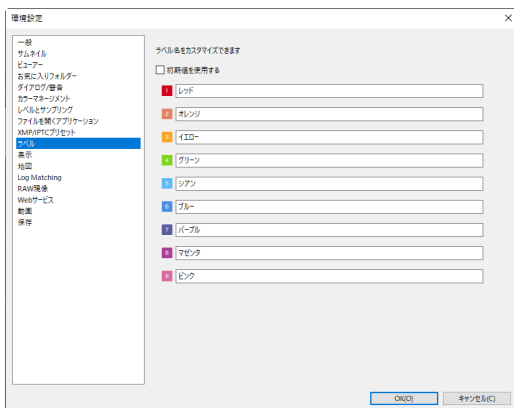
チェックを入れた項目の内容が、転送時に画像に付加されます。入力フィールドが空白の項目にチェックを入れると、「消去」の指定になります。画像にその項目の XMP/IPTC 情報が保存されている場合、内容は消去されます。

## ⑤ 【すべてチェック】

選んでいる XMP/IPTC プリセットすべての項目のチェックオン / オフを一度に切り換えられます。

# [ラベル]

ラベルの設定を行います。



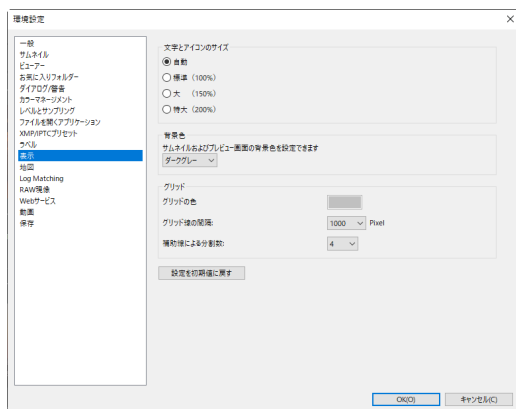
## ラベル名の変更

[初期値を使用する] にチェックを入れると、すべてのラベルで初期値として設定されたラベル名を使用します。チェックをオフにすると、それぞれのラベル名を任意に変更できます。



# [表示]

NX Studio の表示に関する設定を行います。



## [文字とアイコンのサイズ]

パレットやメニューなどの、文字とアイコンの表示サイズを変更します。

## [背景色]

イメージビューアー表示、2 画面表示、4 画面表示、調整結果比較表示、フィルムストリップ表示時の背景色を設定します。

## [グリッド]

グリッドに関する設定をします。

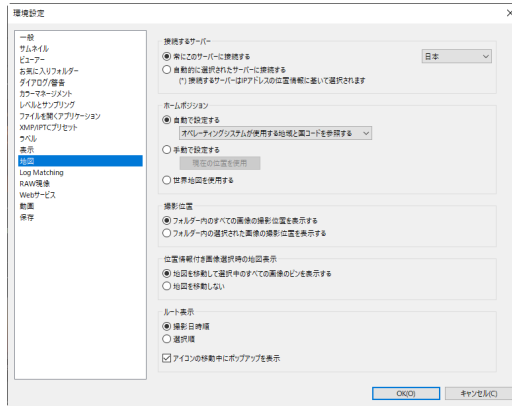
- ・ [グリッドの色]：表示するグリッドの色を設定します。
- ・ [グリッド線の間隔]：グリッドの間隔を設定します。
- ・ [補助線による分割数]：主線グリッド間に破線で表示される補助線の分割数を設定します。

## [設定を初期値に戻す]

[表示] で設定した項目をすべて初期設定に戻します。

# [地図]

地図表示する場合の設定を行います。




## [接続するサーバー]

ビューエリアの表示を地図表示にした場合に使用する地図サーバーを設定します。

- ・ **[常にこのサーバーに接続する]**：選んだサーバーに常に接続します。
- ・ **[自動的に選択されたサーバーに接続する]**：インターネットに接続するときの IP アドレスをもとに国または地域を判定し、接続するサーバーを **[常にこのサーバーに接続する]** の項目の中から自動で設定します。IP アドレスからサーバーを判定できないときは、OS の情報をもとに設定します。**[常にこのサーバーに接続する]** の項目がない国または地域では、アメリカのサーバーが選択されます。

## [ホームポジション]

地図表示のツールボタンエリアで  をクリックしたときに表示する位置をホームポジションとして設定できます。現在選んでいるフォルダー内に位置情報を持った画像がない場合、ホームポジションが表示されます。

- ・ [自動で設定する] : 自動でホームポジションを設定します。
  - [オペレーティングシステムが使用する地域と国コードを参照する] : OS の情報をもとにホームポジションを設定します。
  - [IP アドレスを参照する] : インターネットに接続するときの IP アドレスをもとに、ホームポジションを設定します。IP アドレスから位置を判定できないときは、OS の情報をもとにホームポジションを設定します。
- ・ [手動で設定する] : [現在の位置を使用] をクリックすると、現在地図で表示している位置と縮尺をホームポジションに設定します。
- ・ [世界地図を使用する] : 世界地図をホームポジションに設定します。


## [撮影位置]

位置情報を持つ画像を選んで地図表示に切り換えると、地図上の撮影位置にピン (📍) が表示されます。現在選ばれているフォルダー内に位置情報を持つ画像が複数ある場合のピンの表示を設定します。


- ・ [フォルダー内のすべての画像の撮影位置を表示する] : すべての画像の撮影位置をピンで表示します。
- ・ [フォルダー内の選択された画像の撮影位置を表示する] : 選んだ画像の撮影位置だけをピンで表示します。

## [位置情報付き画像選択時の地図表示]

位置情報を持つ画像を選んでいるときに、撮影位置に地図の表示位置を移動するかどうかを設定します。

- ・ **[地図を移動して選択中のすべての画像のピンを表示する]**：選んだ画像の撮影位置に地図を移動します。画像を複数選んでいる場合、選んだ画像のすべての位置情報が表示されるように地図の位置および縮尺が変更されます。
- ・ **[地図を移動しない]**：位置情報を持つ画像を選んでも、地図の表示位置は移動しません。地図に画像の撮影地点を表示するには、ツールボタンエリアの  をクリックします。

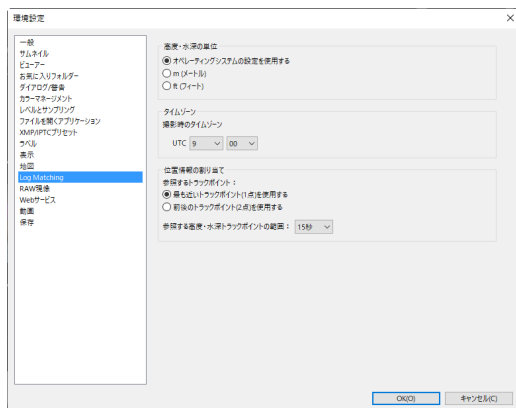
## [ルート表示]

ルート表示する位置情報の表示順を、**[撮影日時順]** または **[選択順]** から設定します（ [「撮影ルートを表示する」](#) 216 ページ）。

- ・ **[アイコンの移動中にポップアップを表示]**：チェックを入れると、撮影地点を通過するときにプレビュー画像をポップアップウィンドウで表示します。

# [Log Matching]

位置情報ログを使用する場合の設定を行います。



## [高度・水深の単位]

高度・水深グラフで使用する単位を設定できます。[オペレーティングシステムの設定を使用する]を選んだ場合、OS上の設定をもとに設定します。

## [タイムゾーン]

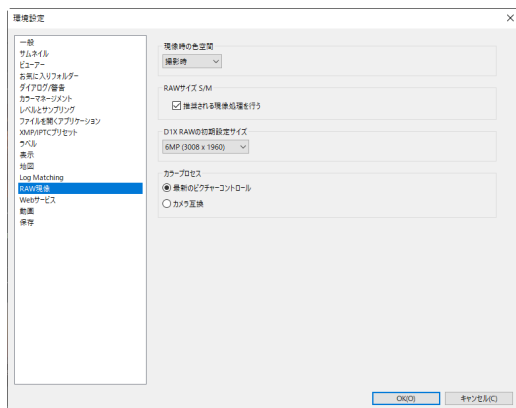
撮影した地域のタイムゾーンと協定世界時（UTC）との時差を設定します。

## [位置情報の割り当て]

位置情報ログをもとに、画像に位置情報を割り当てる場合の設定を行います（☞ [「位置情報ログを読み込む」](#) 219 ページ）。

# [RAW 現像]

RAW 画像を現像する場合の設定を行います。



## [現像時の色空間]

RAW 画像を現像する場合に使用する色空間を設定します。

## [RAW サイズ S/M]

[推奨される現像処理を行う] にチェックを入れると、[サイズ S] または [サイズ M] の RAW 画像に対して推奨される現像処理を行います。

## [D1X RAW の初期設定サイズ]

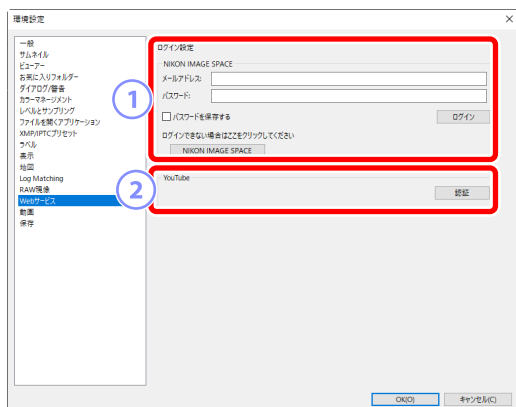
D1X で撮影した RAW 画像を表示する場合の、初期設定の画像ファイルサイズを設定します。

## [カラースタイル]

画像に適用するカラースタイルを選べます。

# [Web サービス]

Web サービスにログインします。ログインすると、画像をアップロードできます（☞ [\[Web にアップする\]](#) 240 ページ）。



## ① [NIKON IMAGE SPACE]

メールアドレスとパスワードを入力して、NIKON IMAGE SPACE にログインできます。

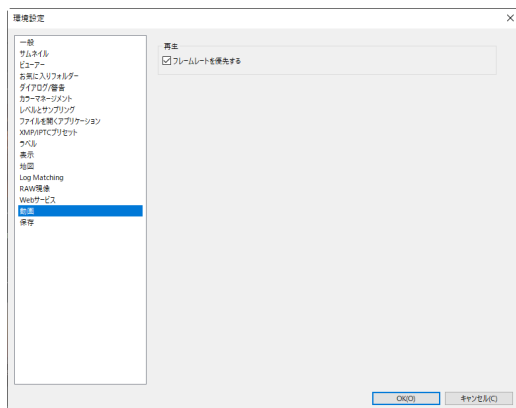
- **[パスワードを保存する]** にチェックを入れると、次回起動時に自動的に NIKON IMAGE SPACE にログインします。
- **[NIKON IMAGE SPACE]** をクリックすると、ブラウザで NIKON IMAGE SPACE が表示されます。NIKON IMAGE SPACE の ID をお持ちでない方は、画面の案内に従って ID を取得してください。

## ② [YouTube]

ツールバーの **[アップロード]** で YouTube にログインするときに必要な設定を行います。**[認証]** をクリックすると、YouTube に接続するためのダイアログが表示されます。

## 【動画】（Windowsのみ）

動画の再生に関する設定を行います。



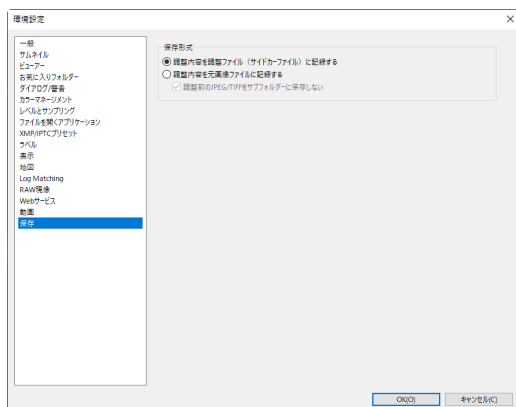
### 【再生】

動画の再生時に、色の再現と再生速度のどちらを優先するかを設定します。[フレームレートを優先する]にチェックを入れると、動画を遅延なく再生することを優先します。



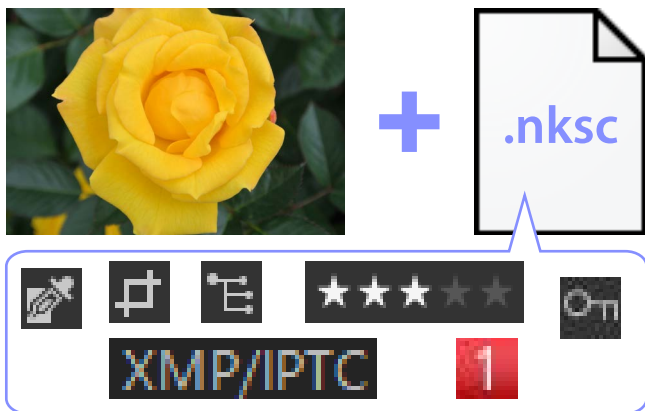
# 【保存】

画像の保存形式の設定を行います。NX Studio ではサイドカー形式と直接保存形式の 2 通りの保存形式があります。



## サイドカー形式

[保存形式] で [調整内容を調整ファイル(サイドカーファイル)に記録する] を選んだ場合の保存形式です。画像を調整すると、その内容は調整ファイル(サイドカーファイル、拡張子: .nksc)として元画像とは別に保存されます。元の画像ファイルに変更を加えないため、JPEG 形式の画像でも劣化がありません。画像の調整以外にも、ラベルやレーティング、XMP/IPTC などのメタデータもすべて調整ファイルに記録されています。調整ファイルを削除すれば、いつでも元の状態に戻すことが可能です。

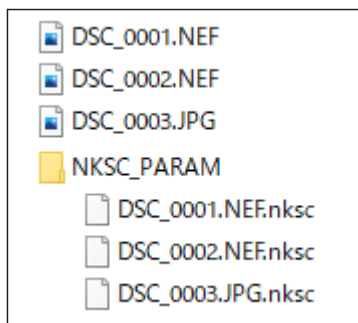


サイドカー形式を使用する場合、次のような特徴があります。

- 調整ファイルは画像調整が行われるたびに更新されます。
- 調整ファイルのみが変更されるため、ファイルサイズの大きいRAW 画像を扱う場合でも処理時間が短く、作業効率が向上します。
- 画像調整の適用 / 非適用をいつでも変更できます。また、複数の画像調整を行った場合、個別に変更が可能です。
- 調整ファイルを他の画像に適用することもでき、同じ調整作業を何度も繰り返さずに済みます。
- 調整した画像をサイドカー形式に対応していないソフトウェアで開きたい場合、JPEG または TIFF 形式で書き出す必要があります (☐ [「画像を書き出す」](#) 257 ページ)。

### 📄 調整ファイルについて

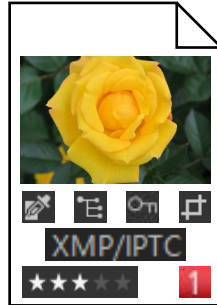
画像を調整すると、元画像と同じ階層に「NKSC\_PARAM」というフォルダーが作成され、そこに調整ファイルが保存されます。



- 「NKSC\_PARAM」フォルダーや調整ファイルを削除すると、調整内容は失われます。
- 画像ファイルと調整ファイルは、ファイル名でひも付けされています。OS上でどちらか一方のファイル名を変更すると、調整内容が失われたり、他の画像に調整が反映されたりすることがあります。ファイルやフォルダー名の変更、移動、コピー、削除を行う場合は、NX Studioのフォルダーおよびファイル操作機能を使用してください。
- 調整を反映した画像を他の環境で使いたい場合、元画像と調整ファイルを一緒に移動してNX Studioで開く必要があります。調整ファイルは「NKSC\_PARAM」フォルダーごと移動してください。

## 直接保存形式

〔保存形式〕で〔調整内容を元画像ファイルに記録する〕を選んだ場合の保存形式です。画像調整の内容やメタデータを画像に直接保存します。サイドカー形式のように調整ファイルは生成されないため、他の環境へ移動する場合や他のソフトウェアで使用する場合のファイル管理が容易です。直接保存形式の場合、画像のファイル形式によって動作が異なります。



## ■ RAW 画像（NEF、NRW 形式）

画像調整の内容は元画像ファイルに記録されるため、一度保存した後も画像調整の修正を行えます。調整内容を破棄して元の状態に戻すことも可能です。

- 他のソフトウェアで開きたい場合、JPEG または TIFF 形式で書き出す必要があります（□ [「画像を書き出す」](#) 257 ページ）。
- 調整した画像をメモリーカードに読み込んでカメラで再生した場合、NX Studio で調整した内容は反映されずに撮影時の状態で表示されます。

## ■ JPEG 形式、TIFF 形式

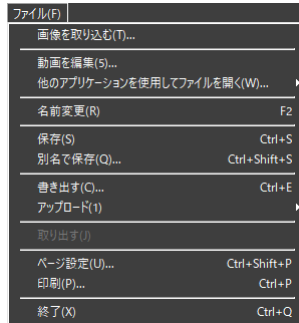
調整した内容を反映して画像を上書き保存します。調整した値も上書きされるため、一度保存すると元の状態に戻せません。

- 他のソフトウェアで開いても、NX Studio で行った画像調整が反映されています。
- **[調整前の JPEG/TIFF をサブフォルダーに保存しない]** のチェックをオフにすると、調整前の元画像がバックアップとして残ります。画像保存時に元画像と同じ階層に「\_Original」というフォルダーが作成され、調整前の元画像が保存されます。

# メニュー一覧

- 📖 [\[ファイル\] メニュー](#)
- 📖 [\[NX Studio\] メニュー \(macOS のみ\)](#)
- 📖 [\[編集\] メニュー](#)
- 📖 [\[ブラウザー\] メニュー](#)
- 📖 [\[画像\] メニュー](#)
- 📖 [\[調整\] メニュー](#)
- 📖 [\[表示\] メニュー](#)
- 📖 [\[ウィンドウ\] メニュー](#)
- 📖 [\[ヘルプ\] メニュー](#)

# [ファイル] メニュー



## [画像を取り込む]

Nikon Transfer 2 を起動します。

## [Camera Control Pro でリモート撮影]

Camera Control Pro 2 を起動します。Camera Control Pro 2 がインストールされている場合のみ表示されます。

## [動画を編集]

動画の編集を行えます (☞ [\[動画を編集する \(Movie Editor\)\]](#) 160 ページ)。

## [Picture Control Utility 2 を起動]

Picture Control Utility 2 を起動します。Picture Control Utility 2 がインストールされている場合のみ表示されます。

## [他のアプリケーションを使用してファイルを開く]

パソコンにインストールされている他の画像編集ソフトウェアを使用して、現在選択している画像を表示します。使用するソフトウェアは[アプリケーションの登録]で追加できます。

## [名前変更]

選択している画像のファイル名を変更します。

## [保存]

画像調整または XMP/IPTC 編集を行った画像を保存します (☞ [\[\[保存\]\]](#) 283 ページ)。

## [別名で保存]

画像調整または XMP/IPTC 編集を行った画像を別名で保存します。

## [書き出す]

選択している画像をファイル変換して書き出します (☐ [\[画像を書き出す\]](#) 257 ページ)。

## [アップロード]

静止画および動画を Web サービスにアップロードできます。アップロード先は **[NIKON IMAGE SPACE]** または **[YouTube]** が選べます (☐ [\[Web にアップする\]](#) 240 ページ)。

## [取り出す] [切断] (Windows) / [取り出す] (macOS)

取り出し可能なディスクを取り出します。Windows でネットワークドライブが選択されているときはネットワークを切断します。

## [ページ設定]

プリンターの設定を行います。

## [印刷]

選択した画像を印刷します (☐ [\[印刷する\]](#) 247 ページ)。

## [終了] (Windows のみ)

NX Studio を終了します。

### **セイコーエプソン社製のプリンターをお使いの場合**

セイコーエプソン社製のユーティリティ E-Photo や、プラグイン Epson Print Layout をインストールすると、NX Studio で使用できます。

- E-Photo をインストールしている場合、**[EPSON 写真印刷]** が **[ファイル]** メニューに表示されます。
- Epson Print Layout をインストールしている場合、**[Epson Print Layout で印刷]** が **[ファイル]** メニューに表示されます。
- ツールバーにも **[EPSON 写真印刷]** および **[Epson Print Layout]** のアイコンが表示され、クリックすると E-Photo および Epson Print Layout が起動します。

# [NX Studio] メニュー (macOS のみ)



## [NX Studio について]

バージョンの確認ができます。

## [環境設定]

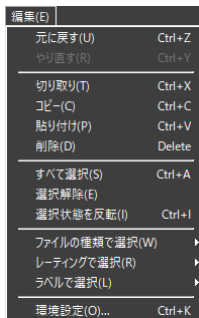
NX Studio の環境設定を変更できます (☞ [\[環境設定\]](#) 262 ページ)。

## [NX Studio を終了]

NX Studio を終了します。



# [編集] メニュー



## [元に戻す] (Windows) / [取り消す] (macOS)

画像のコピーまたは移動、名前の変更を取り消せます。

## [やり直す]

[元に戻す] で戻された状態を再び適用できます。

## [切り取り] (Windows) / [カット] (macOS)

選択している画像を切り取り (カット) します。

## [コピー]

画像またはフォルダー、テキストをコピーします。

## [貼り付け] (Windows) / [ペースト] (macOS)

コピーした画像またはフォルダー、テキストを貼り付け (ペースト) します。

## [削除]

選択している画像またはフォルダーを削除して OS のゴミ箱に移動します。ブラウザーパレットの [お気に入り] でフォルダーを選んでいる場合はお気に入りフォルダーの登録を削除します。

## [すべて選択]

画像またはフォルダーをすべて選択します。

## [選択解除]

選択している画像またはフォルダーを非選択状態にします。

### **[選択状態を反転]**

選択している画像またはフォルダーを非選択に、非選択の画像を選択状態にします。

### **[ファイルの種類で選択]**

すべてのファイル形式またはファイル形式の種類で画像または動画を選択します。

### **[レーティングで選択]**

設定したレーティングによって画像または動画を選択します (☞ [「レーティングを付ける」](#) 65 ページ)。

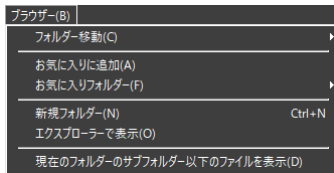
### **[ラベルで選択]**

設定したラベルによって画像を選択します (☞ [「ラベルを付ける」](#) 69 ページ)。

### **[環境設定] (Windows のみ)**

NX Studio の環境設定を変更できます (☞ [「環境設定」](#) 262 ページ)。

# 【ブラウザ】メニュー



## 【フォルダー移動】

現在表示しているフォルダーを変更します。

## 【お気に入りに追加】

現在表示しているフォルダーをブラウザパレットの「お気に入り」に追加します（☞ [「ブラウザパレット」](#) 17 ページ）。

## 【お気に入りフォルダー】

ブラウザパレットの「お気に入り」に登録されているフォルダーを選びます。

## 【新規フォルダー】

現在表示しているフォルダー内に新規フォルダーを作成します。

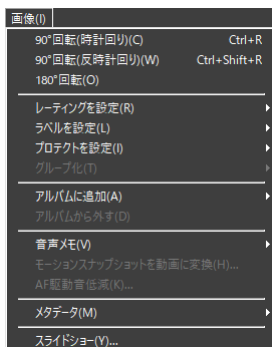
## 【エクスプローラーで表示】（Windows） / 【Finder で表示】（macOS）

現在表示しているフォルダーまたは選んでいるフォルダーを OS 上で表示します。

## 【現在のフォルダーのサブフォルダー以下のファイルを表示】

現在表示しているフォルダー内にあるサブフォルダーの画像もサムネイル表示またはフィルムストリップと一緒に表示します。

# [画像] メニュー



## [90°回転(時計回り)] / [90°回転(反時計回り)] / [180°回転]

画像の角度を変更します。

## [レーティングを設定] / [ラベルを設定] / [プロテクトを設定]

画像にレーティング、ラベル、およびプロテクトの設定を行います。

## [グループ化]

グループ画像の設定を変更します。

- ・ [代表画像を変更] : 選択された画像を代表画像に設定します。
- ・ [グループ化解除] : グループ画像のグループ解除を行います。

## [アルバムに追加]

現在選ばれている画像を選択したアルバムに追加できます (☞ [\[アルバムに画像をまとめる\]](#) 21 ページ)。

## [アルバムから外す]

現在選ばれている画像をアルバムから削除します。

## [音声メモ]

音声ファイルを再生、停止します。または音声メモ付き画像の音声メモファイルを削除します。

## [モーションスナップショットを動画に変換]

選んだモーションスナップショット画像を動画として変換できます。

## [AF 駆動音低減]

MP4 形式と MOV 形式の動画ファイルの場合、動画内の AF 駆動音を低減して別のファイルとして保存します。

## [メタデータ]

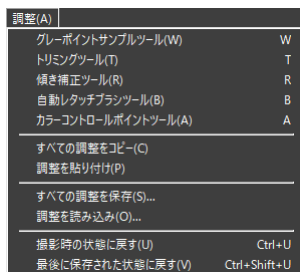
メタデータのコピーや削除を行えます。

- [ファイル情報 / 撮影情報を書き出し] : 画像の撮影情報をテキストファイルに書き出します。
- [ファイル情報 / 撮影情報をコピー] : 画像の撮影情報をクリップボードにコピーします。
- [IPTC 情報をコピー] / [IPTC 情報を貼り付け] (Windows) / [IPTC 情報をペースト] (macOS) : 画像の IPTC 情報をコピー / 貼り付け (ペースト) します。
- [XMP/IPTC プリセットを読み込み] : XMP/IPTC プリセットファイルを読み込みます。
- [位置情報をコピー] / [位置情報を貼り付け] (Windows) / [位置情報をペースト] (macOS) : 画像の位置情報をコピー / 貼り付け (ペースト) します。
- [位置情報を削除] : 画像の位置情報を削除します。
- [方位情報を削除] : 画像の方位情報を削除します。

## [スライドショー]

現在選んでいる画像またはフォルダー内すべての画像を使用してスライドショーを開始します (☞ [「スライドショーを見る」](#) 235 ページ)。

# 【調整】メニュー



## 【グレーポイントサンプルツール】

クリックしたピクセルをサンプリングして、そのピクセルがグレーになるように自動でホワイトバランスを調整します（☞ [「ホワイトバランス」](#) 95 ページ）。

## 【トリミングツール】

画像の必要な部分だけを切り抜きます（☞ [「トリミング」](#) 133 ページ）。

## 【傾き補正ツール】

画像の傾きを調整します（☞ [「傾き補正」](#) 138 ページ）。

## 【自動レタッチブラシツール】

画像内に写り込んだホコリやゴミなどを取り除けます（☞ [「レタッチブラシ」](#) 121 ページ）。

## 【カラーコントロールポイントツール】

カラーコントロールポイントを使用して画像を調整できます（☞ [「カラーコントロールポイント」](#) 124 ページ）。

## 【すべての調整をコピー】

すべての項目の設定をコピーします。

## 【調整を貼り付け】（Windows） / 【調整をペースト】（macOS）

コピーした調整を画像に適用します。

## 【すべての調整を保存】

すべての項目の設定を、ひとつの設定ファイルとして保存します。

## 【調整を読み込み】

設定ファイルを読み込んで、調整を適用します。

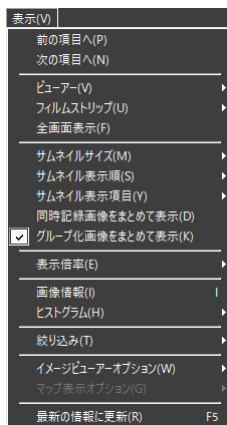
### **【撮影時の状態に戻す】**

調整をすべてリセットして、撮影時の状態に戻します。

### **【最後に保存された状態に戻す】**

調整ファイルの内容がリセットされ、NX Studio で行った調整が削除されます（☞ [「調整リストを使用する」](#) 153 ページ）。

# 【表示】メニュー



## 【前の項目へ】 / 【次の項目へ】

現在のフォルダー内にあるファイルの表示を切り換えます。

## 【ビューアー】

ビューエリアの表示を切り換えます（☑ [「ビューアーの画像表示方法を変更する」](#) 36 ページ）。

## 【フィルムストリップ】

フィルムストリップの表示位置を切り換えます（☑ [「フィルムストリップを表示する」](#) 47 ページ）。

## 【全画面表示】

モニターいっぱいに画像を表示します（☑ [「全画面表示する」](#) 49 ページ）。

## 【サムネイルサイズ】

サムネイル表示またはフィルムストリップでのサムネイルの表示サイズを変更します。

## 【サムネイル表示順】

サムネイルの表示順をソートします。



### **[サムネイル表示項目]**

サムネイル表示またはフィルムストリップを表示している場合に、サムネイル上のファイル名、ラベル、レーティング、アイコンなどの表示 / 非表示を切り換えます。サムネイルの表示サイズが小さい場合は設定内容にかかわらず、ラベルとファイル名のみが表示されます。

### **[同時記録画像をまとめて表示]**

オンにすると、サムネイル表示またはフィルムストリップを表示している場合に、RAW+JPEG 形式で撮影した画像をまとめて表示します。

### **[グループ化画像をまとめて表示]**

オンにすると、サムネイル表示またはフィルムストリップを表示している場合に、スマートフォトセクターや連写パッケージで撮影された画像をまとめて表示します。

### **[表示倍率]**

イメージビューアー表示、2 画面表示、4 画面表示、調整結果比較の場合の画像の表示サイズを変更します。

### **[画像情報]**

オンにすると、ビューアーに画像の撮影日時やカメラ名などの情報を表示します。

### **[ヒストグラム]**

オンにすると、ビューアーに画像のヒストグラムを表示します。チャンネル別や明度表示の設定も変更できます。

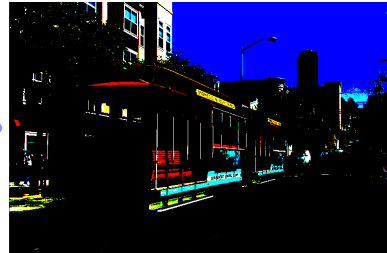
### **[絞り込み]**

ラベル、レーティング、プロテクト、ファイル形式で表示する画像を絞り込みます。

## [イメージビューアーオプション]

ビューアーの表示を切り換えます。

- **[グリッドを表示]**：オンにすると、ビューアーにグリッドを表示します。
- **[フォーカスポイント表示]**：オンにすると、表示している画像のフォーカスポイントを表示します。
- **[白とび表示]**：オンにすると、画像の白とび（画像が非常に明るい部分 = 値が 255 の部分）を RGB チャンネルごとに色別で表示します。



- **[黒つぶれ表示]**：オンにすると、画像の黒つぶれ（画像の非常に暗い部分 = 値が 0 の部分）を RGB チャンネルごとに色別で表示します。



- **[RAW 画像を表示]**：オンにすると、NEF/NRW 形式のファイルを選んでいる場合にビューアーに RAW 画像を表示します。オフの場合はプレビュー画像が表示されます。

## [マップ表示オプション]

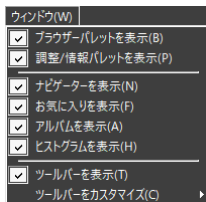
ビューアーを地図表示にしている場合の設定を行います。

- [トラックログを表示]：位置情報ログを読み込んで表示できます（☐ [\[位置情報ログを読み込む\]](#) 219 ページ）。
- [地図を外部ブラウザで表示]：現在表示している場所の地図を Web ブラウザーで表示します。
- [ホームポジションに戻る]：設定したホームポジションを表示します。ホームポジションは[環境設定]の[地図]で設定できます（☐ [\[\[地図\]\]](#) 276 ページ）。
- [トラックログファイルに高度情報を結合]：位置情報ログに高度・水深情報ログを結合します（☐ [\[位置情報ログに高度・水深情報ログを結合する\]](#) 228 ページ）。

## [最新の情報に更新]

ビューアーおよびフィルムストリップの表示を最新の情報に更新します。

# 【ウィンドウ】メニュー



**【ブラウザパレットを表示】/【調整/情報パレットを表示】/【ナビゲーターを表示】/【お気に入りを表示】/【アルバムを表示】/【ヒストグラムを表示】**  
各パレットの表示 / 非表示を切り換えます。

## **【ツールバーを表示】**

ツールバーの表示 / 非表示を切り換えます。

## **【ツールバーをカスタマイズ】**

ツールバーに表示する項目を設定します。オンにした項目がツールバーに表示されます。

# [ヘルプ] メニュー



## [NX Studio ヘルプ]

ヘルプを表示します。

## [アップデートを確認]

NX Studio の更新情報を確認できます。

## [NIKON IMAGE SPACE を開く]

Web ブラウザーで NIKON IMAGE SPACE を表示します。

## [バージョン情報] (Windows)

バージョンの確認ができます。